



S A G A



U N I V .

人生に差がつく4年間

そのサガ、 サガ大。

人生の中で、大学生活はたった4年間。

けれど、この4年間をどう過ごすかが、あなたの未来を変える鍵。

今はまだ、やりたいことが見つかっていなくても大丈夫。

多くの選択肢の中で、あなたらしく輝ける場所が必ずあるから。

さあ、まずは飛び込んでみよう。

4年後のあなたは、きっと今より大きく成長しているはず。

人生に差がつく4年間は、ここ、佐賀大学に準備されています。

佐賀大学憲章

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

<魅力ある大学>

目的をもって生き活きと学び行動する
学生中心の大学づくりを進めます

<創造と継承>

自然と共生するための人類の「知」の
創造と継承に努めます

<教育先導大学>

高等教育の未来を展望し、
社会の発展に尽くします

<研究の推進>

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の
研究を世界に発信します

<社会貢献>

教育と研究の両面から、地域や
社会の諸問題の解決に取り組みます

<国際貢献>

アジアの知的拠点を目指し、
国際社会に貢献します

<検証と改善>

不断の検証と改善に努め、
佐賀の大学としての責務を果たします

CONTENTS

- 002 学長メッセージ・佐大ビジョン2040
- 004 身につく、サガつく、
佐賀大学の教育への取り組み
- 006 TOPICS 佐賀大学の新教育
- 008 TOPICS 大学ランキング
- 010 特集 起点。the origin
～君の可能性がここからはじまる～
- 026 佐賀大学の研究
- 032 数字で見る佐賀大学
- 034 佐賀大学で資格・免許をとる
- 036 教育学部
- 044 芸術地域デザイン学部
- 052 経済学部
- 058 医学部
- 068 理工学部
- 082 農学部
- 090 コスメティックサイエンス学環
- 096 大学院
- 098 キャリアサポート
- 100 就職データ
- 102 学生生活サポート
- 104 相談窓口・大学生生活協同組合
- 106 キャンパスライフ・キャンパスカレンダー
- 107 佐賀大生の生活
- 108 サークル活動
- 112 2027年度入学者選抜概要
- 118 入試情報
- 122 キャンパスマップ
- 124 ロケーション／アクセス
- 125 佐賀大学だけの入試POINT／
入学前教育アドミッションセンタープログラム

「実践智で 未来を拓く」

Wisdom in Action
for a Shared Future



我が国は、18歳人口の構造的減少、Society 5.0への不可逆的移行、そして地域社会の持続可能性という複合的な課題に直面しています。こうした非連続的変化の時代において、地方国立大学に求められる役割は、従来の「地域貢献」にとどまるものではありません。地域の未来像を主体的に構想し、その実現を社会とともに先導する「共創の中核」へと進化することが求められています。

佐賀大学は、「実践智で未来を拓く」を本ビジョンの中心理念として掲げます。

実践智とは、学術的知見、倫理観、状況判断力、経験、そして行動力を統合し、変化する社会の中で、ウェルビーイング(Well-being)の実現に向けて他者と協働しながら最善の判断と行動を選び取る知の在り方です。

実践智を創出し、共有し、社会的価値へと転換すること。

利害の異なる人々や組織が協働し、相互に価値を高め合う関係を築く「共利」の精神のもと、世界のウェルビーイングに貢献すること。

それが本学の未来社会に対する使命です。

さらに本学は、地域を「学び」と「社会実装」の場として位置づけ、産官学民との協働を通じて新たな社会的価値を創出し、「地域未来共創大学」へと進化します。地域に根差し、世界に開かれた大学として、佐賀から日本へ、そして世界へと社会変革を広げていきます。

本学の経営理念の中核は人的資本経営です。教職員と学生は、未来社会を共創する最も重要な資本であり、その能力を最大限に発揮できる環境を整え、挑戦を後押しし、全ての構成員の持続的成長を促進します。

本ビジョンを、佐賀、日本、そして世界の未来のために、教職員と学生が一体となり(教職学協働)、確かな行動として実現していきます。

佐賀大学長 野出孝一

佐大ビジョン2040

SADAI VISION 2040

世界や社会が大きく変化する時代において、
未来は待つものではなく、共に創り出すものへと変わりました。
佐賀大学は「実践智」を軸に、人と社会の未来に向き合いながら、
新たな価値を未来へ社会へと広げ続けていきます。

Mission

佐賀大学の使命・価値観・行動指針を示す基本理念(ミッションステートメント)であり、時代を超えて継承される本学の指針です。

→P1「佐賀大学憲章」

Vision

Missionを実現するため、2040年に向けて本学が目指す将来像を示すものです。中心となる将来ビジョンのもと、教育・研究・社会貢献・国際貢献・法人経営の5つの領域において、それぞれ具体的なビジョンを定めます。

Value (価値観)

各領域のビジョンを実践するうえで重視する価値観、行動規範、目指す姿、及びそれを支える制度的基盤を示すものです。

Initiative (取組)

各領域のビジョンを実現するための個々の具体的な取組、プロジェクトを指します。一部は中期目標・中期計画に位置付けられます。

5つのビジョン

教育

教学相長¹と伸育による
未来共創人材の育成

研究

智の統合による
学術フロンティアの創出

社会貢献

智の連携による持続可能な
未来社会への変革

国際貢献

智の循環による世界人の
輩出と国際互恵

法人経営

人的資本価値を
最大化²する法人経営

1. 教学相長(きょうがくあいちょうず): 教えることと学ぶことが相互に作用し、共に成長するという考え方。中国古典「礼記」に由来。
2. 人的資本価値の最大化: 教職員・学生・ステークホルダーを資本と捉え、能力・知識・経験を最大限に引き出し、大学の成果と持続的成長につなげること。

身につく、サガつく、佐賀大学の教育への取り組み

佐賀大学は6学部1学環を有する国立総合大学で、佐賀が育んできた独自の文化や伝統を背景に、基本的な学びや独自の研究活動に取り組んでいます。本学での多彩な学び・活動により、教養と専門知識を兼ね備えた「佐賀大学学士力」を培い、社会の持続的発展を支えることができる人材を養成します。



大学機関別認証評価の全基準を満たしています

佐賀大学は、2021年度に大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審し、学生支援、学生の受入、教育課程と学習成果など6つの領域で定められた27の基準すべてを満たし、大学評価基準に適合していると認定されました。

国立大学法人 佐賀大学

教育学部

- 共同教員養成課程
- ▶ 小中連携教育コース
 - ▶ 教育支援探究コース
- ・附属幼稚園
 - ・附属小学校
 - ・附属中学校
 - ・附属特別支援学校
 - ・附属教育実践総合センター

P36▶▶

芸術地域デザイン学部

- 芸術地域デザイン学科
- ▶ 芸術表現コース
 - ▶ 地域デザインコース

P44▶▶

経済学部

- ▶ 経済学科 (仮称 設置申請中)
- ・社会課題研究センター

P52▶▶

医学部

- ▶ 医学科
 - ▶ 看護学科
- ・附属病院
 - ・附属看護学教育研究支援センター
 - ・附属地域医療科学教育研究センター
 - ・附属先端医学研究推進支援センター
 - ・附属再生医学研究センター

P58▶▶

理工学部

- 理工学科
- ▶ 数理サイエンスコース
 - ▶ データサイエンスコース
 - ▶ 知能情報システムコース
 - ▶ 化学コース
 - ▶ 物理学コース
 - ▶ 機械工学コース
 - ▶ 電気電子工学コース
 - ▶ 都市基盤工学コース
 - ▶ 建築環境デザインコース

P68▶▶

農学部

- 生物資源科学科
- ▶ 生物科学コース
 - ▶ 食資源環境科学コース
 - ▶ 生命機能科学コース
 - ▶ 国際・地域マネジメントコース

P82▶▶

コスメティックサイエンス学環

P90▶▶

教養教育センター

大学院

- ▶ 学校教育学研究科
- ▶ 地域デザイン研究科
- ▶ 先進健康科学研究科
- ▶ 医学系研究科
- ▶ 理工学研究科
- ▶ 農学研究科
- ▶ 鹿児島大学大学院連合農学研究科

P96▶▶

佐賀大学の求める入学者 アドミッション・ポリシー

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根差した活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。



アドミッション
ポリシーはこちら

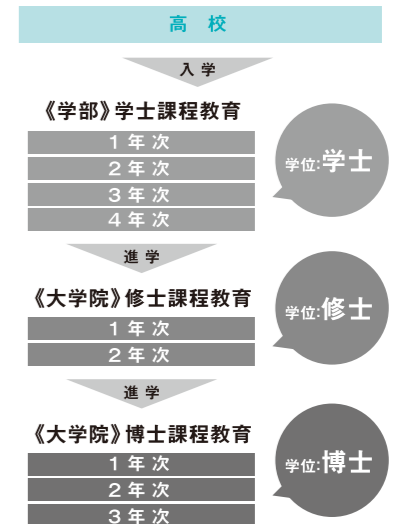
佐賀大学の学士課程教育「佐賀大学学士力」

佐賀大学の学士課程で身に付けさせるべき能力は、「佐賀大学学士力」として定められています。卒業時に、「佐賀大学学士力」が身に付くように、学士課程教育のカリキュラムが組まれています。

■佐賀大学 学士課程教育のイメージ



■大学・大学院における教育 (一般的なイメージ図)



佐賀大学学士力のコンセプト

佐賀大学の学士課程では、基礎的および専門的な知識と技能に基づいて課題を発見し解決する能力を培い、個人として生涯にわたって成長し、社会の持続的発展を支える人材を養成することを目的としています。

基礎的な知識と技能

市民社会の一員として共通に求められる基礎的な知識と技能

様々な学問分野(自然、文化、社会)における基本概念や思考方法を理解し、現代社会の諸問題を自らの力で合理的かつ論理的に推論し判断することができる。

市民社会の一員として思考し活動するための技能

①日本語による文書と会話で他者の意思を的確に理解し、自らの意思を表現し、他者の理解を得ることができる。

②英語を用いて知識を修得し、グローバル社会に向けて自らの考えを発信することができる。

③情報を収集し、その適正を判断し、適切に活用・管理することができる。

専門分野に必要なとされる基礎的な知識・技能

専門分野について、基本概念や原理を理解して説明ことができ、一般的に用いられている重要な技法に習熟している。

課題発見・解決能力

現代的課題を見出し、解決の方法を探る能力

現代社会における諸問題を多面的に考察し、その解決に役立つ情報を収集し分析することができる。

プロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力

専門分野の課題を発見し、その解決に向けて専門分野の知識と技法を応用することができる。

課題発見につながる協調性と指導力

課題解決のために、他者と協調・協働して行動ができ、また、他者に方向性を示すことができる。

個人と社会の持続的発展を支える力

多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力

歴史や文化・伝統などの違いを踏まえて、平和な社会の実現のために、自己と同時に他者の立場に立って物事を考えることができ、また自然環境や社会的弱者に配慮することができる。

地域や社会への参画力と主体的に学び行動する力

地域や社会の様々な問題に関心を持ち、地域や社会における自らの役割を主体的に選択・決定し、課題に向けて、主体的に学び行動することができる。

高い倫理観と社会的責任感

高い倫理観によって社会生活で守るべき規範を遵守ことができ、社会の健全な維持・発展に主体的に寄与する姿勢を身に付けている。

佐賀大学がめざす教育とは？

佐賀大学が大切にしているのは、学生一人ひとりに質の高い教育の機会をつくり、自分らしい未来を掴むための成長をサポートしていくことです。入学前から卒業後までを通して様々な取り組みを行うことで、学生は成長の機会を逃すことなくチャレンジし、自分の目標や将来に向けて進んでいくことができます。

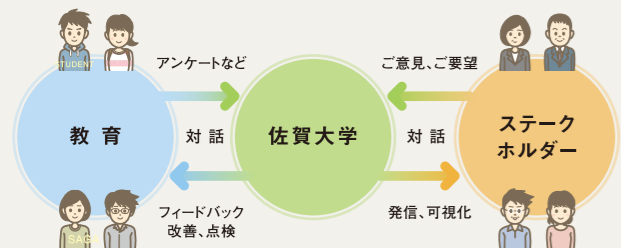
POINT 01 入試前から卒業後まで 学生の成長をとぎれることなく支援

佐賀大学では、入試前から在学中、卒業後の就職・進学までを通して、より良い教育をサポートする仕組みづくりを行っています。教育を長年にわたって一貫して捉えることで、佐賀大学が地域における教育機関としての使命を果たすとともに、学生一人ひとりが成長実感を得られる教育を目指しています。その役割をより広く、より深く展開するための役割を担っているのが「教育開発推進センター」です。教職員だけでなく、学生自身や卒業生も巻き込んだ広い視野で教育の検証・改善を行うことで、よりハイレベルな質の向上を目指しています。



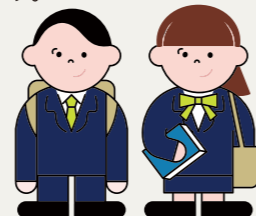
POINT 02 多くの方々の声に耳を傾け 学びを進化させる

佐賀大学が教育改革していく中で特に重視しているのが、学生や卒業生はもちろん、保護者や大学の職員、地域の人や企業といった多くの方々との対話です。こういった方々とコミュニケーションを図り、高校生や大学生のリアルな声に耳を傾け、地域や地元企業が抱える実社会のニーズを読み解いていきます。そうして得た要望やニーズを教育の現場にフィードバックし、学生の「これから」に必要な教育改革を行っています。



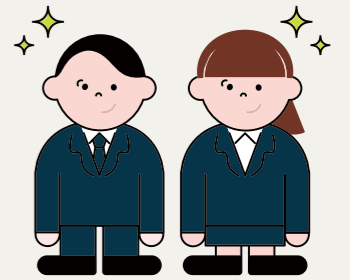
POINT 03 高校生の成長をサポートする 独自の取り組みを展開

佐賀大学が高校生の段階から成長をサポートするために行っているのが、「とびらプロジェクト」です。佐賀県内の高校生を対象に高校3年間を通して参加（一部単年度プログラム有り）する〈継続・育成型〉の取り組みで、高校生にとっては自分の進路を見つめなおし、将来をじっくりと考える機会になっています。入試においても「佐賀大学版CBTシステム」を開発するなどオリジナル性の高い選抜を行い、一度のミスで佐賀大学への進学を諦めてしまわないような、受験生に寄り添った体制づくりを行っています。



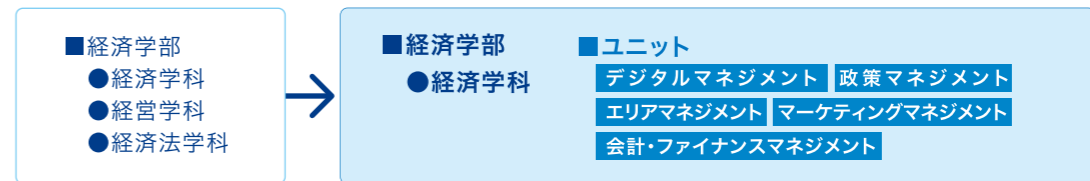
POINT 04 学生の成長と卒業後の進路を支援する キャリア教育プログラム

佐賀大学では、卒業後の進路選択や社会人としての成長をサポートするためキャリア教育にも力を入れています。多くの企業や行政と協働関係を構築し、より実践的な学びを行うことで学生の社会人基礎力を高め、社会で即戦力として活躍できる人材育成を目指しています。



佐賀大学の教育の考え方をもとに、学びの内容も進化しています

経済学部は3学科から1学科5ユニットに生まれ変わります



デジタル社会に対応した学びで 社会・企業に求められる人材へ

デジタル化が進むとともにますます成熟化・複雑化していく現在社会の中で、社会や企業が求める人材像も大きく変化しています。そこで、令和9年度から大きく変わる佐賀大学経済学部では、データサイエンス基礎力やプロジェクトマネジメント力を身につけ、社会課題に複眼的に対応できる人材の育成を目指します。



■ 養成する人材像

社会課題の解決に向け、データサイエンスを駆使し、戦略・政策を立案・実行できるプロジェクトマネジメント人材

社会科学の思考プロセスを基にデータサイエンス基礎力を兼ね備えたプロジェクトマネジメント能力により、社会課題に『解像度』*高く複眼的に対応できる人材

*解像度…社会課題や研究対象をどれだけ深く、細かく理解・認識できるということ

■ 求める学生像

経済や社会で生起している問題を理解するためには社会に対する関心と幅広い基礎知識が必要です。自らの学習活動や取組などを通して、「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。具体的には、次の能力・適性を持つ学生を求めます。

- ①社会問題に関心を持ちその解決に向けて積極的に学び続けようとする意欲がある学生
- ②高等学校で修得した知識・技能とこれらを踏まえた基本的な思考力・判断力を持つ学生
- ③グローバルな視点で情報収集・発信する読解力と表現力を身につけたい学生

学部長メッセージ

社会の「解像度」を上げ、自ら未来をデザインする皆さんへ

経済学部 学部長 羽石 寛志

社会の仕組みはいま、大きな変革期を迎えています。人口減少や地域課題の深刻化、急速なデジタル化が進む現代において求められるのは、多様な視点から社会を理解し、自ら考え行動できる人材です。佐賀大学経済学部は、2027年4月に新しい教育体制へと進化しますが、経済学・経営学・法学という社会科学の三つの柱はこれからも学びの中心であり続けます。これらにデータサイエンスの基礎力を組み合わせ、社会課題を実践的に捉える力を育成します。学びの核となるのは、テーマごとに体系化された「ユニット制」です。関心や将来像に応じて学びを選択・組み合わせ、その成果はオープンバッジとして可視化されます。さらに、地域や企業と連携したプロジェクトマネジメント演習を通じて実社会で活躍できる力を養います。新しく生まれ変わる本学部で、未来を切り拓く学びに挑戦してください。



詳しくは52ページへ

地域と社会に選ばれる高い大学力。

企業が求める力、地域に求められる力。
佐賀大学が着実に培ってきた大学力が、
数ある大学の中で非常に高い評価を受けています。



地域に活かす、佐賀大学の知見と行動力。 地域貢献度ランキング

全国の大学777校を対象にした地域貢献度の調査で、
総合ランキング6位を獲得。地域と連携してきた実績が
高く評価されています。

【調査概要】
短期大学、通信制大学、大学院大学および2024年度卒業者がいない新設大学を除く全国の大学
777校を対象に、日経リサーチを通じて25年7～9月に実施した。国立76校、公立79校、私立338
校と、今回新たに加えた専門職大学4校(公立1校、私立3校)の計497大学から回答を得た(回答
率64.0%)。調査票は4分野の設問と、記述式の一押し事業の設問で構成。

企業が認めた、佐賀大学の育てる力。

価値ある 就職力ランキング

2025-2026

大学の人材育成力
ランキング総合

9位

企業の採用担当者に聞いたアンケートで、佐賀大学が
総合ランキング9位を獲得しました。

【調査概要】
●調査名: 企業人事に聞いた「卒業生が活躍している大学」調査 ●調査期間: 2025年2月28日(金)～4月11日(金)
●調査対象: 2025年2月現在の全上場企業(新興市場含む、外国会社は除く)と一部有力未上場企業 ●調査対象数:
5208社 ●回答社数: 695社(回答率13.3%) ●調査主体: 日本経済新聞社と日経HR ●調査協力: 日経リサーチ

グローバル教育 に熱心に取り組む 大学ランキング

5位

語学プログラム、海外留学・研
修、国際交流が充実。広い視
野で、世界に挑戦する人材を
サポートしています。

- (主な取り組み)
- 外部英語試験2回受験
 - 留学プログラム(交換留学、SUSAP) など

総合ランキング

6位

キャリア教育 に熱心に取り組む 大学ランキング

1位

1年次からキャリアデザインを学び、
4年間を通してしっかりと自分自身の
将来を見据えていきます。

- (主な取り組み)
- キャリアデザインプログラム
 - インターンシップ
 - 低学年からの
キャリアデザイン科目開講 など

留学生の支援 に力を入れている 大学ランキング

1位

留学生の受け入れや地元就職を支援。
学生は留学生とともに学び、グローバ
ルな視野を培うこともできます。

- (主な取り組み)
- 生活支援 ●日本語教育
 - チューター制度
 - 外国人留学生地元就職支援
促進プログラム など

産学連携 に積極的な 大学ランキング

3位

地域の企業や行政と連携した独自の
キャリア教育が進み、連携協定も多
数。最先端の現場や貴重な取り組み
を体験できます。

- (主な取り組み)
- 佐賀県・自治体との協定
 - 地域課題解決型の研究
 - ベンチャー支援、
スタートアップ支援 など

地域の活性化 に貢献する 大学ランキング

6位

地元企業や行政と協力してい
く体制づくりが進んでいます。
地域課題を正確に把握し、複
合的に取り組む力を育てます。

- (主な取り組み)
- 地域みらい創生プロジェクト
 - 自治体との包括協定 など

就職支援体制 が充実している 大学ランキング

13位

早期からの就職ガイダンスの
実施、個別の面接指導など、
学生一人ひとりに合わせた
就職活動をサポートします。

- (主な取り組み)
- 学内での会社説明会開催
 - 就職支援プログラム など

経営・防災部門

5位

教育研究や学習環境の充実に資金を還元
し、防災や企業支援など地域課題の解決
にも総合大学の知見を活かしています。

(主な取り組み)

- 資金運用益を学生支援に(100円朝食、図書費)
- 地域防災・減災研究プロジェクト など

企業・行政部門

8位

行政や企業と連携し、地域課題の解決と
人材育成の両面で地域を支えています。

(主な取り組み)

- 佐賀県との連携調整会議(年2回)
- 大学コンソーシアム佐賀 など

学生・住民部門

10位

公開講座や学び直しの機会を通して
地域住民との交流を行うなど、大学
の知見を地域に広く還元しています。

(主な取り組み)

- 全学部が数理・データサイエンス
リテラシーレベルの認定
- 市民への公開講座 など

起点。

the origin

～君の可能性がここからはじまる～

探求し続ける学びも、新たな自分との出会いも

変わりゆく社会への挑戦も、全てはここから。

目まぐるしいスピードで変化する時代を恐れることなく

惑うことなく、まっすぐに進んでいくために。

何をしたいのか、何ができるのか。たとえ今はわからずとも

人生の大切な時期に、人としての基盤を築く4年間で学び得たものは

決してブレることのない自分自身を築いてくれる。

自らは思いもなかった可能性を開いてくれる。

佐賀大学、ここを起点に社会へ、明日へ。

起点。
知性を
磨く

P12へ

起点。
自信を
育む

P16へ

起点。
世界を
知る

P18へ

起点。
社会と
つながる

P22へ

起点。
可能性に
出会う

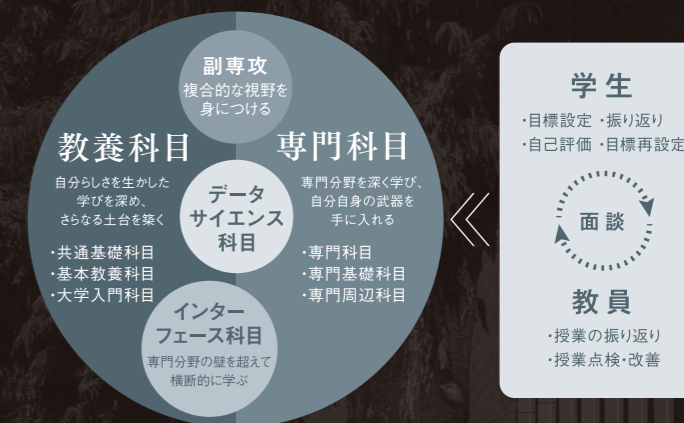
P23へ

起点。
時代に
挑む

P24へ

基礎を大切にしながら多彩に学び
一人ひとりに合った教育プログラムを構築。

佐賀大学では総合大学の強みを生かし、専門科目の他にインター
フェース科目やデータサイエンス科目などを組み込み、学生が望む多
彩な学びの環境を整えています。ICT教育の活用など、学びをサポート
するシステムも充実させ、学生一人ひとりに合った教育を目指します。



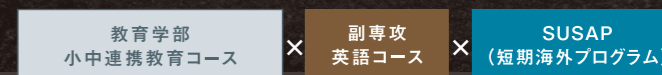
佐賀大学学士力

1. 基礎的な知識と技能
2. 課題発見・解決能力
3. 個人と社会の持続的発展を支える力

学びのカタチを自由に選択し
自らの可能性を見いだす。

専門分野を基本にしながらも、自分が学びたい分野や興味のあるプ
ログラムを自由に組み立てることが可能です。専門分野以外の知識
を修得することで、また理系文系を超えて幅広く学ぶことで、物事を
多面的に捉える複眼を養います。

〈多様な学びを専門分野に生かす〉



〈文・理の枠を超えて学ぶ〉



インターフェース科目 必修



視野と柔軟性を広げ、知識・技能を社会に活かす。

インターフェース科目は専門科目や教養科目をさらに深めたり、社会とのつながりの中で興味がある分野の知識や技能を培うことで自分自身の強みを増やし、社会で生き抜く実践的な力を培うことを目的とした科目です。

思い描く将来に近づくために、より広い視野や考え方を身につけ、多様化する社会に柔軟に対応していくことを目指します。

POINT 01

専門分野の枠を超えて
横断的に学ぶ

POINT 02

アクティブラーニングで、
実践力を身につける

POINT 03

社会とのつながりで
視野を広げる

◎インターフェース科目

インターフェース科目は6つのコースと49のプログラムから構成されています。各プログラムは2科目・4単位で構成され、学部や専門分野を問わず、多数のプログラムの中から2プログラム(合計4科目・8単位)を選んで履修します。

環境コース



環境・資源・エネルギーなどに関する現代的課題を理解し、課題に主体的に取り組む知識と応用力を養います。

- 機械工学と環境 A・B
- エレクトロニクスと環境 A・B
- 佐賀の環境 A・B

文化と共生コース



異なる文化や性別の人々と一緒に交流・協働し、芸術的創造を社会で用いる豊かな人材を育成します。

- 異文化交流 1・2
- 肥前陶磁器産業体験 A・B
- Intercultural Communication 1・2
- ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化 1・2
- 芸術と社会 A・B
- 韓国語・韓国の社会と文化 1・2
- 英語コミュニケーション A・B

生活と科学コース



現代の社会生活における諸問題を多面的に考え、解決するために情報を収集し分析する知識を学びます。

- 未来を拓く材料の科学 A・B
- 情報技術者キャリアデザイン A・B
- 2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 A・B **PICK UP**
- 食糧生産の科学 A・B
- ライフサイエンス・フードサイエンス A・B

人間と社会コース



社会状況から生じるさまざまな現象を多面的に学び、解決に向けた分析や立案する知識や技法を習得します。

- チームビルディングとリーダーシップ 1・2 **PICK UP**
- リサーチ・リテラシー 1・2
- スポーツイベントとボランティアリーダー 1・2 **PICK UP**
- 課題解決のためのプロジェクトデザイン
- 教育から学ぶインターフェース論
- 教育レクリエーション支援の探究

医療福祉と社会コース



環境や食の問題、少子高齢化社会を見据えて、支援と共生の社会を作り上げる人材を育成します。

- 現代社会と医療
- 食と健康
- ライフサイクルからみた医療
- 患者に寄り添う医療

地域・佐賀学コース



地域を社会・文化・経済などのさまざまな面から取り上げ、具体的な事例を使って地域を中心に思考する力を養います。

- 佐賀の歴史文化 A・B
- 地域経済と社会 A・B
- 佐賀SDGsグローバルアクション 1・2 **PICK UP**

PICK UP

佐賀SDGsグローバルアクション 1・2

実践を通して学ぶSDGs

人類の「共通言語」としてのSDGsの基礎及び17の目標のうち重点的な課題についてグローバルな視点から学び、169のターゲットの中から佐賀のローカルな課題解決に向けた具体的なアクションを促します。佐賀大学が企業・行政・市民と目標を共有・連携し、授業開放にも取り入れているプロジェクトです。

- 協働での企画立案・実践
- 地域創生型SDGs



チームビルディングとリーダーシップ 1・2



自らのリーダーシップを学ぶ

実践と省察を繰り返しながら自分自身の持つ「リーダーシップ」と「チームビルディング」について学び、授業や研究室での活動、サークルや地域ボランティア活動において、主体的・能動的に関われる人材の育成を目指します。

- 学生チームでの協働「企画づくりと企画書作成」
- 社会課題へのアプローチ など

スポーツイベントとボランティアリーダー 1・2



満足できるイベントづくりを考える

スポーツイベントの参加者と実施者がともに「やってよかった」と思えるイベントに必要な要素とは何か。佐賀県庁の職員や企業を招いてイベントづくりの考え方を教えてもらい、複数のイベントの実践と反省を繰り返しながら考えます。

- 企画づくりと企画書作成
- 企画の実施と反省 など

2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 A・B



2年間で学ぶベンチャー企業

プログラミングの基礎技術を身に付けるとともに、アントレプレナーシップと企業経営、知財戦略の理解を深め、様々な分野を対象にITを活かした新しいサービスとビジネスモデルの創造にトライできる人材の育成を目指します。

- アントレプレナーシップとプログラミング入門
- 知財戦略とプログラミングの活用



農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース
原田 豊徳

専門外のSDGsを学ぶことで視野が広がり「農学で何ができるのか」を考えるように!

私がこの科目を選択した理由は、社会の課題について考えるだけでなく、「大学生の立場からアクションを起こすことができる!」と感じたからです。授業では、佐賀市内の企業や行政・団体と一緒にグループワークや活動を行いました。コロナ禍で授業が制限されている中での取組みということもあり、非常に楽しく有意義に取り組めました。他学部の学生や企業・団体の人とのつながりができたことで、自分が専門として学んでいる農学以外の視点を持つこともできました。このつながりは今後もいろんな影響を与えてくれると思うので、大切にしたいですね。SDGsを考えることで人としても成長できたと感じますし、農学分野で何ができるのかを考えるいいきっかけとなりました。私は将来家業である農業を継ぎますが、農作物の生産だけでなく、環境への配慮や持続可能な生産を可能にする新たな取組みも率先して行いたいと考えています。

原田さんの
学びのタイプ

農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース

佐賀SDGs
グローバルアクション



DATA SCIENCE

データサイエンス 必修



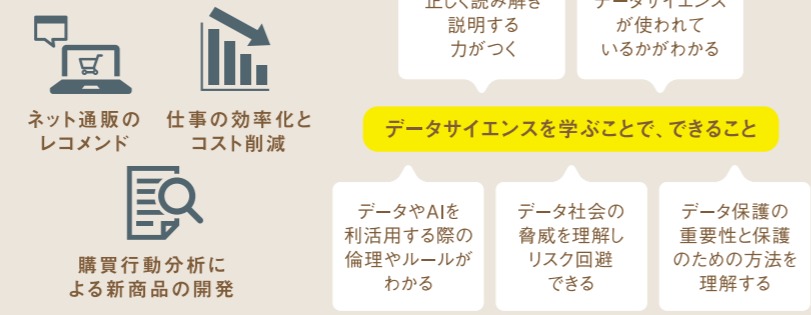
今こそ学ぼう！仕事・暮らしに役立つデータサイエンスの基礎。

日本だけでなく世界的にも注目を集め、必要不可欠となっているデータサイエンス。佐賀大学では、必要に応じたデータサイエンスを学ぶことができるようになりました。「数理・データサイエンス・AI」は、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれており、今後、皆さんが社会で活躍するための必須スキルです。

データサイエンスとは？

現代社会では、ICTの急速な進化によって多彩なデータが得られるようになり、膨大なデータが蓄積されています。それが一般にビッグデータと呼ばれるものです。そしてそのデータを読み解き、価値ある情報を導き出すのがデータサイエンスです。決して新しい研究分野ではなく、すでに多くの企業や社会で活用されており、様々な業種・分野で今後不可欠になっていくと考えられます。そこで佐賀大学では、データサイエンス教育プログラムを策定し、2021年度から全員が学べるようにしています。

データサイエンスの活用例



教育学部

教育 × データサイエンス
教育の現場でもデータサイエンスは重要になり、今後は小学生や中学生への教育も普及して行くことが考えられます。自分で理解するだけでなく、人に教える理解が望まれます。
【リテラシーレベル】 ●情報基礎概論
【応用基礎レベル】 ●AI・数理・データサイエンスI・II

芸術地域デザイン学部

地域・文化 × データサイエンス
たとえば橋や道路の交通量のデータを蓄積して渋滞緩和や安全対策に活かしたり、従来は勘や経験に頼っていた地域のものづくりが数値化できるなど、暮らしの質の向上が期待できます。
【リテラシーレベル】 ●情報基礎概論
【応用基礎レベル】 ●AI・数理・データサイエンスI・II

経済学部

企業経営 × データサイエンス
データサイエンスは経済と密接に結びついています。現在もすでに日常の買い物、ネットショッピング、交通手段などから多くのデータが蓄積され、それを活かした商品開発やサービスが展開されています。
【リテラシーレベル】 ●大学入門科目 ●情報基礎概論
●基本統計学 ●基本ミクロ経済学 ●基本経営学 ●基本法学
【応用基礎レベル】 ●AI・数理・データサイエンスI・II 他

医学部

医療・介護 × データサイエンス
新しい治療方法や医薬品の開発にはデータサイエンスが不可欠です。健康・介護・医療のビッグデータを利用し、個々人の健康管理や疾患予防への取り組みも期待されます。
【リテラシーレベル】 ●情報基礎概論
【応用基礎レベル】 ●AI・数理・データサイエンスI・II

理工学部

製造・開発 × データサイエンス
製品・技術開発の分野ではビッグデータの分析・活用が進んでいるほか、製造業でも効率化や安全のためのAI活用が進んでいます。人的・時間的な効率化も可能となります。
【リテラシーレベル】 ●データサイエンスI・II
●AI・データサイエンス総合A
【応用基礎レベル】 ●微積分学 ●線形代数学 ●データサイエンス 他

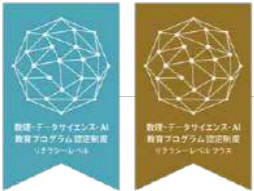
農学部

農業 × データサイエンス
AIやIoT、ビッグデータ、ロボットを活用したスマート農業の実現にはデータサイエンスが基本となり、農業が抱える人手不足の解消や生産・流通の効率化を図ることが可能になります。
【リテラシーレベル】 ●情報基礎概論
【応用基礎レベル】 ●AI・数理・データサイエンスI・II 他

コスメティックサイエンス学環

コスメ × データサイエンス
コスメ業界では、成分設計や効果検証、品質管理を高度化するためにデータサイエンスが活用されており、科学的根拠に基づく製品開発や競争力向上につながります。
【リテラシーレベル】 ●情報基礎概論
【応用基礎レベル】 ●AI・数理・データサイエンスI・II

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに認定されました。佐賀大学は、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定されました。



全学開講のプログラム
認定期間は令和9年3月31日まで



経済学部・理工学部・農学部
認定期間は令和12年3月31日まで

AUXILIARY SPECIAL STUDY

副専攻



社会に柔軟に対応するため、必要とされる教養を身につける。

副専攻では自分の学部の主専攻にとらわれず、自分が興味のある分野や社会に必要とされる分野が受講可能です。専門分野の学びを深めることはもちろん、複数の分野の知識・技術を持ち合わせることで多様化する社会に対応し得る人材を育成します。16単位を修得すると、卒業時に副専攻の修了証書が授与され、就職活動の際は履歴書にも記載できます。

- POINT 01** 語学や文化を学び、複合的な視野を身につける
- POINT 02** 計16単位を修得
- POINT 03** 卒業時に副専攻修了証書を授与

副専攻の科目

【欧米の言語文化専攻】英語コース

一定の英語力と留学への意欲がある学生を対象とした英語で行われるインタラクティブな授業と必修の短期留学(派遣・オンライン)のカリキュラムで、国際プロジェクトでリーダーシップが取れる英語力を目指します。定員は50名程度で、履修希望者を対象に選抜テストを実施します。

- 【科目の例】
- Academic English
 - Business English
 - Introduction to Sociology
 - Life in the Global World
 - 海外交流実習

【欧米の言語文化専攻】独語コース

英語以外の外国語としてドイツ語を習得する機会を提供します。基本教養科目「ドイツの言語と文化」で初級文法を学んだ後に、インターフェース科目「ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化」を学び、ドイツ語の文法力・読解力を段階的に身につけていきます。3年間の継続的な学びを通して、プログラム修了時に中級レベルに達することを目指します。

- 【科目の例】
- ドイツの言語と文化I・II
 - アカデミック独語
 - ドイツ文化論A・B・C・D
 - ドイツ文学A・B
 - 海外交流実習

韓国の社会と文化専攻

韓国語および韓国の社会と文化に焦点を当て、韓国の歴史・文化・経済がどのように変化し、現代へとつながってきたのかを学びます。あわせて、韓国語の基礎的な運用能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ることができる力の養成を目指します。韓国語については、TOPIK II (3級)の取得を目標とします。

- 【科目の例】
- 韓国の言語と文化I・II
 - 地域史
 - 日本史
 - 九州地域の社会と経済I・II
 - 海外交流実習

データサイエンス専攻

数理・データサイエンス・AI教育プログラムを基に、専門教育科目及び教養教育科目を組み合わせた分野横断的な教育を提供することで、数理・データサイエンス・AIの理解と応用能力を兼ね備え、社会課題の解決や価値創造によって持続可能な社会構築に寄与する人材の育成を目指します。

- 【科目の例】
- 線形代数学Ib
 - 情報科学の世界I
 - マーケティングリサーチ
 - コミュニケーション論
 - データサイエンス教育プログラムの授業科目



起点。
自信を
育む

THEORY AND PRACTICE

理論と実践



LEARNING SUPPORT

ラーニングサポート(「学び」の見える化)



理論と実践の往還により“学び”の深化を目指す。

複雑な現代社会の諸課題を理解するためには、関連する分野の基本概念や理論を学ぶことが必要です。

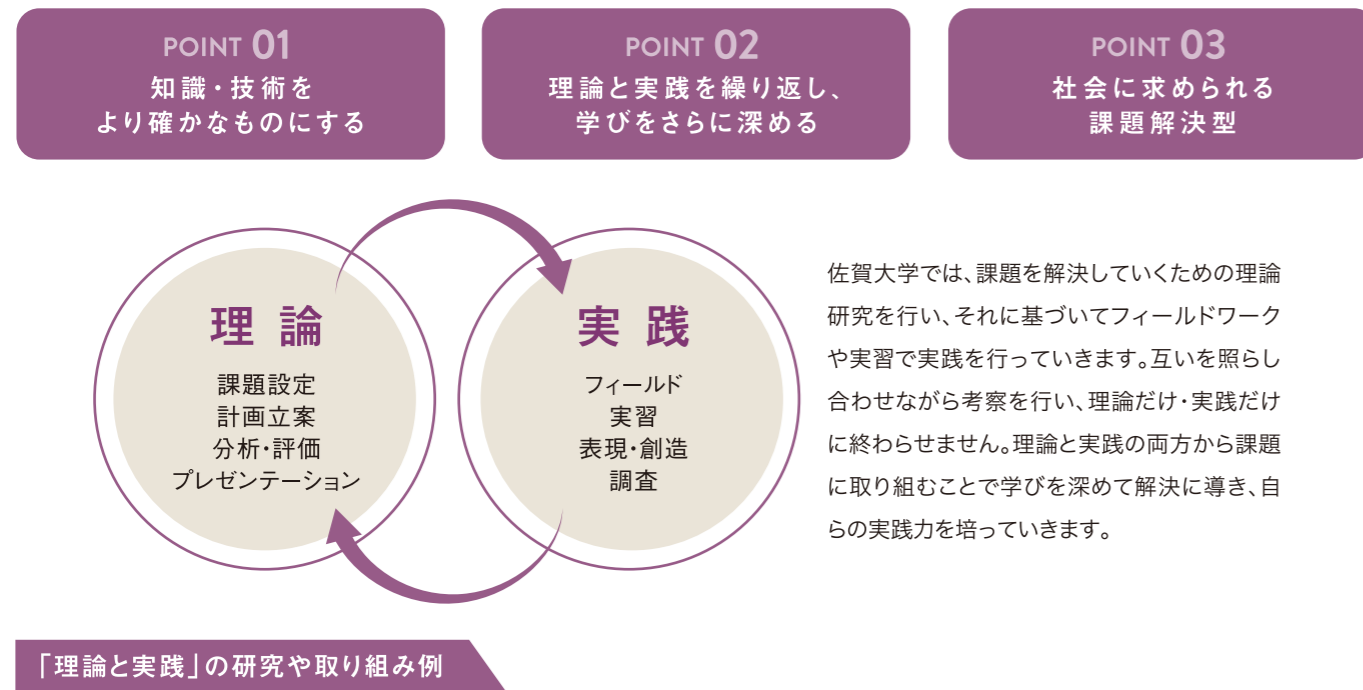
それだけでなく、学んだことを実践の場で活かし、その経験からまた理論を見つめなおすことは、より深い学びに繋がります。

佐賀大学の教育は、理論から実践へ、実践から理論へ。それを繰り返すことで学生の学びを深め、専門性とともに自信を育みます。

学びの足跡を残し、一人ひとりの成長を支援する。

学びに必要なPDCA(PLAN、DO、CHECK、ACTION)サイクルをスムーズに行うため、学習成果の可視化を積極的に行っています。

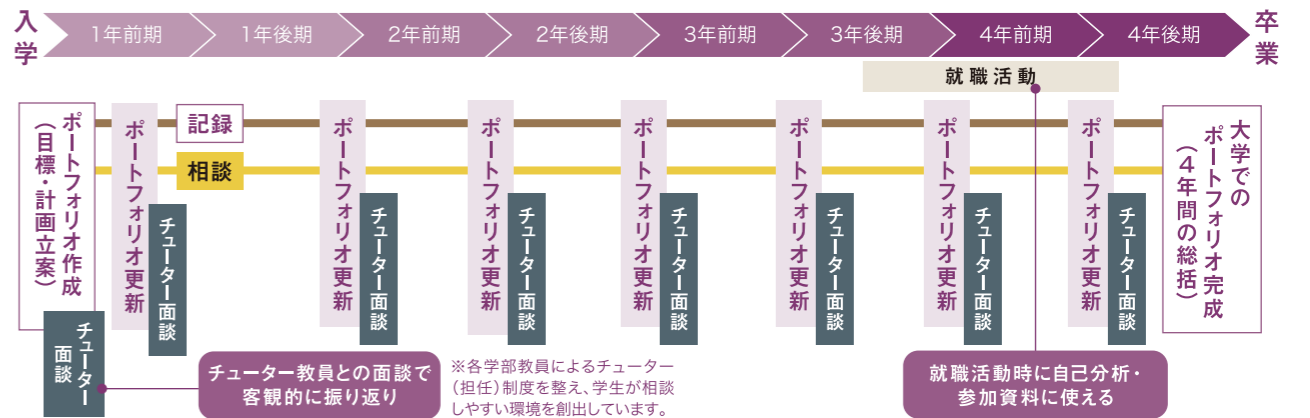
可視化することで自分自身の学習状況や学習評価を正確に把握し、さらなる成長へとつなげていくことが可能です。



ラーニング・ポートフォリオ

学習の記録や目標を記し、自己を振り返る。

ポートフォリオは自らの学習活動を記入していく、日常的な学習・行動の記録です。学期初めに目標や将来像を入力し、その上で学習内容を自分で記録し、学習成果を可視化していきます。定期的に振り返って自己省察を行うことで成長を実感し、やる気を喚起させていくことができます。日々積み重ねていき、最終的には就職活動時のエントリーシートや自己分析につなげていくことが可能です。佐賀大学ではWEB環境でのポートフォリオで、少しの空き時間でも記入・確認ができるような継続しやすいシステムを取り入れています。



【農学部】システム生態学分野

生き物の多様性や生き物同士の相互作用、生活における影響などを研究しています。

生き物の生態や行動を分析。

生き物がおかれた環境の中での行動や生態を探り、生き物同士の相互作用を考察する。

自然の中、生活の中でフィールドワーク。

変化していく自然環境・生活環境の中で、生き物がどう行動していくか、どんな影響を与えるかを観察する。

繰り返して取り組み問題解決へ。

フィールドワークを振り返り、何度も繰り返すことで、生き物の生態の解明、希少生物の保護、生き物による社会課題(環境問題等)などの解決につなげていく。

【経済学部】社会課題演習

1年生の後期から、実際の社会課題を取り上げて取り組み、ロジカルな考え方や4年間の学びの基礎を築きます。

社会問題を聞き取る。

経済学部の3つの学科をシャッフルしてグループを組んで多様な視点を持たせ、大学の教員と実務者の双方から同じテーマの社会課題について話を聞く。

自分で考え、説明する。

自身のクラスに戻って振り返り、それぞれが聞いた内容を互いに説明し合う。自分で考え、自分でまとめてロジカルに説明する習慣をつける。

「聞く・説明する」を繰り返す。

理論学習を積み重ねるとともにコミュニケーション能力を鍛え、2、3年生への学びやキャリアデザインにつなげていく。

LAPシステム(Learning Analytics Platform)

学習成果をグラフ化し、成長を実感する。

在学中に修得する様々な成果をグラフ化し、自分の学習成果を客観的に可視化していきます。履修した科目の出席率や単位取得状況や成績評価だけでなく、TOEIC®やPROGなどの外部委託試験の結果なども含み、総合的に自分の成長を確認できます。自己評価を確認して今後の学習計画に役立てたり、就職活動に向けた振り返りなどにも大いに役立ちます。

【LAPシステムで確認できること】

- 単位取得状況とGPAの推移
- 成績評価の分布状況
- 出席率
- 外部委託試験(PROG、TOEIC等)スコア
- キャリアパス特性
- 学士力項目別達成度・自己評価値
- その他



卒業認定制度

学んだことを言語化し、卒業認定を申請する。

学生自ら学習成果を可視化させたラーニング・ポートフォリオから、卒業認定を申請します。卒業を控えた学生が、卒業するにふさわしい学習成果を得ていることや、獲得した能力、成長実感について自分の言葉で記述して申請します。





INTERNATIONAL PROGRAM

インターナショナルプログラム



言葉や文化を超えて新しい世界を知ることが、自分の可能性を大きくする。

POINT 01 英語力

学生に明確な学習目標を与え、自ら英語力をアップさせるためのさまざまなシステムを用意。これらのシステムにより、全学部の英語力は、飛躍的にアップし、就職にも役立っています。

POINT 02 国際交流イベント

国境を越えて交流活動を行うチームや留学生と交流をしながら言語や文化を学ぶイベントなど新しい自分を発見し、よりグローバルな視点が広がる環境を用意しています。

POINT 03 海外留学支援

お金のこと、治安のこと、学力のこと。興味はあるけれど、不安も多い海外留学。佐賀大学では、留学を希望する学生に対して、さまざまな角度からサポートを行い、安心して海外留学できるように支援しています。

POINT 01 英語力

外部英語試験の実施

これからの社会に必要な、英語力アップはここから。

佐賀大学では、全学生を対象に、英語力を客観的に確認するための 全学統一の外部英語試験を実施しています。1年次前期に初回受験を行い、2年次後期までに複数回受験できる仕組みを整え、継続した学習を支援しています。

英語の継続的な学びを支援



副専攻プログラム「欧米の言語文化専攻 英語コース」

Academic Express 3

オンライン英会話ラウンジ

徹底指導で英語力を引き上げグローバルな人材を育成します。

学部の専攻分野を問わず、国際的な知識と視野を持ち、英語での情報の正確な受信と積極的な発言ができるコミュニケーション能力を持ったグローバル人材の育成を目標としています。英語で行われるインタラクティブな授業と必修の短期留学(派遣・オンライン)で、国際プロジェクトでリーダーシップが取れる英語力(CEFR B2)を目指します。

eラーニングを活用し英語力の質を向上させます。

世界最大級の教材データベース「スーパー英語」から、学習時間1,000時間を超える膨大な教材を提供するeラーニングサービスを拡充し、英語教育をきめ細かくサポートします。特に留学に必要な英語力を身につけるための教材が充実しており、継続して利用することでTOEFLやIELTSのスコアアップにつながります。

オンライン英会話レッスンで留学に向け英会話力を向上させます。

佐賀大学では留学を目指す佐賀大学生に無料で受講できる英会話レッスンプラットフォーム「オンライン英会話ラウンジ」を提供しています。1回25分の個人レッスンでは外国人インストラクターと自由に会話をしながら英語力、コミュニケーション力を向上させることができます。オンラインでのレッスンなので、インターネット環境があればいつでも、どこでも英会話を楽しめます。

POINT 02 国際交流イベント

立ち止まらずに世界を体験することで、可能性は大きく広がる。

佐賀大学の海外ネットワークは22カ国・地域74大学。海外の国や文化に触れることで、学識的にも人間的にも大きく成長することができます。佐賀大学では、学内でも国際交流ができるよう、様々な機会を提供しています。

グローバルサポーターズ

日本人学生と外国人留学生が共に学び、交流する機会を提供するため様々な国際交流イベント等を企画・運営する学生グループが「グローバルサポーターズ」です。グループには日本人学生と外国人学生が所属しており、学生の主体性を重視しながら佐賀大学のキャンパスの国際化を進めるとともに、メンバーそれぞれのスキルアップも目指しています。

グローバルサポーターズの様子を動画でご覧いただけます

ランゲージエクステンジ

世界のさまざまな国から佐賀大学に留学している外国人留学生と交流を深めながらお互いの言語を学びましょう。英語を始め、韓国語や中国語、スペイン語など様々な言語を簡単な会話で楽しみながら練習します。また日本語を習得したい留学生とは「やさしいほんご」を使って日本語の練習をし、お互いに語学能力を高めることができます。

異文化交流イベント

学内では様々な国際交流イベントを実施しています。海外の文化を体験できるイベントや日本の文化を留学生と一緒に体験するイベント、季節のイベントなどを実施しています。佐賀大学にいながら、世界のさまざまな国や地域の特色や文化を「見て」「感じて」「体験する」ことができるイベントが盛りだくさんです。

POINT 03 海外留学支援

佐賀大学の海外ネットワーク22カ国・地域74大学

- 1 中華人民共和国**
 - 華東師範大学
 - 北京工業大学
 - 中国農業大学
 - 遼寧師範大学
 - ハルビン工業大学
 - 華東理工大学
 - 浙江理工大学
 - 西南政法大学
 - 浙江科技学院
 - 遼寧大学
 - 首都師範大学
 - 温州大学
 - 貴州民族大学
- 2 タイ王国**
 - カセサート大学
 - コンケン大学
 - チェンマイ大学
 - タマサート大学
 - モンクットワラカバン工科大学
- 3 バングラデシュ人民共和国**
 - ジャハンギールナガール大学
 - チッタゴン工科大学
 - ダッカ工科大学
- 4 インドネシア共和国**
 - ハサヌディン大学
 - ガジャマダ大学
 - サム ラツランギ大学
 - リアウ イスラム大学
 - スリビジャヤ大学
 - IPB大学
 - マラン国立大学
 - ジュアンダ大学
 - プラウイジャヤ大学
 - セベラスマレット大学
 - スラバヤ工科大学
- 5 カンボジア王国**
 - プノンペン王立法経大学
 - 王立プノンペン大学
- 6 フランス共和国**
 - ブルゴーニュ大学
 - オルシアン大学
 - リール大学
- 7 オランダ王国**
 - デザインアカデミー
 - アイントホーフェン
- 8 ドイツ連邦共和国**
 - ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレ
- 9 フィンランド共和国**
 - ユバスキュラ大学
- 10 ポーランド共和国**
 - ルブリン工科大学
- 11 リトアニア共和国**
 - ヴィタウタスマグヌス大学
- 12 スリランカ民主社会主義共和国**
 - ペラデニヤ大学
- 13 ラオス人民民主共和国**
 - ラオス国立大学
- 14 アメリカ合衆国**
 - スリッパリーロック大学
- 15 カナダ**
 - ウィルフレッド・ロリエ大学
- 16 大韓民国**
 - 全南大学校
 - 安東大学校
 - 国民大学校
 - 釜山大学校
 - 金慶大学校
 - 済州大学校
 - 韓国技術教育大学
 - 培材大学校
 - 牧園大学校
 - 大邱大学校
- 17 オーストラリア**
 - ラトロープ大学
 - シドニー工科大学
- 18 台湾**
 - 輔仁カトリック大学
 - 国立政治大学
 - 国立中興大学
 - 国立台北大学
 - 国立東華大学
 - 元培医事科技大学
 - 文藻外語大学
 - 国立勤益科技大学
- 19 ベトナム社会主義共和国**
 - ハノイ国家農業大学
 - ハノイ国家大学
 - 外国語大学
 - アンザン大学
 - カントー 大学
 - ベトナム国家大学
 - ハノイ校経済大学
- 20 スペイン王国**
 - アルメリア大学
- 21 パナマ国**
 - パハマ大学
- 22 オーストリア**
 - ウィーン工科大学

▶ 交換留学

海外協定大学への長期の交換留学も可能。世界22カ国・地域74大学と協定を締結しており、大学の推薦を受けて、協定校へ派遣されます。正規留学よりハードルが低く、留学がより実現可能になります。また、さまざまな支援やサービスで、安心して留学に挑めます。

どうしても海外で学びたい！ その思いが自分を成長させ、未来を開く。

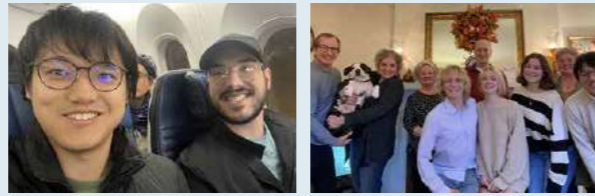
教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース中等(英語)
アメリカ スリッパリーロック大学
向 敬史 福岡県 小倉南高等学校出身

留学を志すようになったきっかけ

入学当初から、高校の英語教師になりたいという思いがありました。生徒の目線に立ち、「海外に住んだことのない英語教員に教わりたいだろうか?」ということを考えてみると、留学をしない選択はなくなりました。また、自分の言葉で自分の経験、海外や英語を学ぶ魅力を伝えられた方が教師として魅力的であると思いました。また、英語力に関して言えば、「英語ネイティブが実際に使う英語はどのようなものだろうか」という思いと「それを将来の生徒に伝えて、実際にコミュニケーションで使える英語を教える授業をしたい」という思いが強くなりました。

留学するまで

私が留学をして最もよかったことは、英語力の向上ではありません。日本、そして日本人が築いてきた文化のすばらしさや特異性に気づくことができたということです。日本人として偏見が入っているかもしれませんが、日本はとても素晴らしい国です。留学前、日本の中にいた時は、日本が遅れている海外の方が優れていると感じることもありました。今は、日本の文化をしっかりと受け継いでいく重要性を感じています。海外に住んでみると、日本人としての当たり前が崩されてショックを受けることが多々あります。日本



人として、日本文化に気づくためにも外に出てみてよかったと強く感じています。こちらでは、高校で日本語を教えたり日本文化を紹介したりする機会もいただいています。アメリカの学生が日本に興味を持つように授業を計画する中で、当たり前だと考えていたことに気づく機会にもなりました。こちらの人々は、フレンドリーな人が多くいます。一度友達になると、僕の名前を覚えて呼んでくれます。僕は覚えることができず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。友達にも恵まれ、パーティーなどに参加することもあります。

その後の希望する進路

将来は佐賀県の県立高校で英語教師をしようと考えています。自分の経験を交えつつ、英語を使う楽しさを伝えられるように、コミュニケーション的な授業を実施したいと考えています。



韓国の感性に惹かれて留学を決意。 この貴重な体験を仕事にもつなげたい。

農学部 生物資源科学科 国際・地域マネジメントコース
オーストラリア ラトロープ大学
土橋 彩香 福岡県 香住丘高等学校出身

留学を志すようになったきっかけ

大学卒業までに何かを身につけたくて真っ先に思いついたのが苦手な英語を克服することでした。佐賀大学内で行われている国際交流イベントに参加することから始め、次第に在学中に外国に留学してみたい気持ちが大きくなりました。日本と季節が反対の南半球で過ごすことに興味があり、動物や植物が好きだったので、交換留学先は自然とオーストラ



リア1本に絞られました。語学条件の達成にかなり時間がかかりましたが、それも自分にとって良い経験になったと思っています。

留学中

私は4年次での留学だったため、卒業に必要な単位はほとんど取り終えた状態でした。そのため留学先では農業とは全く関係のないメディア系の授業を選択しました。また、現地では寮生活をしており、家族のような友人もたくさんできました。オーストラリアで働く経験もし、生活のすべてが新鮮でした。初めて学ぶ分野の課題をこなすことは大変でしたが、農学部ではできなかったことを少しずつ実践できることが楽しかったです。留学を経験したことで周りの人の有難さや日本の素晴らしさを再認識できました。卒業後は佐賀大学と留学先で学んだ両方のことを活かし、また新しいことに挑戦したいです。仕事の出張でまたオーストラリアを訪れることが新しい目標になりました。



▶ SUSAP SAGA UNIVERSITY STUDY ABROAD PROGRAM

長期休暇を利用したSUSAP(短期海外プログラム)ですが、語学研修に加え、その国の文化や生活についても学べるプログラムを提供。海外の学生との協働プロジェクトなども取り入れ、国際交流を行い、グローバルな視野を育みます。



2026年度実施予定プログラム ※変更の可能性あり

長期休暇を利用した16日から1ヶ月程度の全学部の学生対象プログラムです。単なる語学研修ではなく、学生各々が持つ関心や伸ばしたいスキル、将来のビジョンに応じて選択できるよう多彩なプログラムがあります。奨学金などの経済的支援や、留学に関するサポートも充実しています。

ラトロープ大学プログラム (オーストラリア)5週間・約88万円

多彩な国籍の学生と週20時間の授業を受講します。学生バディーやホームステイ家族とも交流できます。

ウィルフリッド・ロリエ大学プログラム (カナダ)2週間・約80万円

英語によるビジネスコミュニケーションのほか、様々な文化体験やフィールドワーク、ホームステイなど予定しています。

東華大学プログラム (台湾)4週間・約16万円

専門分野の授業を英語で受講。自分の関心や専門分野に従って学習することができます。

マラン国立大学・スラバヤ工科大学プログラム (インドネシア)3週間・約32万円

インドネシアで多文化共生を学びます。現地学生とも交流します。

慶国大学プログラム (韓国)2週間・約24万円

「ことば」と「文化」の両方を体験できる充実の研修プログラムです。

アルメリア大学プログラム (スペイン)2週間・約56万円

付属ランゲージセンターでスペイン語を基礎から学ぶことができます。またアルメリア大学の特色であるSDGsやダイバーシティについての現地授業に参加し、現地学生との交流もあり、プチ交換留学を体験できます。

スリッパリーロック大学 (アメリカ)2週間・約75万円

実践的な場面を通して英語で交流し、学ぶことができます。



多様な文化と スペインの温かさに触れる

医学部 医学科
スペイン アルメリア大学
狩野 風花 佐賀県 佐賀西高等学校出身

私は、将来職業に就く上で今のうちにいるんな国や文化を見て視野を広げたいと思い、今回の短期留学に参加しました。私が参加したプログラムでは、スペイン出身の学生だけでなくパキスタンやウクライナ出身の学生など、様々な国の学生と交流し、陸続きに国が連なるヨーロッパならではの多様な文化や価値観に触れる貴重な経験となりました。また、休日の旅行中のトラブルでは現地の人々に助けられ、スペインの国民性の温かさ実感しました。もし留学に興味があれば、留学生交流室に行って話を聞くだけでも何かが変わるかもしれません。必要なのはほんの少しの行動力です！



“知る”を超えて、 “感じる”留学へ。

経済学部 経済学科
インドネシア
マラン国立大学・スラバヤ工科大学
松井 士侑 広島県 広島大学附属高等学校出身

私がSUSAPインドネシア2025に参加した理由は、「インドネシアを知りたい」という思いと、実はほとんど知らなかった」と気づいたからです。インドネシアが熱帯地域に位置し、バリ島の世界遺産や人口の多さで知られていることは有名ですが、その一方で私はインドネシアの歴史や文化について深く理解していませんでした。実際に現地を訪れ、博物館や教会、モスク、寺院などさまざまな場所に触れながら、英語を使ってインドネシアの歴史や宗教の多様性について学んだ経験は、とても印象的で忘れられないものとなりました。プレゼンテーションなど大変な課題もありましたが、価値観の異なる国々の学生と交流できるSUSAPは、非常に魅力的な制度だと感じています。日本に帰国した現在もインドネシアの人々との交流は続いており、現地でお世話になった学生が来日しているため、一緒に出かける予定も立っています。

▶ 佐賀大学の卒業生は海外での学びを今どのように生かしているでしょう?



留学で学んだことを 地域のために活かしたい。

先進健康科学研究科
先進健康科学専攻修了
佐賀県庁勤務
澤山 芽衣

姉の影響もあり、入学前から留学を考えていました。大学1年生の夏、留学で有名な台湾・国立中興大学の短期プログラムに参加し、学部3年生で同じ大学に1学期間、その後フィンランドのユバスキュラ大学に1学期間交換留学し環境技術を学びました。帰国後は大学院で農学を学び、それまでの学びを地域に還元するために佐賀県庁に就職しました。



英語を通して学ぶ楽しさを 高校生にも伝えたい。

教育学部 学校教育課程
小中連携教育コース中等(英語)卒業
山口県立高校英語教諭
國弘 貴之

幼いころから英語や外国の文化に興味があり、1年生のときに留学することを決めました。留学先のアメリカ合衆国、スリッパリーロック大学では、教育学をはじめ多種多様な授業を受けることができ、ますます英語への興味関心が高まりました。現在はこの英語を通して学ぶことやコミュニケーションを高校生に伝えています。



起点。
社会と
つながる

CAMPUS COMPANY INSTALLATION

学内企業設置



起点。
可能性に
出会う

FACILITY INTRODUCTION

施設紹介



キャンパス内に7社を誘致。社会実装教育をより身近に。



佐賀大学では「グローバルな視野を持つ地(知)の拠点」を目指し、これまでIT関係、ロボット工学、AI、電気化学に関わる様々な企業・団体をキャンパス内に誘致するという画期的な取り組みを行ってきました。キャンパス内に開設された企業ではそれぞれに佐賀大学と連携しながら社会実装教育が行われ、学生に社会のあり方を示唆するとともに、共同開発をさらに発展させることで地域貢献も目指してきました。中でも、株式会社中山ホールディングスが開設している「佐賀大deラボ」は、ファブラボのように分かりやすい形で情報発信している取り組みでもあり、注目を集めています。学内の一部の企業ではアルバイトやインターンシップも受け入れており、社員たちとともに実社会の現場や仕事を体験することも可能です。今後は、佐賀大学発ベンチャーとしての起業支援も含め、より広い視野での実践的な学びを応援していきたいと考えています。

ともに学び、成長するための環境・施設が充実。

佐賀大学 美術館



教育、芸術振興、 地域交流に貢献する美術館。

佐賀大学美術館はガラス張りの明るく開放的な造りで、大学正門に位置しています。美術・工芸作品を展示・収集・保管しながら、教育の実践の場として活用し、さらに地域の人々にも気軽に観覧していただけるように造られています。大学主催の企画展示のほか、市民や卒業生の企画展示も行っています。

産学交流 プラザ

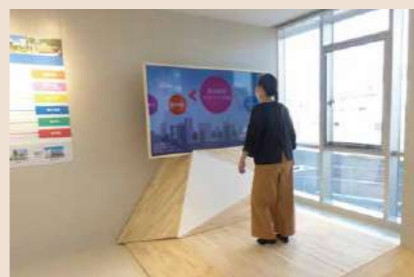
産業や地域とのつながりを深め 新たな知の拠点を目指す。

2021年に、佐賀大学の新たな知の拠点として開設されたのが産学交流プラザです。北側は全面ガラス張り、建物中央部は吹きぬけの開放的な造りです。学内のユニークな研究や共同研究の成果を紹介したり、地域連携や産学連携を推進・サポートする窓口などが集約されています。



1F インフォメーションコーナー

佐賀大学の設立時からの歴史や、最新の研究を紹介するコーナーです。研究成果の実物展示や、手で操作できる非接触型システムのスクリーンもあり、佐賀大学の概要を興味深く知ることができます。



2F 学生ベンチャースペース

2階部分は学生ベンチャースペースです。佐賀大学の学生が起業したベンチャー企業も入居し、互いに刺激あいながら事業や研究に取り組んでいます。新たな学生起業家を応援する環境が整っています。



佐賀大学に
設置されている
企業7社

※2026年3月末時点



ITで地域社会に貢献する



SDCソリューションズ株式会社



大学との共創で、 ITの可能性を地域へ。

佐賀大学とは長年にわたり連携し、CBT入試の共同開発などを通じて信頼関係を築いてきました。2020年には本庄キャンパス内にR&Dセンターを設置し、AI・IoTやDX技術を活用した開発を推進。学生のインターン受入れなどを通じた人材育成に加え、共創による新たな価値創出と地域への貢献に取り組んでいます。

ネットを空気に変える。



株式会社オプティム



ITの力で 社会課題を解決する。

オプティムは「ネットを空気に変える」を掲げ、AI・IoT・ロボティクスで社会課題を解決し新たな価値の創出を目指しています。佐賀大学と連携し教育や実践の場を提供し、学生と共に未来を切り拓いています。インターンやアルバイトを通じて挑戦と成長の機会を広げ、多様な人材が活躍できる環境を整えています。

アイデアをカタチにし、
地域貢献へ。



株式会社中山ホールディングス「佐賀大deラボ」



充実した設備・環境で、 ものづくりを身近に。

佐賀大deラボは、2019年に設置された中山ホールディングスがサポートしている産学連携拠点で、3DCADや3Dプリンターなど充実した設備を活用し、学生が自由にものづくりに挑戦できる環境を提供。企業案件にも関わりながら実務経験を積み、アイデアを形にして地域貢献につなげるとともに、創造力と実践力の向上を継続的に支援しています。

学生起業家



新たな自分、新たな環境に挑戦できる起業家の輩出をめざす。

佐賀大学では、佐賀県や佐賀市、数々の地元企業と協働しながら創造的人材の育成をめざしてきました。アントレプレナーシップ教育にもいち早く取り組み、学生のチャレンジ精神を環境面からも積極的に支援しています。



左より、twelS株式会社 小嶋さん、株式会社WIDE 北原さん、株式会社HiBee 高重さん、テトラクリエイト株式会社 濱田さん、合同会社sunapp 高津さん。

主体性やチャレンジ精神を育てるアントレプレナーシップ教育

起業家精神をはじめ、すでにある事業を承継していくための知識や技術、新たなプロジェクトを立ち上げるための企画力、優れたチームの作り方など、ビジネスや地域社会で他者と協働しながら各々の能力を効

果的に活かすスキルを身につけます。学部学科を超えた多様なクラスメイトとともに実践的に学ぶことで、今ある環境の中でもチャレンジ精神を発揮し、自らが動きだせる人材の育成をめざしたプログラムです。

アントレプレナーシップ教育実践の授業（インターフェース科目）

チームビルディングとリーダーシップ 1・2

企業連携で、実践的にチームビルディングを学ぶ。チームを組んで地元企業の課題に取り組み、実社会で役立つ技術・思考を身につけていきます。活動を通して、チーム内での自分の役割や貢献を認識します。学内、地域、ボランティアなど、さまざまな環境で実践した実績と評価が、自信や達成感につながっていきます。

学びの内容

- ・多くの県内企業と連携し、実際のデータや要望を反映した実践的な学び
- ・社会問題の把握→企画→プレゼン→実施までの一貫した学び
- ・2年間かけたスモールステップで着実な成長

2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 A・B

ITスキル×アントレプレナーシップ教育で、行動できる力を育成。学内に拠点をもつ企業やビジネススクールと連携し、社会課題を見つけ、解決していくためのビジネスプランに取り組みます。プログラミングを修得し、IT技術を組み込んだプランを構築します。同時に、グループワークを重ねて、多様性やコミュニケーションの重要性を学びます。

学びの内容

- ・(株)オプティム(IT企業)やNPO法人風雛塾(ビジネススクール)との連携
- ・社会課題を解決するためのITスキルとプログラミング
- ・企業に役立つ論理的思考、マーケティング理論、アイデア創出方法

学生によるイノベーションを応援する大学のサポート



佐賀大学発ベンチャーの認定

大学での研究成果を活用した新事業に「佐賀大学発ベンチャー」の称号を授与し、バックアップしています。

- 【取組例】
- 佐賀大学で法人登記が可能
 - 会社のスペースを無償で提供



相談窓口

新規事業・新団体の立ち上げなど、「これがしたい!」といった時に、まず初めに相談できる窓口です。

- 【取組例】
- 佐賀県やよろず支援拠点などと連携しながら、様々な企業や地域の人材を起業希望者とマッチングし、新たな起業をサポート



企業と連携

大学の研究に興味がある企業や起業支援組織と連携しながら、学生起業家が活躍できる環境を整えます。

- 【取組例】
- 九州・大学発ベンチャー振興会議、PARKS、風雛塾との連携
 - 佐賀銀行・佐銀C&Cと産学金連携協定を締結。佐賀県のスタートアップ事業と連携



広報活動

学生の新たな取り組み、注目の新規事業、ビジネスコンテストの入賞などは、学内外に向けて積極的に広報していきます。

- 【取組例】
- 広報誌「かちがらす」、佐賀大Pressへの掲載
 - HPでのプレスリリース掲載



コワーキングスペースの開設

起業に関心がある学生が、情報交換や交流できる場として開設しました。簡単な登録で、起業の準備や実務を行う場として、また打ち合わせの場として、幅広く活用できます。

- 【取組例】
- 大学発ベンチャー関係者や起業準備中の学生は、24時間365日、無料で自由に利用可能
 - 起業までの4つのステップに沿った起業支援セミナーや、ピッチイベントを随時開催



佐賀大学! 学生起業家 チャレンジャー 紹介



〈株式会社山城機巧〉
山城 佑太 学部4年次に起業
腰の負担を軽減する用具(フット)を開発し、起業。2020年の「キャンパスベンチャーグランプリ」全国大会で最優秀賞受賞。



〈株式会社AS〉
浅川 泰輝 学部4年次に起業
インターネットを使ったモバイルオーダーシステム「ASオーダー」の開発・運用。「さがラボチャレンジカップ2020」最優秀賞獲得。



〈株式会社NEXS/こよみる株式会社〉
梶原 薪 博士課程1年次に起業(NEXS) 本学修了後に起業(こよみる)
バスの位置情報を知らせるサービス提供で、学部3年次に3人で初起業。2024年度までに計3社起業している。「さがラボチャレンジカップ2021」最優秀賞獲得。



〈株式会社SA-GA〉
森山 裕鷹 学部4年次に起業
ブロックチェーンを研究し、複数の特許を取得。特許の製品化をきっかけに起業。学校向けキャッシュレス決済サービス「学校PAY」を開発し提供中。



〈テトラクリエイト株式会社〉
濱田 悠菜 学部4年次に取締役社長就任
医薬品の開発・販売に取り組む会社の2代目。社長経験を積むことで、起業への意欲が芽生えた。



〈株式会社WIDE〉
北原 誠大 学部4年次に起業
学校の部活動を取り巻く環境について興味をもち、研究。部活動と指導者をつなぐサービス「すくスポ」を提供。



〈合同会社sunapp〉
高津 汰耀 学部3年次に起業
福岡県立新宮高等学校出身。バスケットボールの試合や観戦に活用できるシステムアプリ「スコアキャスト」を開発。中学・高校でサービス提供を開始。



〈株式会社HiBee〉
高重 敬太 学部4年次に起業
県内企業の認知度、人手不足を感じSNS運用や広告事業によるデジタルマーケティングを実施。



〈twelS株式会社〉
小嶋 恒 博士課程1年次に起業
数式や自然言語(日本語や英語など)を検索できる数式検索エンジンを開発。法人に向けたサービスを提供。

株式会社WIDE 北原さん 学びと起業

将来や活への不安もあり、起業に興味を持つように。

1年次 不安と興味

「現代の教育と社会」という講義で部活動の課題について知り、研究を開始。

「佐賀市ビジネスコンテスト」で優勝し、それが自信に。

3年次 活動と自信

同級生4人と学生団体WIDEを立ち上げる。

部活動が持つ可能性を最大限にカタチにしていきたい!

4年次 起業とチャレンジ

4月に株式会社WIDEを設立し、9月に佐賀大学発ベンチャー認定。

起業!

自然豊かな地域にありながら、先進的な研究成果を世に発表し続ける佐賀大学。

地域に根差し、社会へ貢献する取組も数多く行っています。



医学部 分子生命科学講座アレルギー学分野

出原 賢治 特任教授

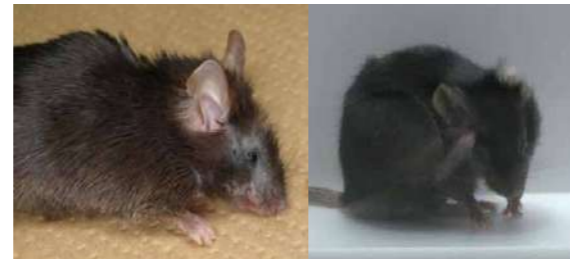
1984年九州大学医学部卒業後、九州大学医学部附属病院や福岡逓信病院などで勤務。1991年からDNAX分子細胞生物学研究所(アメリカ)にポスドクトラルフェローとして留学。帰国後、国立遺伝学研究所や九州大学医学部に勤め、2000年に佐賀大学医学部教授に就任。2024年より現職。

長年解明されなかった かゆみのメカニズムを発見 アトピー性皮膚炎の悩みに 明るい光を

アトピー性皮膚炎のかゆみの原因究明に取り組む出原賢治教授は、2012年にアトピー性皮膚炎と深い関わりのある物質ペリオスチンを発見し、2023年1月にペリオスチンの働きを阻害する物質CP4715を特定しました。これらの発見により、アトピー性皮膚炎の治療薬の開発は、大きく前進したと考えられます。



のです。この発見をきっかけに研究が大きく前進し、CP4715の発見につながったといえます。



激しいかゆみを示すアトピー性皮膚炎のモデルマウス(FADSマウス)を開発

クラウドファンディングで 新薬の開発に勢いを

かゆみを改善する物質が判明したら、いよいよ新薬の開発ですが、新薬の開発には多額の費用が必要です。そこで取り組んだのが、クラウドファンディングでした。初めに設けた目標額1000万円は早期に達成したことから、新たに目標2000万円を設定しました。最終日までに目標額を上回る寄付が集まったことから、アトピー性皮膚炎の新薬開発に大きな期待が寄せられていることがうかがえました。現在は、新薬の形状(外用薬か、経口薬か、など)や安全性などを検証しながら、早い段階での実用化を目指して研究に取り組んでいます。

難解なかゆみのメカニズムを 解明するための物質を特定

アトピー性皮膚炎の方々にとってかゆみは非常に大きな問題であるにもかかわらず、長年そのメカニズムは解明されませんでした。治療方法もステロイド外用薬が基本ですが、重症の場合はかゆみのコントロールは非常に難しく、多くの患者を悩ませてきました。出原教授が発見したかゆみのメカニズムは、アトピー性皮膚炎の皮膚組織ではペリオスチンという物質が大量に作られ、知覚神経上のインテグリンという物質と結合することでかゆみが脳に伝わるというものでした。ペリオスチンとインテグリンの結合を防げれば、かゆみを改善できると考えて研究を続けた結果、それらの結合を阻害する物質CP4715を特定することができました。

地道な研究の積み重ねから 画期的な発見を

長年困難とされてきたかゆみの研究が大きく進んだ背景には、顔に強いかゆみを訴えるアトピー性皮膚炎のモデルマウス「FADSマウス」の開発が大きく役立ちました。生まれつきペリオスチンを多く産生するFADSマウスから意図的にペリオスチンをなくし、そのマウスが「顔をひっかくかどうか」を根気強く観察を続けることで、ペリオスチンがかゆみに大きく関与していることを突き止めた

イザというときに頼れる 高度救命救急センター

本センターでは、以前から病院前診療に力を入れてきました。病院前診療は、患者が病院に着くのを待つのではなく、医師や看護師が治療を必要とする患者のもとに向いて治療にあたるシステムです。そのため、2011年には医師が同乗できるワークステーション式ドクターカーを導入し、2014年にはドクターヘリの運行を開始しました。ドクターヘリは、年間500回程出動しています。さらには、佐賀県内の救急告知病院の現場状況をリアルタイムで確認できるシステムを構築して救急搬送の見える化を行い、患者をスムーズに受け入れられる医療体制の構築を佐賀県全体で行っています。

DMATやドクターヘリなど 柔軟な機動力で緊急時の力に

本センターでは、国内外の災害時におけるDMAT(災害派遣医療チーム)派遣やドクターヘリの活用を積極的に行っています。熊本地震時には依頼患者をスムーズに受け入れ、2024年1月に発生した能登半島地震では医師1名、看護師2名、薬剤師1名で編成したDMATチームを派遣し、災害現場で活動支援にあたりました。この能登半島地震の支援に関しては、DMATに対して厚生労働省より感謝状が贈られました。



ドラマのモデルにもなった 空飛ぶ医師を中心に 佐賀ならではの 医療システムを構築

2015年、九州で3番目、佐賀県では初の高度救命救急センターの認可を受けた佐賀大学医学部附属病院。そのセンター長を務める阪本雄一郎医師のもと、佐賀県や医師会、消防署や地域住民と連携しながら、独自の医療システムを築いてきました。



災害関連死をゼロにする地域連携プロジェクト会議

日々の暮らしにも 寄り添う地域医療を

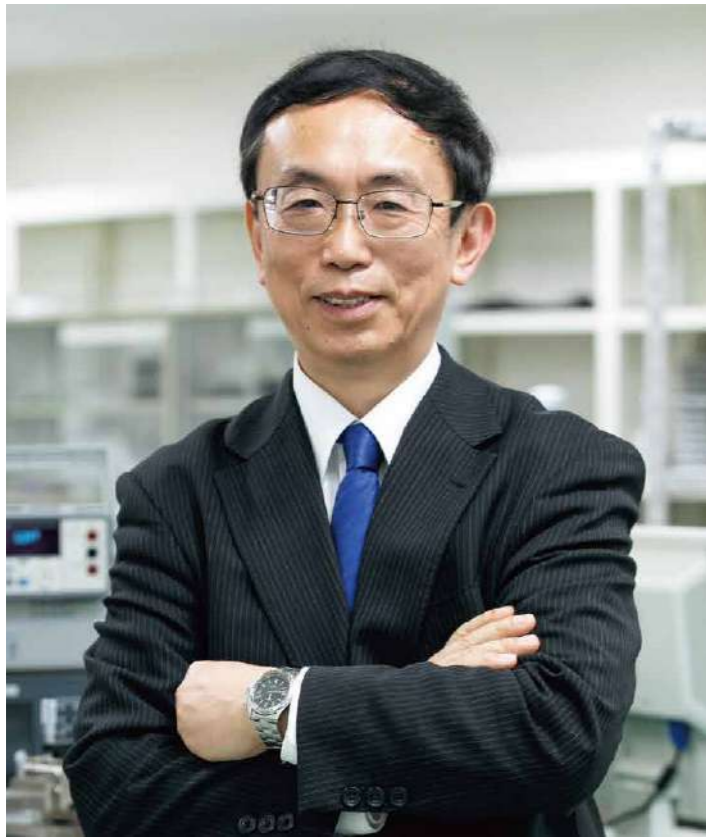
災害時や事故だけでなく、地域の人々の日々の健康を支えるのも佐賀大学医学部附属病院の役割であり、連日多くの患者を受け入れています。また、高齢者や認知症の方が自分の意思を伝えるための「終末期カードゲーム意思決定ツール開発」を佐賀県や本学の芸術地域デザイン学部と連携して行ったり、災害時に地域の人々の命を守る「災害関連死をゼロにする地域連携プロジェクト」に取り組んで地域防災力の向上を目指すなど、様々な方面から地域医療に貢献しています。本センターは、緊急時の高度救命救急センターとしても、地域の総合病院としても、他県に先駆けた医療システムの構築を行っています。



医学部 医学科 救急医学講座

阪本 雄一郎 教授

日本医科大学千葉北総病院勤務時に日本で初めてのドクターヘリを導入し、その後、本センターのセンター長に就任。ドクターヘリをテーマにしたドラマ「コードブルー」のモデルでもあり、その活動は空飛ぶ医師として評価が高い。



実用化へ加速！ ダイヤモンド半導体デバイスで 社会に大きなインパクトを

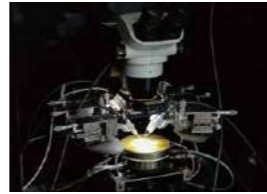
理工学部 理工学科
電気電子工学部門

嘉数 誠 特任教授

1990年日本電信電話株式会社に入社し、基礎研究所に所属。研究に取り組みながら、日本国内の大学、ドイツやフランスの大学、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所などで講師や研究員を務める。2011年に佐賀大学大学院の教授に就任。2026年より現職。



直径1インチ(約2.5センチメートル)のダイヤモンド半導体ウエハー



測定中のダイヤモンド半導体ウエハー上に作製した6G用半導体デバイスの顕微鏡

現代生活に欠かせない半導体 ダイヤモンドに大きな期待

半導体は、電気エネルギーを制御・交換する時に重要な役割を果たします。身近な家電製品などに使われる半導体の主な材質はシリコンで、もっと大電力を必要とする新幹線や携帯電話の基地局などには炭化ケイ素や窒化ガリウムを使った次世代のパワー半導体が使われています。そして、人工衛星やテレビの地上波放送局や電気自動車のように大容量の周波数・電力を必要とする産業で大きな期待を寄せられているのが、ダイヤモンド半導体です。炭化ケイ素や窒化ガリウムのパワー半導体と比較しても、電力効率がケタ違いに優れているのが大きな特徴です。

独自の発明をきっかけに 研究が一気に加速

ダイヤモンドは随分前から究極の半導体として世界中で注目を集めてきましたが、ダイヤモンド半導体の開発には非常に高度な技術が必要であるため、多くの研究者が途中で断念せざるを得ない状況でした。理工学部の嘉数誠教授が、ダイヤモンドに可能性を見いだして研究を始めたのは1990年頃。なかなか成果は上がりませんでした。「方向を間違わなければ絶対にできる」との信念のもとに研究を続け、2021年にダイヤモンド半導体の作製に成功しました。この成功のきっかけとなったのは、10年ほど

前に「ダイヤモンドに二酸化窒素を吸着させると電気が通りやすくなる」ことを発明したことでした。この発明により研究を困難にしていた大きな課題を克服することができ、成功へとつながりました。

さまざまな課題をクリアし 実用化へ向けて前進

ダイヤモンド半導体作製の成功をうけ、実用化に向けた研究が始まりました。ダイヤモンド半導体は高出力であるために、それまでの機器では電圧を測定できないといった問題が起きた時には、電圧を測定するためのオリジナルの機器を開発し、現在では4226Vの動作も計測しています。原料となる人工ダイヤモンドについても、不純物が少なくクオリティの高い結晶が必要であるため、天然ガスから独自で製造しています。2023年にはダイヤモンド半導体パワー回路を世界で初めて開発し、高速スイッチング動作や長時間連続動作を確認しました。さらに、これまでは耐久性がないとされてきたダイヤモンド半導体ですが、3456時間(2024年9月25日現在)の動作を確認し、記録はさらに更新を続けて耐久性を証明しています。ダイヤモンド半導体は、放熱性、耐電圧性、耐放射線に優れていることもわかっており、宇宙空間でも安定して動作することが確認されていることから、JAXAとの大型プロジェクトも進んでいます。

RESEARCH 佐賀大学の 研究



微細藻類を生物資源とし カーボンニュートラル社会 実現の大きな力に

海洋エネルギー研究所及び
リージョナル・イノベーションセンター
「さが藻類産業共同研究講座」

出村 幹英 准教授

2016年に締結された佐賀市、筑波大学、本学の研究協定に基づき、2018年に筑波大学より着任。佐賀市清掃工場で稼働する世界初の排ガス中からのCO₂分離回収装置によって得られたCO₂を利用した微細藻類の培養と有効利用研究に取り組む。



試験管サイズから数ℓボトルサイズの微細藻類培養。微細藻類は光合成を行うので、光をあて、二酸化炭素(数%程度)を通気します。



100ℓ以上の微細藻類培養。ビニールハウス内での大量培養実験も進行中です。

医薬原料や工業原料など 微細藻類の可能性に着目

微細藻類は植物プランクトンとも呼ばれ、大きさが1mmから1μm程度の顕微鏡レベルの藻類です。水中でも、植物と同じように二酸化炭素を吸って増殖し、森と同じような役割を果たしています。微細藻類の中には人間にとって有用な成分を作り出す種類があり、たとえばクロレラやユーグレナなどはすでにサプリメントとして流通しています。他にも、医薬原料や肥料、飼料、工業原料になる可能性を秘めていることがわかっており、微細藻類を生物資源として利用する研究は、世界中で注目を集めている分野の一つです。藻類活用で新商品開発や新規事業を目指す企業も増えてきています。

根気強い探索・研究で 新たな有用物質や新種を発見

佐賀大学の藻類研究は、微細藻類研究の第一人者として、出村幹英准教授が佐賀大学に赴任してきたことから本格的に始まり、2018年3月には佐賀大学構内に「さが藻類産業開発研究センター」が設置されました。出村研究室では、まず佐賀県各地にある池をくまなく巡って水を探り、新たな微細藻類の探索を始めました。その結果、ヘマトコッカスの中に血圧の上昇を抑える新規物質があることや、DHAを産出するイカダモの新種があることを発見しました。現在確認されているだけでも数万種類を超えるといわれている微細藻類の中から、活用

できる種類や物質を探索することは非常に根気を必要とすることで、今も引き続き行っています。有用成分を含む微細藻類を発見したら、その微細藻類を大量に培養し、有効成分を抽出し、濃縮・乾燥・精製させることが必要ですが、そのための研究もまた着々と成果をあげています。

さまざまな分野と力を合わせ 新たな産業の創出を目指す

微細藻類にはどんな成分があるのか、どんな新規産業となりうるのか、まだまだ多くの可能性を秘めています。出村准教授は、微細藻類の有用成分がどんな企業や産業にマッチングするのかを考えながら、研究開発を積み重ねています。また、微細藻類の生物資源活用で大きく注目すべき点は、地球温暖化の大きな原因ともいわれるCO₂を有効利用して微細藻類を育て、その新たな生物資源で新規産業を生み出すというサイクルです。環境問題に対応しながら新規産業を創出していくことで、カーボンニュートラル社会、資源循環社会の実現を目指せると考えられています。佐賀大学の微細藻類の研究には、出村准教授をはじめ、様々な分野の先生方が自由参加で集い、「μAB project(micro Algal Biomass Project)」として活動しています。それぞれの専門家がそれぞれの視点で研究を進め、微細藻類の新たな資源としての活用を目指しています。

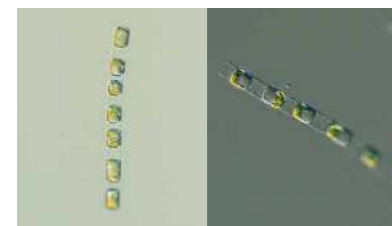
赤潮対策 —農学部 木村 圭准教授—

赤潮の動きを予測し、有明海苔を守る

赤潮に影響する
プランクトンを発見

赤潮はプランクトンが大量に発生する現象で、発生すると海苔の色落ちや栄養不足などの悪影響を与えます。地域産業にとっても、大きなダメージです。しかしこれまで、どのプランクトンが赤潮を引き起こすのかはわかっていませんでした。そこで、農学部の木村圭准教授らが着目したのが、DNAによる判別でした。顕微鏡では判別しにくいプランクトンの種類をDNAによって判別する方法(スケレトナ種判別定量PCR法)を確立し、赤潮に関するスケレトナ属を特定。同時に、赤潮の発生時期や増殖パターンといった年間動態を明らかにしました。

これにより、赤潮の発生を事前に予測する技術開発が加速すること



スケレトナ細胞の写真

になりました。赤潮が予測できれば、生産者は早めに対策を打つことができ、ダメージを最小限に減らすことが期待できます。



研究の成功は
確固たる信頼関係あってこそ

赤潮対策の取組を加速させた大きなポイントは、木村准教授と地元関係者との強い信頼でした。日々変わる有明海の海水を合計1800回も解析できたのは、8地点から週1回のペースで海水を採取し提供してくれた佐賀県有明水産振興センターの協力があってこそです。また、地元の生産者や漁協組合とは、何度も話し合いや説明を繰り返しながら、5年以上の歳月をかけて信頼関係を築いてきました。今では研究のために船に同船してもらったり、会議や懇親会で忌たんのない意見交換をしたりと、有明海の産業や将来をともに考える強い信頼関係を確立しています。

土砂災害対策 —農学部 宮本 英揮教授—

世界初! 土の中を「見える化」して土砂災害の前兆をキャッチ



山口祥義佐賀県知事が、土砂災害を事前に検知するシステムの実証現場を視察しました。

「土を測る」技術で
土の中の水分や土の動きを検知

大雨が降った時には土砂災害警報情報が発令されますが、その的中率は非常に低いのが現状です。この従来の予報と、農学部の宮本英揮教授が研究している土砂災害事前検知システムの大きな違いは、実際に土の中の水分を計測しているという点です。斜面に独自で開発した小型センサーを一定の間隔で埋め込み、土の中の水分増加や土のわずかな動きを検知してカメラ付きの監視装置で「見える化」し、そのデータを携帯電話の通信回線を使って定期的に送信するシステムです。この技術は、世界的にも例のないものです。

企業と連携したIoTが
迅速な運用のカギ

今回のシステムの大きな特長は、インターネットを活用している点です。通常ではインターネット環境が整っていない山間部でシステムを運用するために、企業の協力を得て無線通信システムの基地局を設置したり、山間部で長く利用するために機器の耐久性をあげるなど、課題を一つひとつ解決してきました。今後は、より地域を絞った範囲で土砂災害のアラートが出せるようなシステムづくりを目指しています。



海洋エネルギー研究所

未来を大きく変える、新エネルギーへの挑戦

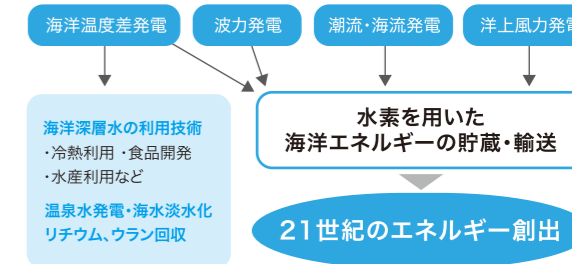
世界が注目する海洋エネルギーで
大きな夢の実現へ

「海洋エネルギー研究所」は、2010年度に共同利用・共同研究拠点として海洋エネルギー研究センターとして設立され、2022年度に「海洋エネルギー研究所」に改組されました。本研究所は、海洋にある「海洋温度差」「波力」「潮流・海流」「洋上風力」などのエネルギーの利用を研究する機関です。また、海洋エネルギー利用技術に加え、冷熱、食品、水産、微生物など海洋深層水利用技術の研究開発、水素を用いたエネルギー貯蔵技術などの研究開発も行っています。本研究所は、海洋エネルギー利用技術および関連技術の研究開発でエネルギー問題や環境問題の解決に寄与します。本研究所は国際的な研究を推進し人材を育成しています。主な卒業後の進路は、電力、ガス、重工、エンジニアリングなどエネルギー・インフラ産業です。



海洋エネルギー研究所・伊万里サテライト

研究所の主な研究分野

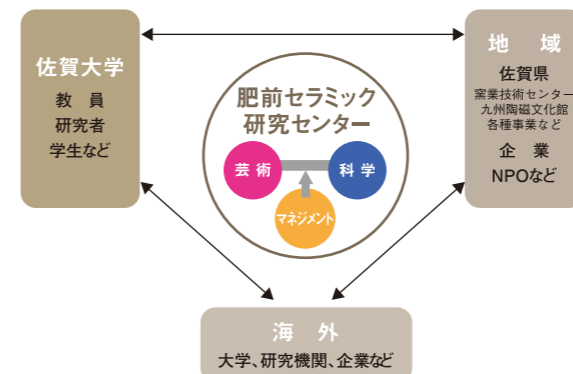


肥前セラミック研究センター

伝統的な有田の地から、やきものの新たな可能性を発信

地域や海外とも連携しながら
やきものイノベーションを目指す

当センターは、2017年4月に佐賀大学有田キャンパス内に設置されました。芸術的視点でやきものを研究する「プロダクトデザイン・アート研究部門」、科学的視点からやきものを解明する「セラミックサイエンス研究部門」、肥前の陶磁器産業を考察する「マネジメント研究部門」の3つの分野を融合した研究拠点です。佐賀県窯業技術センターや地元関連企業、海外の関連大学などと連携しながら「やきものイノベーション」の創出を図っています。



アイトホーフェンデザインアカデミー留學生 Marieke Van Schijndel 作品

伝統を大切にしながらも
新しい風をやきもの世界へ

当センターでは、佐賀県窯業センターが開発した焼成時無収縮磁器をはじめとする新素材の開発と応用をはじめ、活動は多岐にわたります。芸術地域デザイン学部や理工学部の学生たちが新素材を使った作品づくりを行ったり、歴史的遺跡の調査・分析を行う一方で、国際的なシンポジウムへの参加や海外との合同研究を進めるなど、地域や歴史を重んじながらも新たな視点でやきもの可能性を広げています。

数字で見る佐賀大学

さまざまな分野で進化を続ける佐賀大学。就職率や国家試験合格率など、確かな実績を築き上げる佐賀大学の驚くべき魅力を数字でご紹介します。

2025年度
学部生就職率

99.8%

※詳細はP100に掲載

JR九州の特急で
博多駅↔佐賀駅

約35min

※電車の所要時間は乗り換え・待ち時間等は含まれていません。

佐賀大学の
教員数

641名

※教授、准教授、講師、助教の人数 ※2026年4月現在

入学者の出身県の割合

福岡県 48.4%

佐賀県 24.6% 長崎県 4.6% その他 22.4%

※2026年度学部入学者

佐賀大学の学生数

6,707名

※2026年4月現在 ※大学院生を含む

学費の初年度納付金

81万7800円

入学金：282,000円 授業料：535,800円

※詳細はP102に掲載

キャンパス
の広さ

東京ドーム6個分

※本庄キャンパスのみ

アクティブラーニング
導入科目数の割合

※2025年度実績

99.97%

海外留学
人数

※2025年度実績

236人

大学発
ベンチャー

※2025年度までの実績 ※佐賀大学発ベンチャーの称号を授与した件数

9件

女子学生
比率

※2026年度学部入学者

43%

高等教育の
修学支援新制度

全額免除 2,659名

2/3免除：258名 1/3免除：177名

※2025年度通年実績 ※詳細はP102に掲載

保健師
助産師の
国家試験合格率

※2025年度実績

100%

奨学金
受給者の割合

66.7%

※2026年3月現在 ※貸与奨学金・給付奨学金の延べ人数での割合
※給付奨学金の多子世帯支援含む

大学の
地域貢献度
調査

※2023年11月6日発行の「日経グローバル」471号より

全国
総合 8位

附属図書館
の蔵書数

和漢書：約46万冊 洋書：約21万冊

約67万冊

公認サークル数

105団体

本庄キャンパス：64団体

鍋島キャンパス：41団体

※詳細はP108-111に掲載

就職先が
公務員の
学部生数

※2025年度実績

111名

就職者数は876名

将来のため、自分のために資格・免許を取得。

資格・免許の中には、仕事に必ず必要な資格・免許もあれば、将来のためやスキル向上のために取得する資格・免許などもあります。学生時代の時間と能力を活かし、必要な資格・免許取得にチャレンジしましょう。

■ 主な資格・免許

資格・免許には、卒業要件単位を修得して卒業することにより得られるものだけでなく、他の科目の単位の修得や卒業後の実務経験が必要なものなど様々な取得条件があります。詳しくは学務部教務課各学部教務担当にお問い合わせください。

学部	課程・学科	コース	資格・免許
教育学部	共同教員養成課程	小中連携教育コース	
		教育支援探究コース	
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	学芸員
		地域デザインコース	学芸員
医学部	医学科		医師国家試験受験資格
	看護学科		看護師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 保健師免許を取得し卒業後に資格が得られるもの 第一種衛生管理者免許状 養護教諭第二種普通免許状
理工学部	理工学科	数理サイエンスコース	測量士補
		データサイエンスコース	測量士補
		知能情報システムコース	
		化学コース	毒物劇物取扱責任者 危険物取扱者(甲種)受験資格
		物理学コース	測量士補
		機械工学コース	第一種ボイラー・タービン主任技術者 施工管理技士受験資格
		電気電子工学コース	電気主任技術者 電気通信主任技術者(一部受験科目免除) 施工管理技士受験資格
		都市基盤工学コース	測量士補 二級・木造建築士受験資格 施工管理技士受験資格(指定学科)
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 家畜人工授精師受験資格 普及指導員受験資格
		食資源環境科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 測量士補 自然再生士補 1級及び2級土木施工管理技士受験資格 普及指導員受験資格
		生命機能科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 普及指導員受験資格 危険物取扱者(甲種)受験資格
		国際・地域マネジメントコース	普及指導員受験資格
コスメティックサイエンス学環			毒物劇物取扱責任者 化粧品総括製造販売責任者申請資格 危険物取扱者(甲種)受験資格

■ 取得可能な教育職員免許状の種類

教育学部以外の学部においても、所定の科目を履修し単位を修得することにより、卒業時に下記の教育職員免許状を取得することができます。詳しくは学務部教務課各学部教務担当にお問い合わせください。

学部	課程・学科	コース	幼稚園教諭 一種免許状 二種免許状	小学校教諭 一種免許状 二種免許状	中学校教諭 一種免許状 二種免許状	高等学校教諭 一種免許状	特別支援学校教諭 一種免許状 二種免許状
教育学部	共同教員養成課程	小中連携教育コース	●	●	◆	■	★
		教育支援探究コース	●	●	◆	■	★
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	—	—	美術(一種)	美術、工芸	—
		地域デザインコース	—	—	—	—	—
経済学部	経済学科	—	—	—	商業	—	
理工学部	理工学科	数理サイエンスコース	—	—	数学(一種)	数学	—
		データサイエンスコース	—	—	数学(一種)	数学、情報	—
		知能情報システムコース	—	—	数学(一種)	数学、情報	—
		化学コース	—	—	理科(一種)	理科	—
		物理学コース	—	—	理科(一種)	理科	—
		機械工学コース	—	—	—	工業	—
		電気電子工学コース	—	—	—	工業	—
		都市基盤工学コース	—	—	—	工業	—
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
		食資源環境科学コース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
		生命機能科学コース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
		国際・地域マネジメントコース	—	—	理科(一種)	理科、農業	—
コスメティックサイエンス学環		—	—	—	—	—	—

◆…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
★…知的障害者、肢体不自由者、病弱者
■…国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、家庭、英語

次世代を担う

子どもたちを育成する

教育のプロになる。

Faculty of Education

教育学部

共同教員養成課程

- ▶ 小中連携教育コース
- ▶ 教育支援探究コース

〈熊本大学教育学部との
共同教員養成課程を実施〉

学校教育課程 小中連携教育コース
 伊藤 祥子 山口県 山口高等学校出身
 阿部 桃菜 佐賀県 鳥栖高等学校出身
 池尻 教大 佐賀県 三養基高等学校出身
 中島 了平 佐賀県 鹿島高等学校出身

〈学部の特徴〉

令和8年度より、佐賀大学教育学部と熊本大学教育学部が、高度な専門性を備えた教員を共同で育成する「共同教員養成課程」が始まりました。両大学の教員による多彩な指導を通して幅広い知見を身につけるとともに、佐賀大学の強みである実践的指導力に熊本大学の強みである産学官連携による探究を融合させることで、質の高い学びを提供します。

- 「小中連携教育コース」では、小・中学校の9年間を一体的に捉え、義務教育期間全体を見据えて教育実践を行える能力を持った教員を養成します。児童期から思春期にかけての心身の発達過程や各教科の内容をふまえ、一人ひとりの学習意欲を高めながら着実な理解や達成の積み重ねへと導き、学力向上を実現することのできる指導・支援のあり方を学修します。専攻は「小学校教育主免専攻」と「中学校教育主免専攻」の2つです。
- 「教育支援探究コース」では、子どもの生活・発達・学習について、心理、教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学びます。また、これらの知識や技能をもとに子どものニーズや課題を把握できる教員を養成します。専攻は「発達支援専攻」と「特別支援教育専攻」の2つです。

■ 教育目的

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴うさまざまな教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的としています。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



「教師へのとびら」をきっかけに 4年間かけて「いい先生」を探求

高校生の時、佐賀大学主催の「教師へのとびら」に参加した際に、「いい先生ってどんな先生？」という議題に納得のいく答えが見つからず、それを4年間かけて探していきたいと思志しました。1年次から実践的な知識を身につけることができ、複数の免許取得が可能なおかげで、小中一貫教育や特別支援教育に強い教員を目指すという点にも魅力を感じました。音楽科に所属し、小学校各教科や専門科目である音楽について実技を交えながら学びを深め、趣味である合唱や吹奏楽も楽しんでいました。また、学年の取りまとめ役を務めたことで、学級運営に不可欠な計画性やリーダーシップが身につく、視野も広がったと感じています。将来は指導スキルが高だけでなく、居場所づくりができる教員になりたいと思っています。

学校教育課程 小中連携教育コース
徳永 月渚 佐賀県 鳥栖高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧ください



複数免許の取得で広がる 教育者としての幅広い可能性

01 熊本大学教育学部との 共同教員養成課程を実施

二つの国立大学が連携し、互いの強みを活かしながら、新たな教員養成に取り組んでいます。



共同教員養成課程のポイント

構成大学は、一の大学が開設する授業科目を、その他の大学の教育課程の一部とみなして、同一内容の教育課程を編成

学生はそれぞれの構成大学において共同教育課程の開設した授業科目の単位をそれぞれ31単位以上取得(卒業要件)

共同学科等の課程を修了した学生に構成大学による連名の学位(共同学位)を授与

共同科目(一方の大学の教員が両方の大学の学生に向けて授業を開講)、「シラバス共通科目」「(各大学の)独自科目」を通して学びを進めていきます。佐賀大学の教員の授業は主に対面で、熊本大学の教員の授業は主にオンラインで実施します。

02 教育支援と小中連携教育を実現する 複数免許の取得をサポート

教育学部ではどのコースを選んでも「幼稚園教諭」「小学校教諭」「中学校教諭」「高等学校教諭」「特別支援学校教諭」から複数の免許取得が可能です。「幼稚園教諭」と「小学校教諭」のダブルライセンスや、小中一貫教育に携わるために「小学校教諭」「中学校教諭」を組み合わせるなど、目指す将来に必要な資格を在学中に取得できます。



◎小・中・高は教科の免許・取得が可能

「保育士」の資格取得には、国家試験の受験が必要です。

教科教育に重点を置き、各教科の学びを深めて専門知識と技能を身に付けます。小学校での英語教育に対応して、英語にも力を入れています。

全校種対応 取得可能な中学・高校の免許科目一覧



◎特別支援学校教諭の免許取得も充実

(教職大学院への進学→修了で専修免許も取得可能)

特別支援学校の教員になるためには、教諭免許状のほかに「特別支援学校教諭免許」が必要となります。教育支援探究コースでは、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識を学び、免許取得をサポートします。特別支援教育にも強い教員を目指します。



丁寧なサポート体制

高い能力を備えた教育者を育成する充実の環境

現場で教える教科内容を「質の高い授業」で学習

レベルの高い研究業績を持つ教員による、教科教育・教科内容で学びを深めます。学校教員になるための「質の高い授業」によって、教育現場で活用できる知識・技能を身に付けます。

理論と実践、どちらも高いレベルで修得可能

教育学部から教職大学院まで「6年間の教員養成」を見据えた学修が可能。また、佐賀県公立学校教員採用選考試験においては、一般・教職教養試験免除制度*が新設されました。
*教職大学院修了後の専修免許状所有者(見込み含)対象

学部教員が一丸となって試験対策を丁寧に指導

教員採用試験対策は、学部教員全員による丁寧な2次試験対策を中心とした指導を実施。過去問題の提供や実技指導など綿密な支援策で、合格への実力を積み上げていきます。

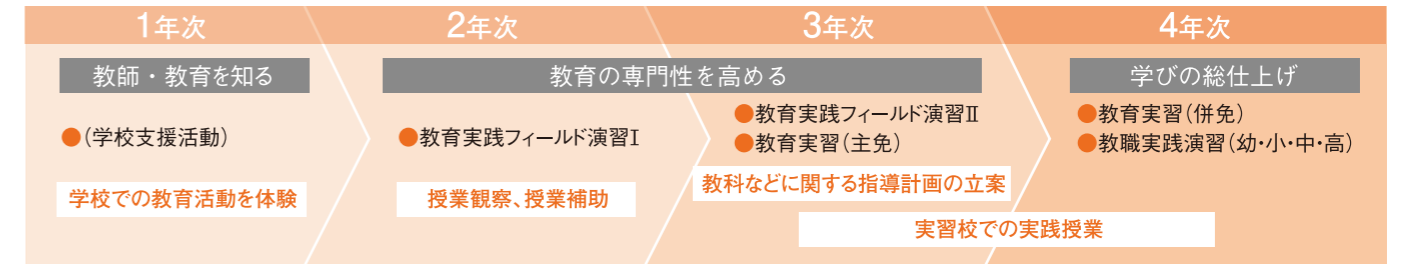
03 1年次から学校現場、3年次から教育実習へ、 実践経験を積むフィールド演習

学内での講義のほかに体験学習をバランスよく組み合わせ、早い段階から教育現場での経験を積み、社会に出るときに即戦力として輝ける力を身に付けます。



[4年間の教育実習のイメージ]

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があります。



▶附属学校での実習

教育学部には、一人ひとりの個性と能力を生かす教育の場である4つの附属学校園があります。教員を目指す学生が教育実習を行うのもこれらの施設です。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

▶附属教育実践総合センター

佐賀大学教育学部には附属教育実践総合センターがあり、附属学校園や学内外の関係機関との連携のもと、教育の研究や実践力向上を目的としています。地域に開かれたセンターとして、教育に関する情報を発信し相談窓口の役割も果たしています。



吉野ヶ里町立三田川小学校 勤務
西坂 修弥さん
教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース
2021年3月卒業

【業務内容】
勉強のほか、給食や掃除、友だちとの関わりなど、子どもたちの成長を日々サポート。

たくさんの学びや経験を積み重ね 多方面から子どもたちの成長を支えられる教員に。

私は佐賀県内の小学校で、国語、算数、社会、理科など幅広い教科の勉強を教えています。教育学部で、授業のやり方や子どもの行動の見取り方など多方面で学んだことがちゃんと役立っていると感じています。今でも時々「もっと勉強しておけばよかった」と思う事もあるので、今勉強中の学生たちは在学中にたくさん学んでほしいと思います。また学生時代には、Green-Nexusという団体に所属し、子どもたちや地域の方に向けたイベントを企画・運営していました。講義との両立は大変でしたがとても充実し、その時の経験も今に活かしています。将来は、子どもたちの成長を様々な面からサポートできる教員になりたいと思っています。そのためには社会人になってからも学び続ける姿勢が大切だと感じ、毎朝読書をして知識を深める、長期休暇には旅行に行くなど、多くのことを経験するように心がけています。





詳細情報はこちら

理論と実践を繰り返し
確かな教育実践力を
身につけていきます



将来、佐賀県で英語教育に携わりたいと考え、専門的に学べる教育学部を志望しました。副専攻として、語学力や国際的な視野を広めることができる英語コースを履修できる点も魅力でした。私の好きな英語科教育法では、模擬授業やフィールドワーク等の実践的な学びが多く、着実に指導力の向上を図れていると感じています。4週間の教育実習では、授業づくりや児童理解について学ぶとともに、子どもたちの成長を見守る喜びも実感することができました。また、これらの実践的な学びを通して人前で話す力やわかりやすく伝える力がついてきたことも、大きな成長だと考えています。将来は、佐賀県の高校英語科教員として生徒の思いに寄り添い、英語を通して世界とつながる喜びを実感できる授業をしたいと考えています。

学校教育課程 小中連携教育コース
鈴山 愛玲 佐賀県 武雄高等学校出身

1 学びの特色 解決に取り組める人になる

教員としての責任を自覚し、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に真摯な姿勢で取り組むことができる力を育成します。

2 学びの特色 個人に応じた教育を行える人になる

児童生徒の発達についての確かな理解を持ち、保護者や地域と手を携えながら、一人ひとりの心身の状態に応じた教育を展開できる力を育成します。

3 学びの特色 児童生徒の知的好奇心に応える人になる

児童生徒の知的好奇心に応えと共、学修内容の確かな理解へと導くことができる力を育成します。

専攻の特徴

初等教育と中等教育を一体として捉えた特色ある教育を行います。「小学校教育主免専攻」では、児童の発達段階に応じた学級経営や各教科の教育スキルを幅広く学修します。「中学校教育主免専攻」では、各教科への深い造詣と生徒の発達段階に応じた授業構築を学修します。

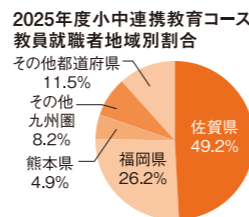
卒業と同時に取得できる教育教員免許状

専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
小学校教育主免	▲	▲	◎	▲	▲	◎	▲	▲
中学校教育主免	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲

I：一種免許
II：二種免許
◎：卒業要件(必須)
▲：選択取得可能

主な進路

- 〈就職先〉
- 佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
 - その他、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)
- 〈進学先〉
- 佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)



カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」			
専門教育科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	インターフェース科目			
小学校教育主免専攻	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●書写 ●書道I-II ●書論・鑑賞	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●国語学概説I-II ●国語学演習I ●国語学概説 ●国文学論	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●国語学演習II ●国文学演習III ●国文学演習III-IV ●漢文学概説II ●書道科指導法II	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●国語学演習III ●卒業研究 など
	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語
中学校教育主免専攻	【専攻の科目(理科の場合)】 ●基礎物理学A-B ●基礎化学A-B ●基礎生物学A ●基礎地学A	【専攻の科目(理科の場合)】 ●量子物理 ●化学概論II ●地学概論II ●基礎生物学B ●基礎地学A ●地学概論II ●基礎物理学実験 ●基礎化学実験 ●基礎生物学実験 ●基礎地学実験	【専攻の科目(理科の場合)】 ●エネルギー科学 ●物理化学 ●有機・有機化学 ●生命科学 ●地球科学 ●中等理科指導法I-II-III-IV	【専攻の科目(理科の場合)】 ●卒業研究 など
	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があります。

授業紹介

解析学基礎

山津 幸司 教授

微分積分学の基礎を学びます。また、微分積分学が他の理工学分野にどのように応用されているかについても説明します。

初等外国語指導法I-II

石川 美也子 准教授

小学校外国語活動・外国語科の目標・指導法・評価を学び、指導を支える理論や授業実践の諸問題への理解を深め、英語指導の実践力を修得します。

基礎化学実験

理科の実験風景の1コマです。写真は化学領域です。少数での実験です。知識及び技能の習得・確認を行うとともに、未知の事象に遭遇した時の思考力、判断力を訓練します。

研究室・ゼミ紹介

体育心理学

山津 幸司 教授

本講義の学習を通して、小学校の体育や中学・高等学校の保健体育の教師として「体育授業」「運動部活動」の指導場面で心理学の知見を応用できるようになることを目指します。運動・スポーツをより効果的、効率的かつ継続的に実践していくには、身体的側面のみならず心理学的な諸理論の理解が不可欠です。特に運動学習や運動・スポーツに対するモチベーション、スポーツメンタルトレーニングを学習します。

国語科授業論

達富 洋二 教授

国語科教育は、言葉を操作することだけを目的にしているのではなく、言葉の獲得(習得)と活用(習熟)を往還しながら、生涯にわたって言葉を学び続け、言葉を通して人間関係をひらいていけるようになることを目指しています。子どもが一人でも言葉を操作できるように、そして操作できるようになったことをつなぐ役立ちようを生かし、言葉の学び手として成長し続けるように教えることが教師の仕事です。教師として必要な「教えること」について丁寧に学んでいきます。

ピアノ演奏学

石川 美也子 准教授

ピアノの作品を通して、楽曲解析により洞察力を養い、客観的な思考や演奏表現のための身体の使い方を学びます。創造力を高め、効果的に表現へ変換する演奏技能を習得します

卒業生の主な卒業論文テーマ

- 算数教育における子供のつまずきを減らすための指導法について
- 「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす音楽科の授業づくりに関する研究
- 小学校体育授業と道徳教育についての研究
- 地味温泉の降水による水質変化
- 小学校家庭科における包丁を使った食品の切り方についての映像教材の開発
- 小学校外国語教育におけるCLIL(内容言語統合型学習)の実現可能性についての考察
- 小学校国語科における「書く力」を育成する言語活動の研究
- 社会参画としての学力を育成する学習環境デザインの研究
- 人工知能(AI)初学者向けの教材開発
- 発達段階に応じた性の多様性(LGBTQ)に関する教育の研究
- 小学校の教科教育におけるICT機器の活用について

教員紹介

達富 洋二 教授 国語科授業論	中里 理子 教授 日本語学	奥野 新太郎 准教授 中国古典文学
岡本 託 教授 西洋史	後藤 正英 教授 倫理学・思想史	吉岡 剛彦 教授 基礎法学
黒田 圭介 准教授 地理学	橋本 貴弘 准教授 数学教育	大林 将興 准教授 数学教育
川中子 正 教授 解析学	岡島 俊哉 教授 有機化学	角縁 進 教授 火山学・岩石学
堀 正勝 教授 動物生理学	高島 千鶴 准教授 地球科学	石川 美也子 准教授 ピアノ
中村 聡 教授 理論物理学	今井 治人 教授 指揮	
荒巻 治美 教授 音楽科教育学	小村 朋代 特任講師 音楽	
栗山 裕至 教授 造形教育		
葛西 昌代 准教授 書道		
井上 伸一 教授 スポーツ科学	坂元 康成 教授 スポーツ科学	山津 幸司 教授 体育心理学・健康行動学
堤 公一 准教授 保健体育科教育学	町田 正直 准教授 保健体育科教育学	大石 寛 助教 体育科学・運動生理学
小野 文慈 教授 機械工学	久屋 寛 教授 電子情報工学	
澤島 智明 教授 住生活学	中西 雪夫 教授 家庭教育学	萱島 知子 准教授 食生活学
小松 美和子 准教授 衣生活学		
ジョサン モリス 准教授 英語コミュニケーション	林 裕子 准教授 外国語教育学	吉村 圭 准教授 英米・英語国文学



詳細情報はこちら



いろいろな人に
出会い、学びを深め
自分の成長を実感する日々

特別支援学級の先生に憧れ、小学生の時から特別支援教育に携わるのが夢でした。佐賀県内での就職を希望しているので、地域の教育を理解するためにも佐賀大学を志望しました。佐賀大学の魅力の一つは、カリキュラムが充実している点です。1年次から学校現場を訪れる機会があり、早い段階で実際の教育現場や先生方に触れることができたのはいい経験だったと思います。同じ目標を持つ友人たちはもちろん、小学校や特別支援学校での教育実習で出会った先生方や子どもたちなど、いろいろな人と触れ合うことで視野が広がり、多様な価値観に触れることで一人の人間として成長できたと感じています。将来は、教師として佐賀県内で働き続け、誰もが「学校って楽しい!」と感じられるように、強く優しい教師でありたいと思います。

学校教育課程 幼小連携教育コース
横山 和香 佐賀県 伊万里高等学校出身

学びの特色 1 解決に取り組める人になる

教員としての責任と使命を持ち、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に取り組むことができる力を育成します。

学びの特色 2 子どもを支援できる人になる

子どもの発達についての確かな理解を持ち、子ども一人ひとりの状態に応じた支援を展開できる力を育成します。

学びの特色 3 多様な人と協働できる人になる

保護者や家庭など子どもの生活と関わる他者と連携し、子どもの育ちを支える役割を担うことができる力を育成します。

専攻の特徴

「発達支援専攻」では、子どもの発達を心理学、保育・幼児教育学、教育学の観点から包括的に理解する力を育みます。「特別支援教育専攻」では、特別な教育的ニーズを持つ子どもに対して適切な教育的支援を行える能力を育てます。

卒業と同時に取得できる教育教員免許状

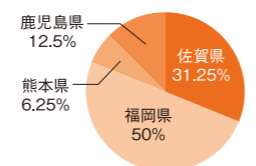
専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
発達支援	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲
特別支援教育	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	◎

I：一種免許
II：二種免許
◎：卒業要件(必須)
▲：選択取得可能

主な進路

- (就職先)
●佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
●その他、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)
- (進学先)
●佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)
●長崎大学大学院教育学研究科(教職大学院)

2025年度教育支援探究コース 教員就職者地域別割合



カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教科科目(自然科学と技術、文化、現代社会)		
発達支援専攻	【専攻の科目】 ●幼児と人間関係 ●保育内容(人間関係) ●幼児教育と保育の原理 ●特別支援教育基礎論	【専攻の科目】 ●幼児と健康 ●幼児と環境 ●幼児と言葉 ●幼児と表現I-II ●発達心理学	【専攻の科目】 ●教育哲学 ●道徳教育と学級経営 ●心理学の研究法 ●道徳教育の心理学	【専攻の科目】 ●卒業研究 など
	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等理科 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●教育原理A(理念及び思想)・B(歴史・制度) ●教職入門 ●現代の教育と社会A・B ●教育心理学A(学習)・B(発達) など	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等英語指導法I-II ●初等算数指導法I-II	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等理科指導法I-II ●初等家庭科指導法I-II ●初等体育科指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●教育課程論 ●道徳教育の理論・実践 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等生活科指導法I-II ●初等音楽科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II ●特別支援教育の基礎・展開 ●教育相談の理論及び方法 ●進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 など
専門教育科目	●(学校支援活動)	●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II ●教育実習(主免)	●教育実習(併免) ●教職実践演習(幼・小・中・高)
	【専攻の科目】 ●特別支援教育基礎論 ●知的障害児教育総論 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●脳機能教育総論 ●脳機能指導法	【専攻の科目】 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●発達障害児教育総論 ●重複・視覚・聴覚障害児教育総論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理 ●聴覚障害児教育総論 ●聴覚障害児指導法	【専攻の科目】 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●発達障害児教育総論 ●重複・視覚・聴覚障害児教育総論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理 ●聴覚障害児指導法	【専攻の科目】 ●知的障害児指導法 ●知的障害児アセスメント論 ●発達障害児脳科学論
特別支援教育専攻	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等理科 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●教育原理A(理念及び思想)・B(歴史・制度) ●教職入門 ●現代の教育と社会A・B ●教育心理学A(学習)・B(発達) など	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等英語指導法I-II ●初等算数指導法I-II	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等理科指導法I-II ●初等家庭科指導法I-II ●初等体育科指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●教育課程論 ●道徳教育の理論・実践 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等生活科指導法I-II ●初等音楽科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II ●特別支援教育の基礎・展開 ●教育相談の理論及び方法 ●進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 など
	●(学校支援活動)	●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II ●教育実習(主免)	●教育実習(併免) ●教職実践演習(幼・小・中・高)

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更が及び得ます。

授業紹介

保育内容(表現II)

幼児教育や保育の実践で行われる造形活動について、模倣的な体験を行いながら、その意義や、有効な造形素材・技法を学びます。

道徳教育と学級運営

子どもたちの学校生活や人間関係に直結する道徳教育と学級経営について考えます。前半は多様性、個性、成長、ウェルビーイングといったキーワードに基づく知識学習、後半はチームで学級経営案を構想・発表します。これらを通して、「唯一の正解」のない領域における自分自身の教育理念を見つめ直し、具体的な実践に結びつける力を養います。

知的障害児教育総論

知的障害の障害特性を科学的・客観的にとらえ、知的障害のある児童生徒の支援に必要な心理的支援及び指導を行うための基本的事項について学びます。

研究室・ゼミ紹介

特別支援教育

芳野 正昭 教授

ゼミ生各自が興味・関心のあるテーマ(障害児支援、交流および共同学習、きょうだい児支援等)を決めて卒業研究に取り組み、障害児の理解と支援に関して研鑽を積んでいきます。

教育学

成松 美枝 教授

教育学ゼミは、学生の興味や関心を出発点に、子ども・学校・地域に関わる多様な教育課題を丁寧に探究していくゼミです。子どもの発達を教育学の観点から理解し、よりよい学びや実践につながる視点を育みます。

心理学

石井 宏祐 教授

教育現場の今日的課題について、心理学的方法を用いて実証的に検証します。学生たちは不登校やいじめ、心の病などをテーマに研究に取り組んでいます。

発達生理心理学

日高 茂暢 准教授

子どもの発達と障害について、心理学や脳科学の研究と心理支援の実践研究をしています。脳波や眼球運動等の生理指標や心理検査等を通じて障害理解と支援を考えます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- アブローチカリキュラムにおける5歳児の片づけ
- 幼小連携教育における小学校教諭の指導要録の活用について
- 地域との連携における学習機会への考察
- 小学生における学習動機付けと学習適応との関連
- 特別支援学校における知的障害児への教育のあり方
- 発達障害・知的障害の子どもを持つ家族の思いと支援のあり方
- 保護者へのインタビュー調査を通じて
- 親子の情緒的支援の方向性が親子の親密さおよび子の自尊感情に与える影響
- 自己表現の観点から見る人間関係を高める幼児教育
- 長崎県の風島教育の現状と可能性
- 新上五島町の教育実践に着目して
- 道徳科(内容)の内容項目に関する一考察
- 教科書分析を通じて
- 小学校におけるキフティッドであると考えられる児童生徒への支援等の実態
- 補助者の抑制と促進
- LDにおける言語性に対するスマップ特性と読み書き困難との関係性について
- 小学校におけるキフティッドであると考えられる児童生徒への支援等の実態

教員紹介

発達支援

成松 美枝 教授 足立 佳菜 准教授
教育制度 道徳教育
石井 宏祐 教授 名倉 一美 准教授
臨床心理学 保育学

特別支援教育

芳野 正昭 教授 日高 茂暢 准教授
特別支援教育 特別支援教育
中村 理美 講師 特別支援教育

附属教育実践総合センター

和久屋 寛 教授 石井 宏祐 教授
電子情報工学 臨床心理学
中尾 通孝 准教授 村山 詩帆 准教授
義務教育・教師教育 教育社会学
古賀 崇朗 助教 教育工学

地域と世界を 知り、未来を あなたらしく表現



Faculty of Art and Regional Design

芸術地域 デザイン学部

芸術地域デザイン学科

- ▶ 芸術表現コース
- ▶ 地域デザインコース

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
林田 久未子 福岡県 精華学園高等学校久留米校 出身

〈学部の特色〉

芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行います。本学部における芸術とは、作品の制作やモノのデザインのことだけを指すわけではなく、美術館や博物館における専門的な仕事や文化財の保護と展示も芸術の範ちゅうに含まれると考えます。現代では、まちづくりや地域おこしを行う自治体、マスコミ・TV局、企業、販売、観光などの場面や職種で、芸術的な視点が求められます。本学部では、そのような場で必要とされる芸術的な手法や感性を磨けます。つまり人やモノを芸術や芸術的な手法によってつなぎ、地域の活性化や国際化などに貢献できる人材を育成します。また、作家、デザイナー、そして教員を志望する人への教育も熱心に行います。本学部で学べる専門分野は、芸術の表現や理論はもちろんですが、歴史、国際関係、考古学、地理学、都市デザイン、異文化コミュニケーションなど人文科学、社会科学のさまざまな分野にわたっています。

■ 教育目的

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能を持ち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



美術を深く広く学び、教師になって 美術の楽しさと可能性を伝えたい

大学では、高校の時よりも深く広い視野で美術を学びたいと思っていました。中でも複数の専門分野を有する佐賀大学の芸術地域デザイン学部なら、様々なことにチャレンジできる環境なのではないかと魅力を感じました。実際、私は日本画を専攻していますが、専攻の異なる学生と広く深く交流することでどんどん視野が広がり、新たな表現にチャレンジする力が身についたと思います。日本画の授業では、日本画材の持つ性質や表現に着目し、タッチや濃淡を試行錯誤しながら制作に励んでいます。制作を重ねるごとに作品に対する観察眼も養われ、作品の細やかな表情を見取ることが得意になったと感じています。将来は、美術の楽しさを伝えられる教師になり、美術の秘める可能性を探究していきたいです。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
池田 暁斗 岡山県 総社南高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



地域を知り、芸術でつながる
作品や企画を世界に向けて発信

01 多彩な表現が学べるカリキュラム

1年次は芸術表現と地域デザインの分野を超えたクロス型学習に学生全員で取り組みます。芸術に関わることを幅広く学び、芸術的感性を持つマネジメント人材、マネジメントを理解できる表現者を育てます。2年次より専門分野の実習科目を学びの柱にしていきます。3年次には専門分野を深めながら、有田キャンパスプロジェクトや国内外芸術研修などで、地域社会の中でより実践的なことを行い、専門分野を社会の中に生かす力を養います。



02 芸術で世界をひらく
～有田キャンパスから世界へ、世界から有田キャンパスへ～

芸術地域デザイン学部は主にドイツ、オランダ、イタリア、アルメニア、リトアニア、韓国、インドネシア等の教育・研究機関と学術・文化交流を実施し、交換留学制度を設けています。特に有田キャンパスでの交換留学プログラムSPACE-ARITAは、ドイツのブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレやオランダのアイントホーフェンデザインアカデミーから交換留学生を多く受け入れています。留学生にとって有田は、400年の歴史に裏打ちされた陶磁器生産技術や文化からインスパイアされる刺激と共に、自身が求めているデザインを実現できる場所となっており、帰国後は有田で制作した作品をミラノデザインウィーク、アンビエンテなどに展示大きな成果を残しています。この交換留学制度は、留学生の学びの場であると同時に、留学生との交流を通して国外への興味関心に繋げる、本学学生にとっても良い機会となっています。



03 地域創生の実践—表現から文化財の保存まで

地域にある資源をどのように活用すれば地域創生につながるのかを、実際にフィールドワークを行って研究していきます。地域の協力を得て、地域資源を生かした企画を展開し、それらの活動を情報発信する手法も学びます。また、存在を世間に伝えて文化財として保存していく活動など、芸術的観点からの地域創生のための活動を行います。

地域創生フィールドワーク

学生がチームを組み、地域の地理や文化・芸術資源を継続的に調査し、フィールドワークの能力を育成します。



<p>興賀神社</p> <p>三十六歌仙絵馬の復元模写とそのためのリサーチを、神社、地域と連携のうえ進める。</p>	<p>武雄市</p> <p>武雄市役所と連携して「文化を起点としたまちづくりデザイン」の企画・運営に取り組む。</p>	<p>吉野ヶ里</p> <p>吉野ヶ里歴史公園等の文化資源・場所を活かした活動。</p>	<p>石橋文化センター</p> <p>同センター(福岡県久留米市)内で現役のアーティストとのプロジェクトに取り組む。</p>	<p>SAGA ART WEEK</p> <p>卒業制作展にあわせ佐賀市内の美術館・ギャラリー等の情報を集約して発信。</p>
---	--	---	---	--

■ 作品紹介

<p>日本画</p> <p>うたたね。植えたタネ、と歌ったね 紙本彩色 元田乃恵 熊本県 熊本信愛女学院中学校高等学校出身</p>	<p>彫刻</p> <p>もぎゆつ 材料:FRP 杉吉 亜依奈 福岡県 中村学園女子高等学校出身</p>
<p>コンテンツデザイン</p> <p>はぐし水の三重点でピボット インスタレーション、サイズ可変 遠藤 梨夏 福岡県 筑紫丘高等学校出身</p>	<p>映像デザイン</p> <p>夢裡 シングルチャンネル映像(HD、ステレオ、カラー)、10min 楠田 亜衣乃 佐賀県 佐賀北高等学校出身</p>
<p>有田セラミック</p> <p>虫の庭 陶器、ろくろ成形、手捻り、書道液(金) スリタ ジョアナ L.S.M International Academy Quito, Ecuador出身(エクアドル)</p>	<p>メディア収録演習室(本庄キャンパス)</p> <p>4K撮影スタジオにおいて、合成映像やモーションキャプチャによるバーチャルプロダクションの研究を行っています。</p>



アーティストとして、教職員として
今の自分を更新していける人になりたい

私は普通高校出身で実技試験に不安を抱えて受験しましたが、学部生、院生ともに染色工芸教室に所属し、制作活動を続けてきました。学生時代は絵画や現代美術の教室にもお邪魔していましたが、先生や友だちは他教室の私を快く受け入れてくれました。この交流で自分の思考パターン(染色的思考)以外の見方や考え方を学ぶことができ、表現の幅が広がったと思っています。現在は、複数の職場で働きながらアーティストとして作品制作や公募展への出品などを行っていますが、大学時代の幅広い交流が今の自分に繋がっていると感じながら、表現の可能性を模索しているところです。これからも知識・技術的向上を図り、表現の幅を広げ、その先にある「自分」が、社会人として立派になっていることを楽しみに、日々を大切に生きていきたいです。

佐賀県立致遠館高等学校・佐賀北高等学校 美術非常勤講師
佐賀女子短期大学 地域みらい学科 アートデザインフィールド 非常勤講師
就労継続支援B型事業所GENIUS アートコーチ
津村光璃さん 地域デザイン研究科 地域デザイン専攻 芸術デザインコース 2025年3月修了
[業務内容]アーティスト活動しながら、非常勤講師やアート特化の支援員としても活動している



詳細情報はこちら



ここでの経験を活かし
モノや、その魅力を届ける
仕事に携わりたい

高校でもやきもの制作をしていたため、ものづくりを続けながら自分の好きなことを見つけたいと思い、佐賀大学を選びました。高校の先生からのアドバイスと、自宅から通える点も大きなポイントでした。今は陶磁器制作を中心に取り組んでいます。1年次には染色や日本画など様々な分野を学び、これまでと異なる表現に触れることができました。有田キャンパスでは、近くの窯元の方々と関わることで制作への理解が深まり、先生や友人たちと意見交換をすることで、自分一人では思いつかない視点に気づき、作品の見方や考え方の幅が広がったと感じています。さらに、制作したものをどのように人に見せるか、届けるかといった一歩先まで考えるようになったことは、大学生活での大きな成長だと感じています。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
三浦 あかね 佐賀県 有田工業高等学校出身

美術・工芸分野

「手わざ」と「創造思考」を基礎にして、オリジナリティのある表現力を養成します。日本画、西洋画、ドローイング、彫刻、視覚伝達デザイン、漆・木工芸、染色工芸、ミクストメディアから適性に合わせて専門分野を選択し、表現や技術を学びます。描くこと、作ることを通した表現力の養成は、70年以上続く美術・工芸教室の伝統です。

有田セラミック分野

“やきもの”を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、伝統的であると同時に革新を伴う時代に強くアピールできるもの作りを探索します。日本における陶磁教育の先駆的役割を果たした有田窯業大学から移行した国内最高クラスの施設環境の中で、国際的な陶磁教育とセラミック研究により、専門性の高い人材を養成します。

主な進路

〈就職先〉

- 美術家 ●任天堂 ●カプコン ●レベルファイブ ●オリックス ●ハウス食品 ●ゼネラルアサヒ ●トッパングラフィックコミュニケーションズ ●ブレーン ●旭製作所 ●ファディ ●ダイワ化成 ●福岡銀行 ●香蘭社 ●李荘窯業所 ●中川政七商店 ●福博印刷 ●西日本新聞プロダクツ ●トヨタ・コミュニケーション ●Cygames ●旭化成リフォーム ●武田メガネ ●不二貿易 ●柿右衛門窯 ●アサヒシューズ株式会社 ●スチームシップ ●関家具 ●佐賀銀行 ●長崎商工会議所 ●日本芸術文化振興会 ●佐賀県庁 ●薩摩川内市役所 ●佐賀県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●宇城市教育委員会 ●佐賀県内ならびに九州各県の中学校、高等学校、特別支援学校など

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院 ●熊本大学大学院 ●宮崎大学大学院 ●秋田公立美術大学大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」				
		共通基礎科目「情報リテラシー」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) 	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化・地域創生論(国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 	<ul style="list-style-type: none"> ●有田キャンパスプロジェクトI-II ●地域創生フィールドワークI-II ●国内外芸術研修 		
	基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン発想論 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●アートマネジメント ●Key Concepts in Art 	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル表現基礎 ●文化経済論 ●比較オリエンタリズム研究 			
	美術工芸	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術表現A(日本画、西洋画、彫刻) ●芸術表現B(窯芸、染色工芸、漆・木工芸) ●美術史基礎 ●図法 	<ul style="list-style-type: none"> ●工芸理論 ●現代美術概論 ●ドローイング ●アートマーケティング論 			
	有田セラミック	<ul style="list-style-type: none"> ●日本画Ia・Ib・IIa・IIb ●ドローイングIa・Ib・IIa・IIb ●彫刻Ia・Ib・IIa・IIb ●染色工芸Ia・Ib・IIa・IIb ●漆・木工芸Ia・Ib・IIa・IIb ●日本画概論 ●漆・木工芸概論 ●西洋画基礎 ●製図 ●映像デザインI ●コミュニケーションデザイン論 ●コミュニケーションデザイン演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●西洋画Ia・Ib・IIa・IIb ●ミクストメディアIa・Ib・IIa・IIb ●視覚伝達デザインIa・Ib・IIa・IIb ●金工Ia・Ib ●彫刻概論 ●窯芸基礎 ●染色工芸基礎 ●コンテンツデザインI ●情報デザインI ●アートプロデュース演習I ●応用木工芸 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本画IIIa・IIIb・IIIc・IIIcII ●彫刻IIIa・IIIb・IIIc・IIIcII ●染色工芸IIIa・IIIb・IIIc・IIIcII ●漆・木工芸IIIa・IIIb ●西洋画概論 ●窯芸基礎 ●彫刻基礎 ●漆・木工芸基礎 ●地域ブランディング論 ●メディアアート論 	<ul style="list-style-type: none"> ●西洋画IIIa・IIIb・IIIc・IIIcII ●ドローイングIIIa・IIIb・IIIc・IIIcII ●ミクストメディアIIIa・IIIb・IIIc・IIIcII ●視覚伝達デザインIIIa・IIIb・IIIc・IIIcII ●染色工芸概論 ●日本画基礎 ●ドローイング基礎 ●ミクストメディア基礎 ●地域ブランディング演習 ●メディアアート演習 	●卒業研究I-II
	<ul style="list-style-type: none"> ●陶磁成形技法I-II ●ロクロ成形I-II ●石膏成型特別演習 ●陶磁特別演習I ●釉薬化学概論 ●装飾技法特別演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●装飾技法I-II ●石膏成型I-II ●釉薬化学I ●陶磁史 ●衣食住文化論 ●食と器 	<ul style="list-style-type: none"> ●陶磁成形技法III ●ロクロ成形III ●陶磁特別演習II ●CAD/CAM I-II ●陶磁マーケティング ●石膏成型III 	<ul style="list-style-type: none"> ●陶磁技法特別演習 ●唐津焼演習 ●有田産業体験I-II 	●卒業研究I-II	

授業紹介

芸術表現A(彫刻)

美術や工芸全体の基本を広く学ぶことを目的としています。Aは日本画や西洋画、彫刻について、Bは染色工芸や窯芸、漆・木工芸について学びます。

デザイン発想論

表現全般に関わる幅広い基礎力を育みます。思考法・表現力・創造力を磨き、さまざまなコンテンツの発掘・企画につなげるための基礎を養成します。

陶磁特別演習I-II

有田を代表する十四代今泉今右衛門先生や十五代酒井田柿右衛門先生の作品に対する考え方、伝統について話を聞き、自身の作品作りを見つめます。

分野紹介

西洋画

富田 俊明 准教授

絵画に限定されないあらゆる表現可能性を追究してきた欧米の美術動向や思想と対話しながら、学生は各自の課題意識を掘り起こし、ふさわしい表現の可能性を立ち上げます。

ミクストメディア

土屋 貴哉 教授

写真、映像、立体、音、身体など多様なメディアを横断し、素材や技法、形式にとらわれない発想から、空間や社会との関係の中で新しい表現の可能性を探究します。

ドローイング

堀 至以 講師

ドローイングと制作分析の反復から自己の創作・表現を探究するとともに、表現が生まれる以前のプロセスを柔軟に扱う力を養います。

窯芸・装飾成形

甲斐 広文 准教授

単に技術を学ぶだけでなく、なぜそうするのかを自ら考えながら本質を探っていきます。伝統に学びながら、現代の感性で新たな“ものづくり”を目指します。

教員紹介

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 井川 健 教授
漆・木工芸 | 甲斐 広文 准教授
窯芸・装飾成形 |
| 近藤 恵介 准教授
日本画 | 世利 幸代 准教授
視覚伝達デザイン |
| 田中 右紀 教授
窯芸 | 土屋 貴哉 教授
ミクストメディア |
| 徳安 和博 教授
彫刻 | 富田 俊明 准教授
西洋画 |
| 鳥谷 さやか 准教授
染色工芸 | 堀 至以 講師
ドローイング |
| 三木 悦子 准教授
窯芸・プロダクトデザイン | 湯之原 淳 教授
窯芸・造形 |



詳細情報はこちら

文化財の調査や保存に
楽しみながら
取り組んでいきたい

興味がある芸術活動や地域創生について、さまざまな視点から幅広く学べると思い、本学部を選びました。地域創生フィールドワークの授業では、「石橋文化センターにおけるキュレーションの実践」クラスで毎年秋に行われているプロジェクトに携わり、貴重な体験をしながらアートプロジェクトや美術館が担う役割について学びを深めることができました。実践的な学びの他にも、分野ごとに精通した教員が多いのも本学部の魅力です。また、数々の活動を通して他者との協働の難しさや楽しさを学び、積極的にコミュニケーションを取れるようになったことは、自分の大きな成長だと感じています。私は人を喜ばせることや役に立つことをしたいので、将来は何らかの形で人の生活に豊かさをもたらす活動や仕事に携わりたいと考えています。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
松丸 奏 福岡県 近畿大学附属福岡高等学校出身

地域コンテンツデザイン分野

デジタルメディアやテクノロジーを効果的に生かして、地域資源をコンテンツ化し芸術やデザインとして提案ができる人材を育成します。デザインの理念や技能と共に、発想力・表現力・企画力・行動力などを伴ってローカル・グローバルを問わず社会に貢献できる力を身に付けます。

キュレーション分野

芸術のみならず、経営、保存科学、歴史学などの知識やスキルを駆使して、地域の遺産や資料を保護・管理したり、それらを活用した企画・運営に携わる人材を養成します。学芸員やキュレーター、ギャラリストなどの養成も目指します。

フィールドデザイン分野

まちづくりなどの地域創生のために国内外で活躍する人材を養成します。地理学、都市デザイン、文化財保護、経営などの知識を生かし、自治体や企業、マスコミなどで活躍する人材の養成にも力を入れます。

主な進路

〈就職先〉

- 岩田屋三越 ●阪急阪神百貨店 ●オカムラ ●九州電力 ●クリークアンドリバー社 ●エム・オー・エム・テクノロジー ●西鉄エージェンシー ●再春館製薬所 ●新日本製薬 ●スチームシップ ●関家具 ●大創産業 ●電通九州 ●東映 ●イースト ●日本赤十字社 ●日本郵便 ●オリックス銀行 ●パルコ ●バンダイナムコ ●モロゾフ ●ユニクロ ●良品計画 ●レベルファイブ ●AOI Pro. ●Cygames ●JR九州エージェンシー ●TYO ●HIS ●西鉄旅行 ●佐賀県 ●福岡市 ●那珂川市 ●久留米市 ●柳川市 ●神崎市 ●小城市 ●伊万里市 ●国税庁(国税専門官) ●福岡出入国在留管理局 ●防衛省九州防衛局 ●カタラーニャバレエ団 ●俳優 ●美術家など
- 学芸員・文化財専門職一 ●朝倉市(文化財技師) ●太宰府市(文化財技師) ●京都国立博物館(研究補佐員) ●福津市(文化財専門職) ●益城町(学芸員)

〈進学先〉

- 九州大学大学院 ●佐賀大学大学院 ●東京藝術大学大学院 ●慶應義塾大学大学院 ●成城大学大学院 ●大阪大学大学院 ●情報科学芸術大学院大学(IAMAS)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」				
		共通基礎科目「情報リテラシー」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●デジタル表現基礎 ●風土と地理学 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●文化経済論 ●アートマネジメント ●比較オリエンタリズム研究 ●Key Concepts in Art 	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化・地域創生論(国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 	<ul style="list-style-type: none"> ●学部共通コア科目 ●有田キャンパスプロジェクトI-II ●地域創生フィールドワークI-II ●国内外芸術研修 		
	コース基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ●博物館概論 ●ランドスケープ ●美術史基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域再生論 ●ヘリテージマネジメント論 ●Intercultural Communication and Art I ●地域情報マネジメント演習 ●コミュニティビジネス ●フィールドデザイン演習I ●経営・流通演習I ●エリアスタディー演習I ●視覚伝達デザインIa, Ib ●コンテンツデザインI ●情報デザインI ●映像デザインI 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域マネジメント論 		
	映像デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●デザインプロジェクト演習 ●コミュニケーションデザイン論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●地域ブランディング論 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ブランディング演習 ●メディアアート論 ●メディアアート演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツデザインII-III ●映像デザインII-III ●メディアプレゼンテーション ●デザイン実践セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報デザインII-III ●インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究I-II
	キュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ●キュレーション基礎 ●博物館資料論 ●博物館資料保存論(芸術と倫理を含む) ●博物館情報・メディア論 ●美術史I-II ●工芸論 ●キュレイティング応用I ●アートプロデュース演習I-II ●博物館経営論 	<ul style="list-style-type: none"> ●博物館展示論 ●博物館学内実習I-II ●博物館教育論 ●美術史演習 ●アートプロデュース論 ●現代美術概論 ●アートマーケティング論 	<ul style="list-style-type: none"> ●博物館学外実習 ●アートマネジメント特別講義 ●キュレイティング応用II ●ヘリテージサイエンス ●インターンシップ ●美術史III 		<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究I-II
	フィールドデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●考古学I 	<ul style="list-style-type: none"> ●考古学II-III ●考古学演習I-II ●地域史論I-II ●陶磁史 ●ヘリテージマネジメント演習 ●文化財の保存と活用 ●Critical Studies in Language and Image I-II-III ●Intercultural Communication and Art II-III ●アーカイブズ論 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市空間論I ●都市・地域空間史 ●考古学実習I(室内) ●製図 ●アートマーケティング論 	<ul style="list-style-type: none"> ●考古学IV ●地域史論III ●古文書解読演習 ●都市空間論II ●フィールドデザイン演習II ●博物館の政治学 ●エリアスタディー演習II ●考古学実習II(野外) ●地域史演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域調査分析 ●地誌学 ●経営・流通演習II ●Art in Context ●インターンシップ

授業紹介

映像デザイン

映像言語と時間や空間をデザインする新たな映像表現まで学びます。スキル修得だけでなく、映像による自己の表現方法を模索した作品づくりを目指します。

Art in Context

アートと社会の関係を国内外の歴史的遺構や遺物を見たり、アートプロジェクトの実例を実地で体験することで学び、地域創生に対する意識を高めます。

博物館実習

美術品の保存修復や文化財の保護についての理念、法制度のほか、佐賀大学美術館で展示などを学び、キュレーターとしての基礎力を身に付けます。

研究室・ゼミ紹介

美術史

吉住 磨子 教授

美術史が対象とするものは、作品や作家のみならず、作品の注文主、受容者、そして、それらを生み出した人々や社会そのものです。美術史ゼミでは、古今東西の作品・資料に触れながら、学生の知的好奇心を刺激し続けていきます。

地理学

栗林 賢 准教授

地理学という視点から、地域振興・地域活性化の取り組みや仕組みについて学んでいます。

都市デザイン

有馬 隆文 教授

人間が快適かつ安全に暮らせる環境を提案するため、都市の成り立ちを理解し人々の活動を読み取り、次世代に継承される都市のデザインを追求していきます。

博物館学

藤井 康隆 准教授

ミュージアムと中国考古学を軸に、文化遺産を現代社会に活かす博物館学を探究しています。国内外の調査・見学や、展示研究など、実践的で国際的な学びに取り組みます。

教員紹介

- 阿部 浩之 准教授 情報デザイン
- 石井 美恵 教授 博物館資料保存
- 重藤 輝行 教授 考古学
- 花田 伸一 教授 アートプロデュース
- 山口 夕妃子 教授 マーケティング
- 吉住 磨子 教授 美術史
- HOUGHTON STEPHANIE ANN 教授 異文化間コミュニケーション
- 有馬 隆文 教授 都市デザイン
- 栗林 賢 准教授 地理学
- 中村 隆敏 教授 映像デザイン
- 藤井 康隆 准教授 博物館学・中国考古学
- 山崎 功 教授 アジア研究・国際関係

4年生の主な卒業研究テーマ

- 佐賀県下町の水路網の価値とこれからのまちづくりについて
- Z世代の消費行動におけるUGCの影響力
- Malaysia-Japan Relationship and a New Era of Look East Policy
- 館種別に見るオリジナルミュージアムグッズの傾向
- 中国江南地方における出土銅鏡の研究—春秋戦国時代の呉越式銅鏡を中心として—
- 日本近代におけるルノワール受容—明治から昭和初期まで—
- 物に宿る記憶を未来へ繋ぐ—手紙みれすの手入れにおける葛藤とコミュニケーションによる記憶の継承—

経済社会をデータと

社会科学で読み解き

活躍できる経済人へ

Faculty of Economics

経済学部

▶ 経済学科 (仮称 設置申請中)

経済学科
平 航介 福岡県 八女高等学校出身

〈学部の特色〉

2027年4月より、従来の3学科(経済・経営・経済法)を統合した「1学科5ユニット体制」へと進化します。最大の特徴は、経済・経営・法学の社会科学的思想プロセスに、現代社会で不可欠なデータサイエンス基礎力を融合させた点にあります。

1年次に社会科学・データサイエンスの基礎を学び、社会課題の把握を行います。2年次からは5つの専門ユニット(デジタル、政策、エリア、マーケティング、会計・ファイナンス)を選択し、学びを深化させます。また、行政や企業と連携した「社会課題演習」や「プロジェクトマネジメント演習」「フィールド演習」を重視。理論と実践を繰り返すことで、社会の課題を「解像度」高く複眼的に捉え、解決へと導く「プロジェクトマネジメント人材(ブリッジ人材)」を育成します。

■ 教育目標

社会課題を解像度高く複眼的な視点で捉え、戦略・政策を立案・実行できる「プロジェクトマネジメント人材」を育成することを、教育の目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



目の前の人の幸せに寄与できる仕事で 地域社会に貢献したい

オープンキャンパスの際に、「ここでは役に立つことしか教えていない。役に立たせられるかどうかは、自分の学習の深め次第」という教授の言葉を聞き、ここで多様な人と協働しながら学んでいきたいと強く感じたことが決め手となりました。今は羽石ゼミに所属し、主にインターン活動に参加し、週一回の講義でも、毎回企業の方と協働してイベントの企画や運営に携わっています。大学入学前から都市圏ではなく地域産業に重きを置きたいと考えていたので、実際に地域密着型の学習を受けて、そのやりがいや難しさを実感しているところです。また、ゼミやインターフェース科目ではグループでの活動がメインとなるため、周囲の意見を聞きながら、自分の意見を必要な場で、適切な熱量で伝えるスキルが身についたと成長を感じています。

原口 こはる 福岡県 久留米商業高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



デジタル社会に対応した学びを重ね 経済を見通せる力を養成

01 社会科学×データサイエンスで プロジェクトマネジメント人材へ

経済の基礎となる社会科学の思考プロセスと、デジタル化が進む今後の社会に求められるデータサイエンスの基礎を学びます。その上で、理論と実践を繰り返す多彩なカリキュラムで学びを深め、社会課題を解決に導くためのプロジェクトマネジメント力を養成します。



1年次	2年次	3年次	4年次
基本科目 〔必修7科目〕 ●基本統計学 ●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本経済数学 ●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本法学	データサイエンス科目 (データサイエンスの基礎を学ぶ) ●データサイエンス入門 ●経済データ分析実践 ●数理統計学 ●会計学 ●社会調査論 ●経済統計学 ●統計学演習 ●計量経済学 など		
	データドリブン科目 (データサイエンスを駆使してより実践的に学ぶ) ●オペレーションリサーチ ●ロジスティクスマネジメント ●経営財務論 ●行動経済学 ●実証産業組織論 ●地域経済分析 ●ファイナンス論 ●管理会計論 ●計量政治学 ●国際貿易論 ●政策シミュレーション ●労働経済学 など ●マーケティングリサーチ ●空間情報システム ●原価計算論 ●財務会計論 ●政策評価分析		
	プロジェクトデザイン科目 (社会科学における専門的知識を修得し、社会課題への対応能力を養う) ●財政学 ●金融論 ●企業論 ●民法総則 ●知的財産法 など		
社会課題演習 (必修1科目) ●社会課題演習	演習科目 プロジェクトマネジメント演習(ゼミナール) ユニットと連動した少人数制のきめ細やかな指導		
	ユニット 各ユニット指定科目より10科目修得 ●デジタルマネジメント ●マーケティングマネジメント ●政策マネジメント ●会計・ファイナンスマネジメント ●エリアマネジメント		
基礎科目 〔必修4科目〕 ●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●プロジェクトマネジメント ●マーケティング戦略	演習科目:フィールド演習 (プロジェクトマネジメント演習の成果などを外部機関共同演習として実施) 実践科目:企業・団体提供講義 など 特殊講義:国際交流実習 など		
	教養教育		

プロジェクトマネジメント人材の輩出
社会課題に対応する調査企画・分析・解釈能力を持った人材

02 早い時期から少人数ゼミ制を導入し 学生主体の学びを深く

1教員あたり10~20名程度の学生による少人数演習を4年間実施。1年次には経済学の基礎を学びながら、社会課題演習を実施します。ここで培った問題意識を、2~4年次の演習ではユニットに分かれて学んでいきます。ゼミプロジェクトでは、学生主体の社会課題解決プログラムも実施します。



地元企業の調査など、学生主体で行うプロジェクト

亀山ゼミ「企業・行政と連携したデータ分析とイベント実施」

3年次のゼミでは、学生企画の実施協力を企業・団体に要請し、承諾いただいた連携先とアンケート調査やデータ分析を行い、報告書を作成し、学生主催のシンポジウムを実施します。仕事の進め方を知り、確固たるガクチカを構築します。



羽石ゼミ「長期インターンシップ」

2・3年生合同のゼミでは、2年間にわたり企業担当者と毎週連携し、実際の企業課題に取り組みます。ICT(情報通信技術)を駆使して業務の一部をインターンシップ形式で遂行。この実践的な課題解決を通じて、「主体性」「協働性」「課題発見力」といったビジネススキルを磨き、社会で通用する即戦力人材を育成しています。



03 新たな学びの単位・ユニットを設定し 理論×実践で、より専門的な学びに

ユニットは新たな学びの単位です。1年次で経済・経営・法学およびデータサイエンスの基礎を学んだ上で、2年次からゼミに所属。さらに2年次後期には、ゼミに推奨されたユニットを選択することで理論と実践を組み合わせる学びを深め、より解像度を上げた学びが実現します。



5つのユニット 5 UNITS

デジタルマネジメント

データサイエンスで社会課題を可視化して分析し、解決策を提示する

政策マネジメント

マクロ経済分析の対象となる社会課題をデータで理解・分析し、解決策を提示する

エリアマネジメント

人口減少下のまちづくりの諸課題をデータで理解・分析し、解決策を提示する

マーケティングマネジメント

経営やマーケティング、起業の際の課題をデータで理解・分析し、解決策を提示する

会計・ファイナンスマネジメント

社会課題を会計やファイナンスの知識を用いて理解・分析し、解決策を提示する

04 学外でのリソースを活用し より発展的、実践的な学びを展開

これまで経済学部では、多くの企業・団体、行政機関と連携し、実践的な教育を実施してきましたが、今後も学外のリソースを積極的に取り入れ、多様な視点での学びを考えています。第一線で活躍している方々の実践的な知識など、社会のリアルを聞き、学び、成長につなげます。

社会課題演習

多様な問題に対して学外の専門家から講義を受け、学生は内容を自分でまとめた後に、周囲の学生に説明します。「知識を知る~考える~論理的に伝える」を繰り返し、言語的コミュニケーション能力を鍛えます。

外部講師による講義

学外の専門家による講義を受け、実際に社会で活躍する方々の実践的な知識や経験に触れながら学ぶことができます。また、卒業生との交流会も定期的を実施し、実社会で働く先輩方から生の声を聞く機会も設けています。

フィールド演習

企業・団体、行政機関などと連携したフィールドワークを行い、授業で得た知識を実社会にどのように活かすのかを探求します。実社会に即した多様な課題に取り組むことで、プロジェクトマネジメント能力を高めていきます。



ビジネスに必要なデータ・数字を読み解く力 大学で学んだことが活かされています

株式会社アイリスロボティクスは、法人向け清掃ロボットで国内シェアNo.1を誇っており、その中で私はお客様にスムーズな契約・請求をするための新システムの運用を行っています。私が取り組んでいる仕事に限らず、ビジネスの場ではデータ・数字が非常に重要となってきます。その点で言えば、大学時代の卒論作成などで、数値化する力や物事への着眼点が鍛えられましたし、その時に培った数字感覚は現在も大いに役立っています。大学時代の思い出と言えば、大好きな友だちとともに過ごしたことです。一生一緒にいたいと思える仲間とはなかなか出会えるものではないので、今でもとても大切な存在です。仕事でも、コミュニケーションはとても重要です。これからも周囲を巻き込みながら、スピード感を持って業務を順調に進めていける社会人になりたいです。

アイリスオーヤマ株式会社 株式会社アイリスロボティクス
栗田 悠衣さん 経済学科 2025年3月卒業
〔業務内容〕契約や請求をするための新システムの運用



詳細情報はこちら

新しい技術や社会の変化にも
柔軟に対応できる
人材になりたい



高校では理系でしたが地域活性化などに興味を持つようになり、学生主体の社会課題解決プログラムにも力を入れている佐賀大学経済学部を選びました。2年次からは3つのフィールドに分かれますが、私は「地域と国際」を選択し、国際経済学や政策評価分析などを学んでいます。2年次から始まるゼミ活動では亀山ゼミに所属。2年次では企業訪問を行い、3年次では行政や企業と連携して課題解決のための提言を行うなどの企画に取り組みます。フィールド選択とゼミ選択があることで、自分の学びたいことが学べていると感じています。ゼミ活動では自主性とマネジメント力が身につくとともに、先輩や企業の方々と交流する機会を持てたことで視野が広がり、将来就職したい企業をより具体的に考えられるようになりました。

経済学科
上村 愛莉 鹿児島県 鹿児島中央高等学校出身

経済学科の紹介

経済・経営・法の3領域を一つの学科で横断的に学べます。
1年次にこれら3分野とデータサイエンスの基礎を必修科目として網羅し、社会を捉える多面的な視点とデータに基づいた分析力を養います。
2年次以降はユニット制を通じ、経済学と経営学と法学などを組み合わせるなど、従来の学科の枠組みを越えた専門性の構築が可能です。
3分野の知見を自在に操り、複雑な現代社会の課題へ多角的かつ実効的な解決策を提示できる力を磨きます。

主な進路

- 〈主な就職先〉
 ●富士通 ●日立製作所 ●NTT西日本 ●NTTデータ ●東京海上日動火災保険 ●楽天 ●大和証券 ●キーエンス ●ファーストリテイリング ●ニトリ ●SCSK ●日立ソリューションズ ●Qinet ●YE DIGITAL ●JR九州システムソリューションズ ●木村情報技術 ●JASM ●SUMCO ●安川電機 ●九州電力 ●クラフティア(九電工) ●九州旅客鉄道 ●西日本鉄道 ●福岡銀行 ●西日本シティ銀行 ●佐賀銀行 ●経済産業省 ●金融庁 ●佐賀県庁 ●福岡県庁 ●東京都庁 ●各市町村 ●高等学校教諭
- 〈主な進学先〉
 ●九州大学大学院 ●佐賀大学大学院

カリキュラム一覧(デジタルマネジメントユニット)

下記カリキュラムは、デジタルマネジメントユニットの標準モデルを示しています。各科目の開講及び履修時期はユニット選択や年度により前後する場合があります。

	1年次	2年次	3・4年次	
教養教育科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	英語A 情報基礎概論 大学入門科目I	英語B	英語C/英語D	
経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●基本簿記会計 ●基本経営学 ●基本法学 ●基本経済数学	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●プロジェクトマネジメント ●マーケティング戦略 ●日本経済論 ●経済学史 ●社会情報論 ●民法総論 ●データサイエンス入門 ●社会調査論 ●経済データ分析実践	●計量経済学-UD- ●会計学-UD- ●統計学演習-UD- ●経済・統計数学 ●数理統計学 ●マーケティングリサーチ-U-E-Uマ- ●原価計算論-U会- ●財務会計論-U-E-U会-	●都市経済学-UD-U-E- ●開発経済学-UD-U-E- ●経営情報論-UD-U-E- ●経営組織論-UD-U-E- ●知的財産法-UD-Uマ- ●公共経済学-UD-U-E- ●日本経済史-UD-U会- ●刑法総論-U-E-
	●現代の経営 ●実践会計	●証券市場分析 ●ビジネス基礎英語	●金融論-U政-U会- ●財政学-U政-U会- ●産業組織論-U-E-U会- ●農政経済論-U-E- ●経営労務論-U-E-U会- ●アジア経済史	●行動経済学-UD-Uマ- ●労働経済学-UD-U政- ●ファイナンス論-UD-U会- ●国際貿易論-U-E-U会- ●地域経済分析-U-E- ●ロジスティクスマネジメント-Uマ- ●管理会計論-Uマ-U会-
経営学系科目		●環境経済学-U政-Uマ- ●日本農業論-U政-Uマ- ●企業論-U政-U会- ●経営戦略論-Uマ-U会- ●経営管理論-Uマ-U会- ●Asian Economics	●ブランド戦略論-Uマ- ●物権法-U-E-U会- ●刑法各論-U会- ●社会保障法-Uマ- ●行政法総論-U政-U-E- ●労働法II ●政治学	
		●ビジネス・コミュニケーション英語 ●国際交流実習	●現代の労働 ●PRデザイン	●マーケティングマネジメント-Uマ- ●債権法-U-E-U会- ●労働法I-U-E-Uマ- ●社会保障法I-U政- ●社会保険法-U政-U-E- ●憲法-U政- ●行政救済法 ●会社法
	●社会課題演習	プロジェクトマネジメント演習2年-4年		
		フィールド演習		

- 基本科目
 - 基礎科目
 - データサイエンス科目
 - データドリブン科目
 - プロジェクトデザイン科目
 - 演習科目
 - 実践科目・特殊講義
- 太字:必修科目
 赤字:ユニット指定科目
 UD:デジタルマネジメントユニット
 U政:政策マネジメントユニット
- U-E:エアマネジメントユニット
 Uマ:マーケティングマネジメントユニット
 U会:会計・ファイナンスマネジメントユニット
 ※各ユニット指定科目より10科目を修得する

授業紹介

マーケティングリサーチ



マーケティング課題の解決に向け、仮説や調査設計、データ収集・分析、戦略的解釈など、市場データに基づく戦略立案の具体的な方法について学びます。

知的財産法



著作権、特許、商標、営業秘密、模倣品対策などに関する重要な法規範を説明し、基礎的な知的財産観を育て、法解釈の現状や立法の動向を共有します。

行動経済学



つい選択を誤ってしまうのはなぜでしょうか。実際の社会事例への実践を通じ、消費者や企業に潜む非合理性と経済学の関係について体感的に学びます。

研究室・ゼミ紹介

空間分析ゼミ



GISや各種データを活用して、地域の空間構造や経済活動を分析します。現地調査とデータ分析を通して、社会課題を空間的な視点から実証的に考察します。

経営財務論ゼミ



企業の財務活動に関する基礎知識を身につけ、実際の会計数字や株価データを用いて企業の経営状態を定量的に評価する方法について学びます。

日本経済論ゼミ



わが国の雇用制度、社会保障、金融システムなどを諸外国と比較して、その特徴を学び、日本社会が直面している様々な問題の解決策を考えていきます。

刑法ゼミ



交通犯罪、冤罪、犯罪者の社会復帰、少年非行、薬物犯罪、被害者支援など刑法に関係する多数のテーマを取り上げて、現状の問題と対策を考察します。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- 訪日韓国観光客の日本旅行に対する意識調査-佐賀のインバウンド展開の方向性-
- ライブやコンサートのチケット転売問題について-チケットに対する支払意思額から-
- 佐賀県内における障害者就業支援の現状と課題
- MaaSの新たな公共交通モデル「参加型公助」の提案と制度設計-佐賀県の交通空白地帯解消を目指して-
- コーポレートガバナンスの国際比較-所有構造を中心に-
- ホームセンター業界のターゲティング
- 外食産業による利益追求のための原価管理
- 同一労働同一賃金法制
- ゆめタウン佐賀店-旧西友佐賀駅前店からみる大規模小売店舗立地法-都市計画法
- 九州新幹線西九州ルートにおける可能性と課題点およびそれらの考察

教員紹介

- 内山 真由美 教授
 刑法
 亀山 嘉大 教授
 政策評価分析
 品川 優 教授
 日本農業論
 藪田 竜之介 教授
 日本経済論
 中村 博和 教授
 統計学
 羽石 寛志 教授
 経営情報論
 平部 康子 教授
 社会保障法
 山本 長次 教授
 経営史
 伊藤 正哉 准教授
 経済学史
 谷 晶紅 准教授
 マクロ経済学
 孫 友容 准教授
 知的財産法
 田村 一軌 准教授
 経営情報システム
 洪 廷和 准教授
 マーケティング論
 山形 武裕 准教授
 財務会計論

- 金子 晋右 教授
 経営史
 サーリヤ ディシルバ 教授
 開発経済学
 角田 幸太郎 教授
 管理会計論
 中西 一 教授
 財政学
 野方 大輔 教授
 経営財務論
 早川 智津子 教授
 労働法
 関 康 教授
 マーケティングリサーチ
 吉田 友紀 教授
 産業組織論
 笠井 文雄 准教授
 経済学史
 篠崎 伸也 准教授
 ファイナンス論
 太宰 北斗 准教授
 行動経済学
 中山 泰道 准教授
 民法
 安田 伸一 准教授
 情報処理
 相浦 真二郎 助手

高度な知識と

技術を身に付け、

人々を救う医療人

多くの

へ

Faculty of Medicine

医学部

- ▶ 医学科
- ▶ 看護学科

■ 佐賀大学医学部の使命

医および看護の実践とその科学的創造形成の過程を通じて医学および看護学の知識技術ならびに医師または看護職者たるにふさわしい態度を修得し、かつ、これらを生涯にわたって創造発展させることのできる人材を養成することを目的とし、もって医学および看護学の水準および地域医療の向上に寄与する。

■ 卒業時学修成果

- プロフェッショナリズム
- 医学的知識
- 安全で最適な医療の実践
- コミュニケーションと協働
- 国際的な視野に基づく地域医療への貢献
- 科学的な探究心



日本医学教育評価機構(JACME)による医学教育分野別評価の結果、適合が認定されています。

医学科

- 日南 凜子 長崎県 長崎高等学校出身
- 西牟田 はずき 福岡県 西南学院高等学校出身
- 佐々木 優色 福岡県 嘉穂高等学校出身
- 坂田 麻里愛 福岡県 明善高等学校出身

〈学部の特徴〉

医学部は、四半世紀におよんだ旧佐賀医科大学の建学の精神と伝統を受け継ぎ、「医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応え得るよい医療人を育成し、もって医学・看護学の発展ならびに地域包括医療の向上に寄与する」ことを基本理念としています。そして、時代にマッチした斬新な教育方法を取り入れ、豊かな感性と高度な専門知識と専門技術を兼ね備えたよき医療職者を育成することを目標として教育を行っています。また、医療に関する単なる知識や技術を学ぶのみでなく、医療職者に求められる広い視野からの問題解決能力と、病める人が心の奥に持つ悩みや苦しみを共感できる心を育てます。

■ 教育目標

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうるよき医療人を育成し、もって医学・看護学の発展ならびに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



基本的な知識・技術を磨き 患者さんに寄り添った支援ができる看護者に

私は祖母の闘病生活をきっかけに、看護師を目指すようになりました。佐賀県の医療に貢献したいと思ったこと、保健師コースと助産師コースがあったことから、佐賀大学の看護学科を選びました。もともとは看護師志望でしたが、学んでいくうちに、看護の対象は地域で暮らす人々にも広がっていることを実感し、保健師の資格取得も目指しています。1,2年次には講義・演習・実習を通して基礎看護技術を学び、3年次後期には成人、老人、小児、母性、精神、在宅の各領域の実習を行いました。現場の医療を学べることはもちろん、実習前後には担当教員との面談があり、自分の特徴や強みを客観的にみていただくことで、自分の看護や今後の目標を考えるきっかけとなりました。今は、より良い看護の実践に向け、大学院への進学も検討しているところです。

看護学科
山戸 萌子 佐賀県 伊万里高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



充実した環境・カリキュラムをいかし 時代が求める医療人を育成

01 技術と人間性を兼ね備えた 全人的な医療人を目指して

医学部の特長は、一貫した実践的教育プログラムです。医学科では早期から臨床現場に触れる機会が多く、医師としての心構え・倫理観を早期に養うカリキュラムになっています。3年次からPBL(問題基盤型学修)やCBL(症例基盤型学修)を導入し、学生が主体的に問題解決能力を養う教育方法を採用しています。看護学科でも学年に合わせた実習やグループワークを取り入れ、専門技術だけでなく社会性や人を統合的に捉える思考力を身につけた人材育成に力を入れています。さらに医学科・看護学科ともに、多くの実習を本学附属病院や地域の診療所で行い、専門的かつ地域に根差した医療人の育成に取り組んでいます。



02 現場での実習を多く取り入れ 社会の期待に応えうる実践力を養う

医学科では臨床実習、看護学科では臨地実習と、実際の医療現場での実習を重点的に行っています。現場を体感し、医師・看護師からの指導を受けることで、即戦力として活躍できるスキルを身につけます。

[医学科の実習教育プログラム]

医学科では1年次から医療入門や早期体験学習を導入して、早くから医師としての心構えをしっかりと身に付けるためのカリキュラムを組んでいます。臨床実習では先輩の教員、医員および看護師等と共にチームの一員として患者に接し、PBL等で培った「課題発見・問題解決」能力を有効に応用する経験を積み重ねます。

1～2年次	3～4年次	5～6年次
医療入門 基礎的な医療知識と方法論を修得します。講義に加え、早期体験学習なども実施します。	臨床入門 PBLとCBLによるアクティブ・ラーニングと医療面接や診療など基礎的な臨床技能を修得します。	臨床実習 大学での実践的な診療参加型実習や診療所・病院での地域医療実習で包括的な実践を行います。
6年一貫の実践的訓練		

社会で活躍できる医療人の育成

[看護学科の実習教育プログラム]

1年次から4年次まで、病棟で実習を行う臨地実習を取り入れ、基礎から在宅看護まで実際に体験しながら学びます。地域における保健・医療・福祉の関わりや、現在起きている課題に関心・理解を持つことで、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、科学的・論理的な思考で課題を解決する力を身に付けます。

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎看護学実習Ⅰ 日常生活を援助する技術力を身に付けます。	基礎看護学実習Ⅱ 看護対象の問題を理論的に解決に導くように育成します。	成人・小児・母性・精神・老年・在宅・地域連携看護実習 今までの知識と技術を統合し、臨床における判断力と看護の想像力を育成します。	統合実習 在宅で生活する人などに対する看護の展開を、医療チームの一員として実習します。
技術試験	技術試験	技術試験	

問題解決や対人関係形成能力を持った人材育成

看護学科における資格取得について

医学部看護学科では、「保健師国家試験受験資格」「助産師国家試験受験資格」を取得することが可能です。2年生の2月頃に筆記試験・面接試験等によりコース履修者を決定します。

【各コース定員】 ●保健師コース…30人程度 ●助産師コース…5人程度

※「保健師コース」「助産師コース」について、コース履修できるのはどちらか一方となります。 ※各コース定員については、入学後変動する場合があります。

03 基礎力と自ら考える力を養うための 独自カリキュラム

基礎的な知識や技術を身につけるとともに、自ら考える力や行動する力をつけるために独自のカリキュラムを実施しています。グループワークやチューター(指導教員)制度を取り入れ、きめ細やかなサポートを行います。



医学科

PBL(Problem-based Learning)問題基盤型学修

学生自らが課題を見つけ、少人数のグループ討論や自己学修を通して学びを深め、さらにグループ討論を経て解決策を探ります。学生自身の考える力、問題を解決に導く力を養うための学修方法です。

CBL(Case-based Learning)症例基盤型学修

PBLより応用課題のみに特化した方法で、症例の事前配布やテーマの提示を受けて事前に自己学習を行うのが前提です。グループ討論や全体討論を行い、チューター(指導教員)が指導しながら解決へと導きます。

基礎医学

医学の基礎となるもので、臨床医学を学ぶ上でとても重要となる分野です。生理学、生化学、免疫学など多くの科目を、講義と実習を通してしっかりと学び、臨床実習へとつなげていきます。

看護学科

少人数のグループワーク

少人数でのグループワークや演習で、自らが考える力、探求する力を養います。コミュニケーションをとっていく過程で、自分の考えを明確に表現する姿勢や、他者の考えを理解する力を身につけます。

対面式の個別指導・フォローアップ体制

課題学習においては、対面式個別指導を実施します。講義や課題、試験などを通して個人の学習到達度を正確に把握し、個人の能力に応じたきめ細やかなフォローを行っていきます。

看護技術修得の環境を整備

1年次は早期体験学習、2年次は基礎看護学実習、3年次は臨地実習、4年次は統合実習と、学年ごとに実習を積み重ねます。様々な医療現場を経験することで、看護の心構えと確かな技術を修得します。



佐賀大学医学部附属病院

医学部に隣接しているため医療現場を肌で感じ、質の高い臨床実習・臨地実習を行うことが可能です。診療科目が多く、それぞれの分野で専門性を高めることもできます。高度救命救急センターにはドクターヘリも導入され、地域医療に大きく貢献しています。



佐賀大学医学部
地域医療科学教育センター勤務
佐賀大学医学部附属病院
肝疾患センター(兼任)
井上 香さん 医学部医学科2013年3月卒業
【業務内容】
医学生がすべての症候や医行為を経験できるように管理し、一貫したトレーニングを支援。

学生の成長を支え、肝がんのない未来を目指す。 教育と医療の力で佐賀を守りたい。

私は、2023年に佐賀大学医学部に設置された臨床実習コーディネーターチームの一員として医学部5・6年生の実習を支援し、診療科と学生の橋渡しをしています。同時に、肝臓内科医として肝がん死亡率が高い佐賀県において、肝がん撲滅に向けた啓発や研究にも取り組んでいます。大学時代に先生方から熱心な指導を受けた経験が、今の仕事を上で大きな原動力となっています。特に臨床実習で肝臓内科の先生と出会ったことが専門を志すきっかけとなったことから、学生にも将来の道を見つける機会を提供したいと考えています。また現在は、臨床実習コーディネーターの活動をSNSでも発信しています。メディアやデザインを活用した新しいアプローチで医学的な情報を発信し、学生の成長や肝がん対策に貢献できればと考えています。





詳細情報はこちら

専門知識と技術を身につけ
医療人として、人として成長し
大好きな佐賀県の医療に貢献したい



幼い頃より人の命を救う事ができる医者になり、医学科を目指しました。佐賀大学を選んだのは、母の実業があり馴染み深い土地だったから、早期より臨床を意識したプログラムが実施されているから、興味を持つ診療科に特に優れた先生方がいらっしゃると思ったからです。現在は、病院で様々な診療科を回りながら臨床実習をしています。これまでの学びで積み重ねてきた基礎医学・臨床医学の知識を実際の現場で体験し、日々刺激を受けながら学習に取り組んでいます。またサークル活動では、弓道部、勉部、学生自治会に所属しています。多くの人と関わり、部を取りまとめる立場をたくさん経験したことで、医療者に必要なコミュニケーション能力も身につきました。卒業後は、佐賀県で医療に従事したいと考えています。

医学科
目黒 俊希 東京都 城北高等学校出身

カリキュラム一覧

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学入門科目I (医療入門I)		医療入門II		Unit13 (臨床入門)							
基本教養科目 インターフェース科目											
外国語科目											
情報リテラシー科目		免疫学		救急・麻酔・総合診療(1)		精神・脳・神経		◆共用試験 (CBT, OSCE)	臨床実習 地域医療実習 関連教育 病院実習		
生命倫理学	医療統計学	組織学	薬理学	循環器	血液・腫瘍・感染症	小児・女性					
行動科学原論		神経解剖学	生理学	呼吸器	皮膚・膠原	救急・麻酔・総合診療(2)					
物理学		生化学	微生物学	消化器	運動・感覚器	社会医学・医療社会法制		臨床実習	◆臨床実習後 OSCE		
生物学		動物性機能生理学	病理学	代謝・内分泌・腎・泌尿器	精神・脳・神経	統合医療					
化学	分子生物学II 人体発生学 肉眼解剖学概説	植物性生理学							基礎系・臨床系 選択科目		
分子生物学I		肉眼解剖学		医学英語							
特定プログラム教育科目											
基礎系・臨床系選択科目											
地域枠入学生特別プログラム											

医学科では教養教育、基礎医学、臨床医学の実施時期を明確に区別せず、Phase(フェイズ)I~Vに分けて6年一貫教育を実施しています。教養教育科目および専門基礎科目は1年次から2年次後期まで行われます。専門科目では、基礎医学が1年次後期から始まり、遺伝子、発生、細胞、組織、器官、個体、集団といった順序で、かつ構造と機能を並行して勉強できるように構成されています。3・4年次には内科、外科、小児科などの臨床医学を統合し、臓器別に再構成したカリキュラムで学び、医師として患者さんの問題を解決する能力を養います。

Phase I

大学入門科目I(医療入門I)、基本教養科目、インターフェース科目、情報リテラシー科目、外国語科目からなる教養教育科目と、基礎科学分野の教育や生命倫理学、行動科学原論などの専門基礎科目から構成されています。医師を志す者が学習すべき基礎的な知識と方法論を修得し、かつ人間に対する理解を幅広い視点から深めるために教育が行われます。講義に加えて実習も取り入れられ、例えば1年次から2年次まで開講される医療入門I、IIでは早期体験学習が行われています。

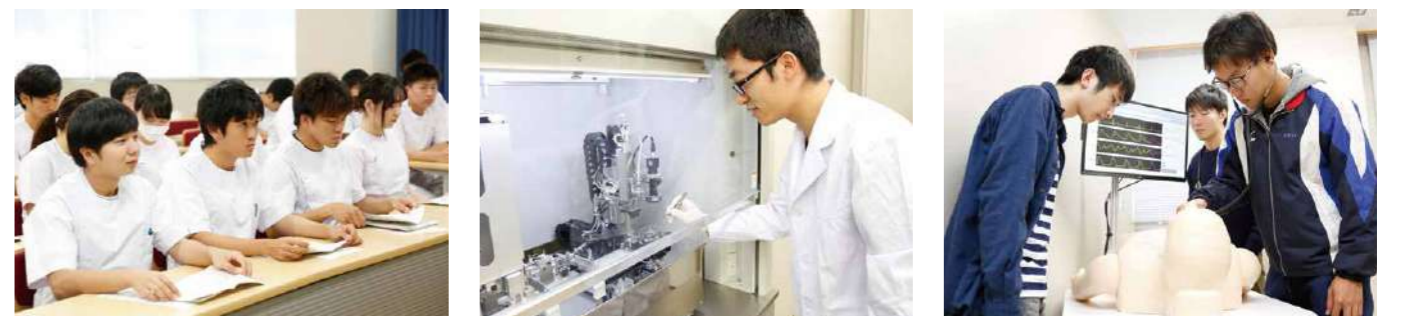
Phase II

医学専門科目である基礎医学の学習が始まります。まず、生物の基本的構成単位である細胞の構造と機能を遺伝子レベルから分子レベルまで講義・実習を通して学びます。そこで得た知識を、細胞から組織、組織から個体へと構築することにより、人体の正常な構造と機能を個体発生、系統発生の背景と共に学習します。さらに、どのような病的・外的要因が係わり、どのような病態を呈するかを学び3年次(Phase III)から本格的に始まる臨床医学へとつなげます。

Phase III

PBL(問題基盤型学修)やCBL(症例基盤型学修)を大幅に導入していることが特徴です。これは、症例シナリオを用いたグループ討論を通して、学習課題を自ら見だし、学習する能力や、知識を活用して病気の診断や治療方針を立案する訓練を行うものです。同時に、医療面接や身体診察などの基本的臨床技能を訓練し、臨床実習に備えます。

Phase IV & V PhaseIVは全体的に臨床実習にあてられ、医療チームの一員として診療に参加するため、4年次に共用試験に合格し、Student Doctorとして適格認定を受けた者のみが実習を許可されます。PhaseVは「特定プログラム教育科目」「基礎系・臨床系選択科目」「地域枠入学生特別プログラム」から成っています。中でも6年次前期の「基礎系・臨床系選択科目」は、自らの弱点を補ったり、興味を持つ分野をさらに深める目的で、6年間の最後の仕上げとして位置付けられています。海外での短期臨床実習に参加するコースも含まれています。



- 学びの特色

1 **よい人間関係を持つ人になる**
高い倫理観と豊かな人間性を育み、他者と共感してよい人間関係を作ることができる。
- 学びの特色

2 **自己学習できる人になる**
医学の知識・技術を修得するとともに、自己学習の習慣を身に付ける。
- 学びの特色

3 **問題を解決に導く人になる**
つねに科学的論理的に思考し、問題の本質に迫った解決に努める。
- 学びの特色

4 **医療を理解し実践する人になる**
国内外に対し幅広い視野を持ち、地域社会における医療の意義を理解し、かつ実践する。

- 主な進路**
- 〈主な就職先〉
- 佐賀大学医学部附属病院 ●佐賀県医療センター好生館 ●佐賀病院
 - 唐津赤十字病院 ●織田病院 ●九州大学病院 ●九州医療センター
 - 久留米大学病院 ●産業医科大学病院 ●聖マリア病院 ●新古賀病院
 - 高木病院 ●飯塚病院 ●長崎医療センター ●広島市民病院 ●関西労災病院 ●はりま姫路総合医療センター ●奈良県立医科大学附属病院
 - 京都大学医学部附属病院 ●順天堂大学医学部附属順天堂医院 ●東京都済生会中央病院 ●東京警察病院 ●湘南鎌倉総合病院 ●土浦協同病院 等

授業紹介

医療入門



医師は、高いコミュニケーション能力を持ち、患者の心に寄り添い気持ちを理解しようと努める豊かな人間性と寛容な精神面が求められる一方、医療人としての倫理観と責任感に基づき、困難な決断を患者と共有する厳しさも必要です。医療入門は、臨床医学の修得前に、講義に加え早期体験学習、医療面接のロールプレイ、身体診察技法およびファーストエイド等の実習、地域の診療型・介護型医療機関での施設実習を行うことにより、医療人としての自覚を高め、少子高齢化を特徴とする現代日本社会における医療の現状を理解し、医療の技術的進歩と社会の急速な変貌が人々の心にもたらす問題に関心をもち続ける態度を身に付けることを目標としています。

臨床実習



臨床実習では、これまで学習してきた基礎医学・臨床医学・社会医学・行動科学の知識や早期体験実習で得られた経験を統合し、病棟での実習を通じて将来医師として必要な考え方や技術などを身につけることができます。診療は、患者さんの病態や背景を理解し治療するために、医師だけではなく看護師・管理栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーなどのメディカルスタッフとチーム医療で取り組んでいます。そのため病棟実習では全人的で総合的に患者さんを診ること、そして多職種連携の面白味、また患者の退院後の生活を考える想像性と創造性を学ぶことができます。

PBL



PBLとは、問題基盤型学習(Problem-based Learning)といわれるもので、従来の講義形式と違い、学生を1グループ7~8人程度の少人数に分け、提示された課題に対し、グループでのディスカッションを通じて、自らが問題点を見つけ解決法を探る、つまり自ら学習する方法のことです。各グループにはPBLチューターといわれる教員が付き、学習を進めるためのアドバイスをを行います。

研究室・講座紹介

社会医学講座(予防医学分野)

原めぐみ 教授、西田裕一郎 准教授
古川拓馬 助教



当講座は衛生学・公衆衛生学を担い、予防医学の視点から「病気を防ぐ科学」を探求しています。疫学的手法を用い、生活習慣・遺伝子型・血液成分と疾病の関係性を解析し、がんや生活習慣病の危険因子・防御因子を明らかにすることで、健康寿命の延伸を目指します。ゲノム・エピゲノム情報や身体活動測定データを活用した研究、ワクチンの有効性評価、関連する実験的研究にも取り組んでいます。地域住民の協力や自治体との連携を重視し、科学的知見を社会に還元することが私たちの使命です。

整形外科科学講座

森本忠嗣 教授、長嶺里美 助教
平田寛人 助教、松村陽介 助教



整形外科科学講座は、運動器疾患に対する高度な診療・教育・研究を柱とし、地域医療の質向上に力を注いでいます。脊椎、関節、外傷、腫瘍学など多様な専門医が連携し、根拠に基づいた安心で最先端の医療を提供しています。医学生・研修医への教育にも積極的に取り組み、丁寧で温かな指導体制のもと、未来を担う整形外科医を育成しています。また基礎・臨床研究を通じて得られた成果を社会へ還元し、より良い医療を届けることを使命としています。「Think globally, act locally!」を掲げ、世界へ開かれた講座を目指しています。

研究室・講座紹介

分子生命科学講座

出原賢治 特任教授、副島英伸 教授
池田義孝 教授、吉田裕樹 教授、白石裕士 教授
生命現象の基本的仕組みを明らかにし、その異常により引き起こされる疾患の病態解明を目指して「分子遺伝学・エピジェネティクス」「分子医化学」「免疫学」「細胞生物学」の4分野により教育・研究に取り組んでいます。

社会医学講座

市場正良 教授、池田知哉 教授
原めぐみ 教授

良好な健康状態を保持するための「環境医学」、癌や生活習慣病の危険因子・防御因子を明らかにして疾病予防に役立つ「予防医学」、DNAを用いた個人識別をテーマとする「法医学」の3分野で教育・研究を進めています。

小児科学講座

最先端の医療技術をもって診療にあたり、ともに医学生の前や卒後の教育を重視し、小児の総合診療医としての小児科専門医の育成と各専門分野でのサブスペシャリティの養成に力を注いでいます。

整形外科科学講座

森本忠嗣 教授

膝関節外科、肩関節外科、脊椎外科、手外科など、幅広く診療を行っている中でも、特に股関節外科は全国屈指の手術症例数です。また、人工関節の開発などの基礎研究の成果も多く、学会でも注目されています。

産科婦人科学講座

奥川馨 教授

全ての婦人科悪性腫瘍に対応できる県内唯一の施設である強みを生かし、診断・治療、フォローアップ、臨床研究、特に子宮頸癌に関してはHPVに関連した発癌機構の解明と新規治療法の開発の研究を行っています。

放射線医学講座

榎尾理 教授

佐賀県唯一の最先端放射線機器類を駆使して、画像診断、インターベンショナル・ラジオロジー、核医学、放射線治療の各分野で一丸団結して日夜、教育・研究・診療に励んでいます。

臨床検査医学講座

さまざまな疾患の発生機序やその疾患の治療に対する反応性などを総合的に解明することにより、臨床業務に役立つ新規の臨床検査の構築と、そのための技術開発を目指し研究を行っています。

(附属施設) 地域医療科学教育研究センター

小田康友 教授、川口淳 教授、坂本麻衣子 教授

「数理解析部門(教育IR室)」[福祉健康科学(社会生活行動支援)部門][医学教育開発部門]の3部門で構成され、地域包括医療人材育成などの目標を持って活動しています。

生体構造機能学講座

倉岡晃夫 教授、城戸瑞穂 教授
安田浩樹 教授、寺本憲功 教授
生命体の構造(形態)とその働き(機能)の解明を目指して「組織・神経解剖学」「解剖学・人類学」「生理学」および「薬理学」の4分野に分かれ、それぞれの分野で教育・研究を進めています。

内科学講座

杉田和成 教授、木村晋也 教授、江崎幹宏 教授
小池春樹 教授、高橋宏和 教授

内科の専門8部門「膠原病・リウマチ内科学」「呼吸器内科学」「神経内科学」「血液内科学」「循環器・腎臓内科学」「消化器内科学・光学医療診療部」「肝臓・糖尿病・内分泌内科学」と「皮膚科学」の教育・研究を進めています。

一般・消化器外科学講座

「体に優しい」低侵襲の鏡視下手術を積極的に行い、全国でもトップクラスの手術率を誇っています。また、腫瘍制御に関する基礎研究もっており、腫瘍の悪性度診断、浸潤転移機構の解明などの研究を行っています。

脳神経外科学講座

阿部竜也 教授

対象疾患は、脳腫瘍、脳血管障害、脊髄脊髄、小児脳神経疾患など広い範囲に及びます。特に詳細な外科解剖の研究に基づいた手術と新規治療開発に関する研究に立脚した悪性脳腫瘍の治療に精力を注いでいます。

眼科学講座

江内田寛 教授

特に網膜剥離や糖尿病網膜症などの網膜硝子体疾患に力を入れ、加齢黄斑変性やお子さんの斜視・弱視など、長期にわたる疾患に対しても、地域の医療機関と連携し、患者さんの利便性を考慮した診療を行っています。

麻酔・蘇生学講座

坂口嘉郎 教授

「手術室での麻酔」「集中治療」「ペインクリニック」「緩和ケア」の分野で診療と研究を行っています。手術など大きな侵襲に対する生体の反応を制御する侵襲医学の研究や、難治性の痛み治療を向上させる研究などに取り組んでいます。

救急医学講座

阪本雄一郎 教授

初期診療体制の充実、救急集中治療体制の構築と共にドクターヘリ基地病院、佐賀広域消防との医師同乗救急車事業によって、九州で3ヶ所目となる、高度救急医療を行うセンターとしての役割を果たしています。

(附属施設) 先端医学研究推進支援センター

安田浩樹 教授、小池春樹 教授

学際分野を含む医学研究の先端的・中心的役割を担い、学内外への発信を行うと共に、医学部の教育研究の基盤となる高度な技術的支援とその研鑽を行うことで、医学・看護学の課題を重点的に研究することを目指しています。

病因病態科学講座

加藤省一 教授

疾病の機序の解明を意図して、細菌や微生物感染に対する生体防御機序、動脈硬化症や癌の病理学、癌や肥満症などの生活習慣病の分子生物学の研究を「微生物学」「診断病理学」「臨床病態病理学」の3分野で進めています。

精神医学講座

溝口義人 教授

「患者と共に在れ」をモットーとし、うつ病をはじめとするストレス関連疾患、老年精神疾患など変貌する精神科医療に対応すべく、リエゾンコンサルテーションなど他の診療科と協力しながら、さらに研鑽を重ねています。

胸部・心臓血管外科学講座

蒲原啓司 教授

心臓血管外科と呼吸器外科から成り、患者さんの目線で最高の医療を実践し、地域医療に貢献し続けるために24時間体制で診療に励んでいます。我が国でも有数の心臓の再生医療に取り組んでおり、日夜研鑽を重ねています。

泌尿器科学講座

副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺などの後腹膜臓器および泌尿生殖器の疾患を担当しています。常に患者のQuality of Lifeを尊重した医療をモットーとし、内視鏡・体腔鏡手術、ロボット手術など最新の医療技術を提供しています。

附属再生医学研究センター

中山功一 教授

新しい再生医療技術の樹立を目指して「足場材料を使用しない3次元の複雑な組織形態を再現できるバイオ3Dプリンタ」を開発してきました。現在はこれを用い、血管や軟骨、肝臓、心臓の作製にもチャレンジしています。

耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学講座

杉山庸一郎 教授

のど・鼻・口等の癌を最新の診療技術を用いてチーム医療で治療し、その治療成績向上を目指した研究を行っています。また、聞こえや発声などの機能障害や、嚥下障害、味覚障害などの改善を目指した診療や研究も行っていきます。

歯科口腔外科学講座

山下佳雄 教授

口腔がん、口唇口蓋裂、顎変形症、顔面外傷など口腔外科疾患を専門に診療・研究・教育を行っています。特に顎骨再建へのインプラント義歯の応用や顎顔面補綴を積極的に行い、県民の「口腔健康管理」に努めています。

国際医療学講座

Globalizationや高齢化により大きく影響を受ける感染症の診断と治療を行います。一般感染症、免疫不全感染症などの臨床的疑問点を明らかにし、医療の質保全と向上に資する臨床研究を遂行できる人材を育成します。



詳細情報はこちら

仲間とともに切磋琢磨し
地域から信頼される助産師に



生命誕生の瞬間に立ち会い、妊娠期から産後まで女性を支えられる存在になりたいと思い、助産師を志すようになりました。佐賀大学の看護学科を選んだのは、看護師と助産師の両方の資格取得を目指すからです。グループ演習で看護技術を体験しながら学ぶ授業や、1年次からの早期実習など、看護技術を実践的に学んでいます。佐賀大学を選んでよかったと思うのは、高い目標を持つ友だちと共に学べる環境があることです。1年の頃から日々の勉強や試験に励み、お互いに刺激を受けながら切磋琢磨しています。同じ目標を目指す友だちと将来について話す中で、自分の目指す助産師像も明確になりました。将来は助産院を開業し、育児や産前産後のメンタルヘルスを支え、安心して相談できる存在になりたいと思っています。

看護学科
香田 蓮奈 宮崎県都城泉ヶ丘高等学校出身

学びの特色

1

豊かな感性を持つ人になる

看護職者にふさわしい豊かな感性を備え、人を尊重する態度を身に付ける。

学びの特色

2

看護の知識と技術を持つ人になる

的確な看護実践ができるように、看護の知識と技術を修得する。

学びの特色

3

問題を解決に導く人になる

看護の多様な問題に対処できるように、自ら考え解決する習慣を身に付ける。

学びの特色

4

地域に貢献できる人になる

社会に対する幅広い視野を持ち、地域における保健医療福祉の活動に貢献できる基本的能力を養う。

主な進路

〈主な就職先〉

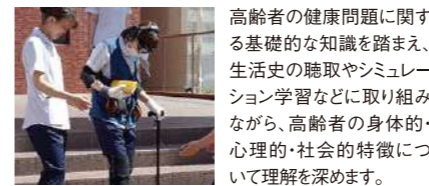
- 佐賀大学医学部附属病院 ●肥前精神医療センター ●織田病院 ●佐賀県医療センター好生館 ●唐津赤十字病院 ●福岡赤十字病院 ●九州大学病院 ●福岡大学病院 ●九州医療センター ●産業医科大学病院 ●福岡市立こども病院 ●神戸大学医学部附属病院 ●市立東大阪医療センター ●佐賀県庁(保健師) ●日田市(保健師) ●久留米大学病院(助産師) 等

カリキュラム一覧

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学入門科目							臨地実習(統合)
情報リテラシー科目							
			ライフサイクルと看護				
外国語科目		臨地実習(基礎)					ライフサイクルと看護
基本教養科目またはインターフェース科目			基本教養科目またはインターフェース科目				看護の機能と方法
							統合分野
							専門基礎科目
							看護学コース
							助産学コース
							公衆衛生看護学コース
							公衆衛生看護学コース

授業紹介

老年看護学概論



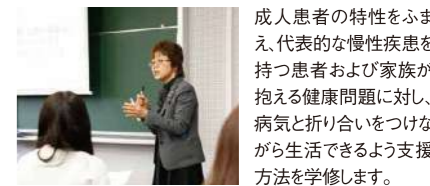
高齢者の健康問題に関する基礎的な知識を踏まえ、生活史の聴取やシミュレーション学習などに取り組みながら、高齢者の身体的・心理的・社会的特徴について理解を深めます。

臨地実習



病院での実習と、地域・在宅実習をひとつにしたもの。1年次の早期体験実習、2年次の基礎看護学実習、3年次の臨地実習、4年次の統合実習で構成されています。

成人看護学援助論Ⅱ



成人患者の特性をふまえ、代表的な慢性疾患を持つ患者および家族が抱える健康問題に対し、病気と折り合いをつけながら生活できるよう支援方法を学修します。

研究室・ゼミ紹介

基礎看護学



看護教育学、看護援助学(看護技術・コミュニケーション・看護過程論を含む)、看護管理と、看護の基本となる分野を幅広く担いながら、研究も進めています。

公衆衛生看護学



地域保健および保健師に関する教育や研究に取り組んでいます。授業では、家庭訪問や健康相談、健康診断や地域ケアシステム等について学習します。実習では、佐賀県内の市町各種データに基づいた地域診断、住民を対象とした健康教育等を実施しています。

小児看護学



小児看護学領域では、様々な子どもと家族を理解し、発達過程で生じる健康問題の解決のため、個別性に応じた看護実践に繋がる教育・研究を行っています。得られた成果を地域の教育に活かしています。

母性看護・助産学



母親の育児負担を軽減するグッズや産後健脚炎の予防プログラムの開発、助産師の教育方法などの研究に取り組み、その成果は学会で発表するだけでなく教育や地域に還元しています。

卒業生の主な卒業研究テーマ

- 高齢者糖尿病のフレイル予防に向けた看護支援に関する文献検討
- 慢性心不全患者の病と共にある生活の体験や思いに関する文献検討
- 災害発生時に災害支援ナースが直面する課題に関する文献検討
- 救急看護師が終末期患者・家族とのかわりて抱く困難
- 外来化学療法を受ける患者の副作用に対するセルフケアと思い
- 終末期がん疾患高齢者に対する訪問看護師の意思決定支援
- 認知症高齢者のBPSD軽減に対する音楽療法の効果に関する文献検討
- 先天性心疾患手術を受ける乳幼児の家族が抱く思い
- 産後4ヶ月以降の母親の産後ケアにおけるニーズに関する文献検討
- 大学生の運動習慣とメンタルヘルスの関連に関する文献検討

理学と工学を

融合し、希望に満ちた

未来を創造する。

Faculty of Science and Engineering

理工学部

理工学科

- ▶ 数理サイエンスコース
- ▶ データサイエンスコース
- ▶ 知能情報システムコース
- ▶ 化学コース
- ▶ 物理学コース
- ▶ 機械工学コース
- ▶ 電気電子工学コース
- ▶ 都市基盤工学コース
- ▶ 建築環境デザインコース

理工学研究科 理工学専攻 機能材料化学コース
蒲谷 壮平 静岡県 浜松湖南高等学校出身
久地 蒼人 佐賀県 佐賀北高等学校出身
末廣 結衣 福岡県 春日高等学校出身

〈学部の特徴〉

理工学部は、建学時から理学と工学の融合をテーマとしてきました。地球上の生き物や環境と共生し、新たな希望に満ちた未来を創造していくには、双方の領域で自在に思考できる「知」が必要不可欠です。理学で原理を学び、工学で応用技術を学び、「知」のハーモニーの中から次の世界を生み出す「人」が育っています。本学部は、9コースにおいて21世紀の高度科学技術時代に活躍できる人材の育成と、知的創造を目指して教育研究を行います。理学と工学のコースが同一学部にあるという特色を最大限に発揮し、科学と技術の融合による基礎科学とハイテクノロジーの推進を旗印に、ユニークな教育と研究に意欲的に取り組んでおり、まさに時代の要請に応えることのできる体制といえるでしょう。

■ 教育目的

理工学部は、幅広い教養と理工系の基礎学力を土台に、論理的思考力と課題解決力を備え、複雑化・多様化する現代社会のさまざまな分野で活躍できる科学技術系人材の育成を教育の目的としています。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



ものづくりに携われる職業に就き 年齢を重ねても自己成長を続けたい

高校時代にものづくりに興味を持ち始め、メカニカルデザインコースなら自分の好きなことがたくさん学べると感じ、進学を希望しました。今は、機械設計や材料力学など機械系のものづくりに関することを多く学んでいますが、特に好きなのは機械工作実習です。佐賀大学独自の実習工場で、溶接や旋盤加工などを体験しながら学んでいます。班のメンバーとの交流の場にもなっていて、互いに刺激し合いながら楽しく作業をしています。またインターフェース科目では、自分の専門ではない分野に触れたり、他学部の学生と共に勉強することができ、より広い視野や考え方を身につけることができました。将来はものづくりの技術者として自動車部品やロボットなど、様々な分野に挑戦したいと思っています。

メカニカルデザインコース(現:機械工学コース)
松尾 奏 福岡県 香住丘高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



専門性の高い9つのコースで 「やりたいこと」が必ず見つかる

01 1年次前期にさまざまな入門科目を学び 自分の「やりたいこと」に向き合える

1年次前期に、理工教育の要である数学、物理、化学、生物、データサイエンスなどを学び、基礎力を強化します。さらに、9つの専門コースの教育研究内容に少しずつ触れることで、「自分が何をやりたいのか」考える時間を持つことができます。自分自身の希望とじっくり向き合い、1年次後期のコース選択に臨めるのが佐賀大学理工学部の特徴のひとつです。



[4年間の学び]

1年次
〈前期〉

理工学の基礎力を強化しながら、専門コースの入門に触れます。

〈後期以降〉

9つの専門コースから自分の希望に合うものを選択して学びます。

2~4年次

学びをさらに深めます。3、4年次では一部の大学院科目の履修も可能です

卒業

志望分野が**決まっている**

分野別入試

▶特別選抜 ▶一般選抜

志望分野が**決まっていない**

分野一括入試

▶一般選抜(学科一括を選抜)

学部共通専門科目(基礎科目)

数学・物理・化学・生物・データサイエンス

入試時の希望分野のコースに配属

自分に合ったコースを選ぶ

専門科目

数理学分野 数理サイエンスコース

物理学分野 物理学コース

情報分野 データサイエンスコース
知能情報システムコース

機械工学分野 機械工学コース

化学分野 化学コース

電気電子工学分野 電気電子工学コース

都市工学分野 都市基盤工学コース
建築環境デザインコース

理工学
サブフィールド
(2年次)

卒業研究(4年次)

進学や多彩な
進路

- 進学(大学院)
- IT系企業
- 自動車関連企業
- 建築設計関連企業
- 化学系企業
- エネルギー関連企業
- 半導体関連企業
- 電機メーカー
- ゼネコン
- 公務員

KEY POINT

大学院科目の先行履修

理工学部では約半数の学生が大学院に進学。進学予定の学生は学部在学中に大学院科目を履修し、大学院入学後に単位として認定。先行履修を行うことで、大学院入学後に海外インターンシップに参加するなど余裕も生まれます。

KEY POINT

理工学サブフィールド

自分の専門分野に加えて、理工学の他分野の専門知識を修得するための科目です。理工学の多様な分野の知識を融合し、複眼的視点や俯瞰的視野から問題解決を図る能力を養います。

KEY POINT

データサイエンス

社会のニーズに応じてビッグデータを活用できるよう、データサイエンスを必修科目に。社会の膨大なデータを解析する技術と知識を培います。

02 数理・データサイエンス・AIの実践的応用を学ぶ データサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)プラス

佐賀大学理工学部では、社会が求めるDX(デジタルトランスフォーメーション)人材の育成に向け、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを実施しています。2023年8月に文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」として認定され、2024年8月にはその内容の充実が評価され「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)プラス」に選定されました。本教育プログラムは、エキスパートレベルへの橋渡しを目指すものとして、実践的なAI実習、地元企業と連携した科目の開講、インターンシップの実施、地元企業や自治体との意見交換会・講演会等の開催、さらに企業連携による生成AIに関するFD研修の実施など、地域および企業との連携を通じた教育内容が高く評価された結果と言えます。本プログラムは、数理・データサイエンス・AIに関する基礎能力の習得に留まらず、これらの知識や技術を自らの専門分野や関連分野へ応用し、実社会の多様な課題解決や価値創造に寄与できる人材の育成を目的としています。対象は令和4年度以降に入学した新1年生全員であり、企業との連携を通じた実践的な教育プログラムが提供されます。なお、事前のプログラム登録は不要で、修得した単位はすべて卒業単位に算入され、認定のデジタル証明「オープンバッジ」が発行されます。



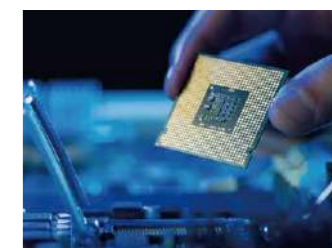
03 特別選抜で女子枠を新設 理工学分野での女性の活躍に期待

佐賀大学理工学部では、女子学生が学びやすい温かい雰囲気を大切にしています。2024年のデータによると、女子学生の比率は17.0%であり、九州地区の国立大学工学系学部の女子学生比率の平均値15.0%と比較しても高い状況です。さらに、特別選抜入試における女子枠の新設により、女子学生比率を増やしていきます。理工系の分野に情熱を注ぐ女子学生たちが、STEAM(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)の各分野で自らの才能を存分に発揮できるよう、理工学部では様々な支援をしています。化学や建築環境デザインを含む多岐にわたるSTEAM分野での女子学生たちの活躍を心から応援し、彼女たちの学びと将来への道のりを温かく見守っています。



04 半導体の魅力や将来性を学ぶ 「半導体概論」の開講

半導体は、AI・5G・自動運転・ロボティクス・DX・ビッグデータ・スマートシティなどを活用した持続可能な社会を創造するために重要な基盤です。理工学部では全分野の学生を対象に学部共通科目(導入科目)として「半導体概論」を開講しています。「九州半導体人材育成等コンソーシアム」や「さが半導体フォーラム」、「九州半導体・デジタルイノベーション協議会(SIIQ)」と連携し、第一線で活躍されている方々に講師として登壇いただき、半導体の魅力や将来性を学ぶことができます。



05 佐賀大学のものづくり拠点 「佐賀大deラボ」

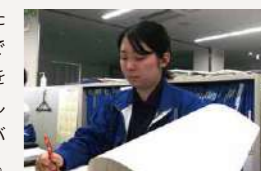
「佐賀大deラボ」は、株式会社中山鉄工所が運営し、佐賀大学の学生が主体的に活動するものづくり拠点です。主な業務には、3D CAD設計、加工機の運営、ロボット教室の指導などがあり、電気通信大学の学生ともクラウドサービスを通じて共同作業を行っています。ラボ内には、3DプリンターやCNCフライス盤、レーザーカッターなどの多様な機器が設置されており、一般の方も利用可能です。ものづくりを通じた交流を通して、新しい知識や技術の習得、スキルアップを目指しています。



寺崎電気産業株式会社 システム事業
産業エネルギーシステム部 勤務
小石原 あすかさん
理工学部電気電子工学科 2022年3月卒業
[業務内容]
顧客との仕様打合せから、専用ツールを使った図面の設計までを行う。

大学時代に学んだ基礎知識が今でも基本。 仕事に前向きに取り組み、成長していきたい。

陸用配電盤の設計を担当し、autoCADというPCツールを使った配電盤の製作図面設計を行っています。配電盤は建物に設置されている「電気を分配するための設備」で、私たちが使っている電気を裏で支える重要な役割を担っており、だからこそやりがいもあります。大学時代に、主に電気回路やプログラミング言語などの基礎知識から応用まで学びましたが、特に電気回路の基礎知識が現在の設計業務に活かされていると感じます。会社の実務では何事も基礎知識が重要となり、時々大学で使用した講義資料を見返す日もあります。仕事を続けていくと内容の難易度が上がり、時には辛いと感じることもありますが、「自分から進んでほしい」と仕事を引き受け、辛いことを楽しめるようになったら、周囲の人よりも成長できる」とアドバイスしてくれる上司のように、辛いことを楽しむことができる社会人になることが私の目標です。



06 理工学部で行われている さまざまな研究テーマ

9つの多彩なコースを持つ理工学部では、それぞれのコースによって研究内容も多種多様。どのような内容があるのかをしっかりと事前に確認して、自分が一番興味を持っている内容を選ぶことができるのも魅力のひとつです。理工学部の教授たちが現在取り組んでいる研究テーマの一部を紹介します。

カメラとAIで力加減を判断する「スマートハンド」

理工学部 数理・情報部門
福田 修 教授



事故や病気で腕を失った人にとって、「義手」は重要な存在です。しかし、現在の義手は力加減がうまくいかないなどの課題があります。そこで、義手に「頭脳」を持たせる「スマートハンド」の研究を始めました。カメラ映像をAIにディープラーニングさせる「物体認識」の技術が急速に進歩しており、今後IoT技術で義手とAIをつなげば、やがて本物の手と同じく的確に動かせる義手を実現するでしょう。

建築×まちづくりデザインで喜ばれる「まち」をつくる

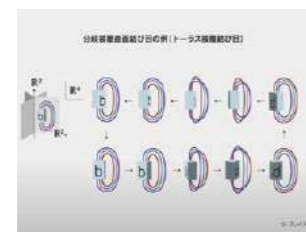
理工学部 都市工学部
三島 伸雄 教授



「建築デザイン学」では、新しい建物を造ったり街並みの一部を変えることで「まちを元気にする」手法を研究しています。観光地再生の成功例として、佐賀県鹿島市の「肥前浜宿」があります。古い酒蔵を生かしてイベント会場にするなど酒蔵を中心としたまちづくりを推進し、多くの観光客が訪れるようになりました。まちのよさや住民のニーズなどを総合的に判断しながら、まちづくりを行っていく研究です。

理論を組み立て、曲面結び目の性質を探索する

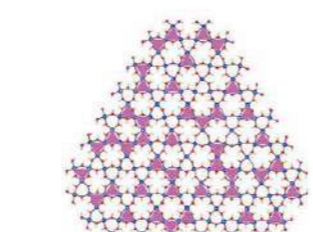
理工学部 数理・情報部門
中村 伊南沙 教授



私は数学、その中でも特に「やわらかい幾何学」とも呼ばれる「位相幾何学(トポロジー)」を専門としています。トポロジーの中でも、4次元空間内の閉曲面「曲面結び目」を研究しています。数学の研究では、新しい数学的研究対象を構成したり、研究対象の性質を抽出できるような理論を構築したりします。3次元空間内にある閉じたひもを「結び目」と呼びますが、「結び目理論」では結び目を数学の対象として扱い、数学的理論を用いてその性質を調べます。曲面結び目は3次元空間内の結び目の高次元版です。曲面結び目について、グラフを用いた表示方法やその同値変形、また、「不変量」という数学的量の構成方法や計算方法などについて、研究に取り組んでいます。

工学の基礎を創る物性物理学研究

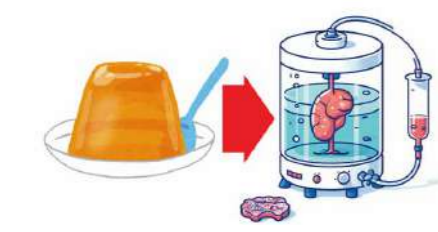
理工学部 物理学部門
鄭 旭光 教授



超伝導体、半導体、磁性体など現在の社会に欠かすことのできない基盤材料・工学応用の礎となる物性物理学の研究をしています。キーワードの一つは相転移です。物質の相転移は、自然界のさまざまな変化の基礎として重要な現象で、例えば、水が温度変化によって氷や水蒸気になるのも相転移の一つです。私達の直近の研究では、量子磁性体の磁気転移において、相転移現象に普遍的なパーコレーション理論(浸透理論)を初めて実験的に実証することに成功しました。

「ゼリー」で挑む! 医療革命と食糧問題の解決

理工学部 化学部門
成田 貴行 教授



生体内で最も豊富なタンパク質であるコラーゲンを用いた新しい材料の開発を行っています。特に注目しているのは、コラーゲンの特性を活かした様々な形状のゲル材料(ゼリー)の創製です。独自に開発した技術により中空構造を持つコラーゲンゲルの作製に成功しました。この技術は、損傷した神経の再生や人工血管の開発への応用が期待されています。さらに、培養肉生産における足場材料としての活用も視野に入れており、医療分野だけでなく、持続可能な食糧生産システムの構築にも貢献することを目指しています。

半導体・AI・デジタルを支える「プラズマ」

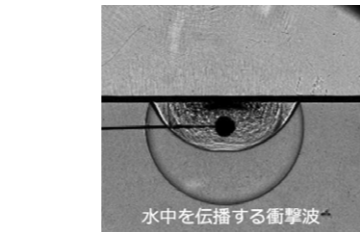
理工学部 電気電子工学部
大津 康徳 教授



「プラズマ」はAIによるDX化を進めるために必須であるGPU等の半導体製造や次世代エネルギー源など、様々なテクノロジーの発展に貢献しています。「プラズマ」とは、固体、液体、気体に次ぐ第4の物質状態で、電子、イオン、気体から構成され、星や炎がこの状態です。電気電子工学を利用して「プラズマ」を作ることができます。集積回路のナノメートルレベルの微細加工を実現しています。このようなプラズマの新しい装置の研究・開発を行っています。

「衝撃波」を利用した先進的な治療法をめざす医工学研究

理工学部 機械工学部
橋本 時忠 准教授



音速を超えて伝わる波、「衝撃波」は数マイクロ秒という極短時間だけ非常に高い圧力を局部的に作用させられるため、これを医療に応用すれば正常な部位には影響を与えずに患部だけを治療することができます。この衝撃波の応用範囲は広く、薬物治療の様な副作用がなく疼痛の軽減や組織の速やかな修復が期待できるため、衝撃波治療法の確立は大きな社会的意義があるでしょう。現在、衝撃波の性質を利用して針を使わず痛みを最小限に抑えることができる注射器の研究を進めています。

理工学部

数理サイエンスコース



詳細情報はこちら



現代数学の基本を学び、論理的思考力、数理科学的考察力を身に付ける

数理サイエンスコースは、あらゆる科学技術の基礎となる数学ならびに数理科学を専門的に学修するコースです。2年次は必修科目において、数理科学のどの分野においても必要となる専門用語・表現方法と基礎的概念を修得します。3年次選択科目では、代数学、幾何学、解析学の各分野について理解を深化させると共に、演習科目により問題解決能力を養います。ほかに、教職や金融・保険といったキャリアパスを想定した場合に必要な確率・統計の科目も取り入れられています。4年次の卒業研究において、3年次までに学修した数学の分野の中から特に興味を覚えたものを選んで、特定のテーマについて少人数形式で探求します。

教員紹介【数理・情報部門】

- | | | | |
|--------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 半田 賢司 教授
確率論 | 中村 伊南沙 教授
幾何学 | 日比野 雄嗣 准教授
確率論 | 木下 武彦 准教授
数値解析 |
| 岩崎 淳 准教授
確率論・情報セキュリティ | 加藤 孝盛 准教授
数学解析 | 猿子 幸弘 講師
幾何学 | 戸次 鵬人 助教
代数学・数論 |
| 柳田 幸輝 特任助教
幾何学 | | | |

主な進路(大学院課程修了生を含む)

損保ジャパン、佐賀銀行、唐津信用金庫、フコク生命、ららい生命保険、IT関連企業、金融関連企業、教育関連企業、公務員、大学院進学、中学校・高等学校教諭

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	科目共通	インターフェース科目			
	学部共通	●理工特別セミナー(半導体概論)	●理工学サブフィールド ●AI・データサイエンス総合A/B	●数理・情報インターンシップS/L	
	専攻共通	●微積分学Ia ●線形代数Ia ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI ●微積分学IIa	●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII		
専攻科目	●線形代数IIa ●微積分学演習 ●線形代数演習	●線形代数III ●解析学基礎I ●線形代数III演習 ●解析学基礎I演習 ●集合・位相I ●代数学基礎 ●解析学基礎II ●代数学基礎演習	●解析学基礎II演習 ●集合・位相II演習	●代数学I ●代数学演習 ●幾何学I ●解析学I ●解析学演習 ●複素関数論I ●微分方程式論I ●代数学II	●幾何学II ●解析学II ●複素関数論II ●数値統計学 ●幾何学演習 ●複素関数論演習 ●微分方程式論演習 ●確率解析学 ●数理統計学演習
				●連続最適化概論 ●数理科学英語	●卒業研究

※カリキュラム改定のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

複素関数論I



複素関数の初等関数、微分法、積分法について学びます。関数を実数から複素数に広げるという一見平凡な拡張から、驚くほど美しく調和に満ちた世界を体験できます。

集合・位相I



集合の定義から始め、集合演算、写像や同値関係、濃度、順序集合などについて説明。発展的課題として、選択公理、整列可能定理、ツォルンの補題にも触れます。

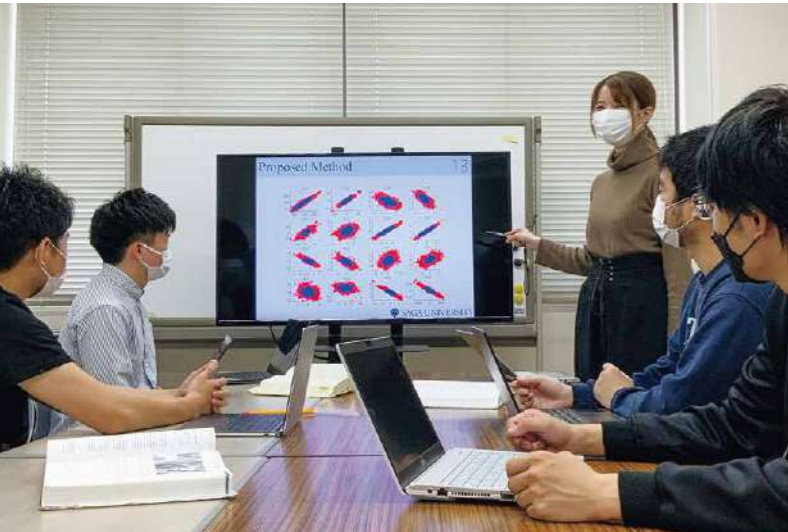
幾何学II



局所的にユークリッド空間と同一化して微分や積分ができる空間である多様体の定義や、逆関数定理などを理解し、応用・計算できることを目指します。



詳細情報はこちら



データから新たな価値を創造する データサイエンティスト

データサイエンスコースでは、データ駆動型社会の中でDX推進の中核を担う人材として必要となる数理・データサイエンス・AIについて深く、かつ広く学びます。

その基本となる数学、プログラミングなどの知識や技術を体系的に習得すると共に数理統計学、データサイエンス、機械学習、AIなどを講義と演習によって実践的に学びます。

これらの教育を通じて、数理・データサイエンス・AI分野の専門的な素養を持ち、多様なデータから知見を得て課題を解決するデータサイエンティストとして理学や工学、ビジネスなどの社会の広い分野で活躍できる人材を養成します。

教員紹介 [数理・情報部門]

石本 志高 教授 情報・生物・物理融合研究	岡崎 泰久 教授 教育学	奥村 浩 教授 環境動態解析	中村 伊南沙 教授 幾何学	中山 功一 教授 知能情報学	花田 英輔 教授 医療情報学、病院設備学
半田 賢司 教授 確率論	ト 楠 教授 生体計測・解析	福田 修 教授 知覚情報処理	堀 良彰 教授 情報ネットワーク・情報セキュリティ	松前進 教授 並列分散処理	皆本 晃弥 教授 応用数学・数値解析
山口 暢彦 教授 情報学基礎理論	岩崎 淳 准教授 確率論・情報セキュリティ	上田 俊 准教授 ゲーム理論、人工知能	内海 晋弥 准教授 数値解析	大谷 誠 准教授 情報ネットワーク・情報セキュリティ	加藤 孝盛 准教授 数学解析
河窪 正照 准教授 医用データ駆動科学	木下 武彦 准教授 数値解析	木村 拓馬 准教授 数値計算法・数理計画	高崎 光浩 准教授 ヘルスデータサイエンス	日永田 泰啓 准教授 計算科学	日比野 雄嗣 准教授 確率論
廣友 雅徳 准教授 符号番号理論、情報セキュリティ	ヨー ウェンリアング 准教授 ヒューマンマシンインタラクション	大月 美佳 講師 ソフトウェア	猿子 幸弘 講師 幾何学	戸次 颯人 助教 代数学、数論	前田 明子 助教 情報ネットワーク
米満 潔 特任講師 教育学	柳田 幸輝 特任助教 幾何学				

想定される進路

パナソニック(株)、NEC、ヤンマーホールディングス(株)、富士通、日立Astemo、IT関連企業、AI関連企業、DX関連企業、公務員、大学院進学、中学校・高等学校教諭

※現時点では、卒業生がいないため、同じ情報分野の進路を記載しています。

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目	
専門教育科目	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS、L	
	●微分積分学Ia/Ia ●線形代数Ia ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスI/II ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説	●データ構造とアルゴリズムI/II ●データベース ●応用数学I/II ●数理統計学/演習 ●情報システム実験 ●ソフトウェア工学 ●人工知能概論/実験 ●連続最適化概論 ●プログラミング概論II/演習II/概論III ●センサプログラミング実験	●情報理論 ●解析学基礎I/II/I演習/II演習 ●代数学基礎I/II/I演習/II演習 ●集合・位相I/II/I演習/II演習 ●オペレーティングシステム ●数値解析 ●自主演習	●データサイエンスコアキム ●情報社会とセキュリティ ●データサイエンス演習 ●実践データサイエンス ●機械学習 ●ヒューマンデータ分析 ●技術英語 ●数理科学英語 ●並列分散処理 ●マルチメディア情報処理
			●ネットワークシステムとクラウド ●ゲーム理論と最適化手法 ●オートマトンとチューリングマシン ●コンピュータグラフィックス演習 ●確率解析学	●卒業研究

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

実践データサイエンス

データサイエンスの目的は、データから情報や法則を抽出し、価値の創造や問題の解決に結びつけることです。データサイエンスを支える手法を理論的・実践的に学びます。

データサイエンス演習

実践データサイエンスで扱った例題や課題を、実際にプログラミングしてデータ分析を行うことで技能を習得します。

数理統計学

1年次「データサイエンスI」で学んだ統計的考え方や手法を、ここでは微分積分学・線形代数数学といった強固な数学的基盤に立ち、さらに進んだ形で修得します。



詳細情報はこちら



人工知能、画像・音声情報技術、進化する ネットワークとソフトウェアで新しい社会を切り開く

知能情報システムコースでは、急速に進化しつつあるコンピューターによる人工知能処理を支える情報システム構築技術や、現代社会を支えるネットワークおよびソフトウェアの基盤技術について深く、かつ広く学びます。

情報システム構築の基本となるプログラミングなどの知識や技術を体系的に習得すると共に、画像や音声の生成・認識、ディープラーニング、機械学習、ゲーム理論、マンマシンインターフェース、脳科学応用、データサイエンス、情報ネットワーク構築、大規模ソフトウェアの協同開発、インターネット運用管理、情報セキュリティ、認証技術、品質管理手法などに関する技術を講義と演習によって実践的に学びます。

これらの教育を通じて、人工知能、データサイエンス、情報ネットワーク、情報システムに関するエンジニアとして、社会の幅広い活動に関わる人材を育成するコースです。

教員紹介 [数理・情報部門]

石本 志高 教授 情報・生物・物理融合研究	岡崎 泰久 教授 教育学	奥村 浩 教授 環境動態解析	中山 功一 教授 知能情報学	花田 英輔 教授 医療情報学、病院設備学
ト 楠 教授 生体計測・解析	福田 修 教授 知覚情報処理	堀 良彰 教授 情報ネットワーク・情報セキュリティ	松前進 教授 並列分散処理	皆本 晃弥 教授 応用数学・数値解析
山口 暢彦 教授 情報学基礎理論	大谷 誠 准教授 情報ネットワーク・情報セキュリティ	上田 俊 准教授 ゲーム理論、人工知能	内海 晋弥 准教授 数値解析	河窪 正照 准教授 医用データ駆動科学
木村 拓馬 准教授 数値計算法・数理計画	高崎 光浩 准教授 ヘルスデータサイエンス	日永田 泰啓 准教授 計算科学	廣友 雅徳 准教授 符号番号理論、情報セキュリティ	ヨー ウェンリアング 准教授 ヒューマンマシンインタラクション
大月 美佳 講師 ソフトウェア	前田 明子 助教 情報ネットワーク	米満 潔 特任講師 教育学		

主な進路(大学院課程修了生を含む)

NTT西日本、NEC、九州電力(株)、エコー電子工業(株)、(株)システムソフト、(株)デンソーテクノ、IT関連企業、AI関連企業、公務員、起業・開業、大学院進学、中学校・高等学校教諭

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目	
専門教育科目	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS、L	
	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数IaまたはIb ●微分積分学IIaまたはIIb ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスI/II ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説	●プログラミング概論II/演習II/概論III ●センサプログラミング実験 ●データ構造とアルゴリズムI/II ●データベース ●応用数学I/II ●情報システム実験 ●ソフトウェア工学 ●オペレーティングシステム	●情報理論 ●数値解析 ●自主演習	●情報社会とセキュリティ ●情報ネットワーク/実験 ●並列分散処理 ●オブジェクト指向プログラミング ●マルチメディア情報処理 ●信号処理 ●実践データサイエンス ●卒業研究準備演習 ●ソフトウェア協同開発実験
			●卒業研究	●卒業研究

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

プログラミング概論I

プログラミングの心構えと基礎手順から始め、基本データ型・変数・入出力・制御構造・ルーチン等へと進めていき、知識と技術を修得します。

人工知能実験

人間の知能をコンピューターで構成することを目的とした人工知能について、講義と実験により理解を深めていきます。

音声情報処理

いろいろな音を聞きながら、音声解析や音声認識の基礎となる信号処理技術を学びます。数式の手計算やコンピューターを使った演習を通して実践力を身に付けます。



詳細情報はこちら



分子を見る、知る、創る

化学コースでは、理工学部発足当初からの「理工融合」の理念に基づき、基礎化学から応用化学までの幅広い知識を身につけることで、化学はもとより、製薬、食品、エネルギー、環境といった社会の幅広い分野で活躍できる人材を育成することを目的としています。

このような人材に必要な知識を体系的に身につけていくために、専門科目の講義を、無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、化学工学の5つの分野で構成・配置しています。

また、プロフェッショナルとして課題を発見し、解決する能力、および課題解決につながる協調性と指導力を養うための実験科目も段階的に配置しています。

教員紹介 [化学部門]

海野 雅司 教授 物理化学	大渡 啓介 教授 環境材料・リサイクル	川喜田 英孝 教授 化学工学	高椋 利幸 教授 分析化学	竹下 道範 教授 有機機能物質化学
雷永 昌人 教授 電気化学	成田 貴行 教授 ナノマイクロシステム	矢田 光徳 教授 セラミックス	森貞 真太郎 教授 化学工学	山田 泰教 教授 無機化学
兒玉 宏樹 准教授 環境化学	坂口 幸一 准教授 無機材料・物性	藤澤 知績 准教授 物理化学	金 善南 准教授 有機機能高分子化学	磯野 健一 助教 分析化学
小山田 重蔵 助教 有機化学	米田 宏 助教 無機化学	政池 彩雅 助教 メカノバイオロジー	Shaimah Rinda Sari 助教 電気化学センサー	

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

三菱マテリアル、AGC、横浜ゴム、京セラ、LIXIL、パナソニック、出光興産、メニコン、住友金属鉱山、東洋紡、SUMCO、化学系企業、食品系企業、化学プラント系企業、公務員、中学校・高等学校教諭、大学院進学

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	学部共通	大学入門科目 共通基礎科目「英語」 共通基礎科目「情報リテラシー」 基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	専門教育科目	インターフェース科目			
専門教育科目	学部共通	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS、L	
	専門科目	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数学IaまたはIb ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI/II ●微分積分学IIaまたはIIb	●無機化学I ●有機化学I ●化学熱力学 ●基礎分析化学 ●化学工学 ●化学実験I ●無機化学II ●高分子化学 ●量子化学	●セラミックス科学 ●有機化学II ●応用物理化学 ●機器分析化学 ●反応器設計 ●化学実験III ●化学リテラシー(2年次・3年次) ●錯体化学 ●生物化学	●有機構造化学 ●物性物理化学 ●材料物性化学 ●溶液化学 ●移動現象論 ●応用化学工学 ●卒業研究A/B ●化学者倫理 ●化学技術英語A/B

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

基礎化学工学



化学工学の基礎として重要な概念である物質収支とエネルギー収支、液体の流れ(流動)および粉粒体操作について理解を深めていきます。

セラミックス科学



セラミックスの製造方法について学ぶとともに、セラミックスの原子レベルおよびマイクロメートルレベルでの構造とそれらに基づく性質や機能について学びます。

化学熱力学



生命現象の理解に不可欠な化学反応時のエネルギーの変化や平衡を理解するための基本原理について講義します。演習も取り入れてアクティブラーニングも行います。



詳細情報はこちら



自然現象の科学的な解明から、科学技術を支える物理学

物理学は、自然界のしくみを理解し、さまざまな自然現象を科学的に解明することを目指す学問です。その対象は、宇宙、地球、多様な物質、原子、原子核、素粒子とすべての領域に及びます。ニュートンやアインシュタインらが導いた物理法則を基礎として、現在もわくわくするような研究が続いています。また、研究成果は科学技術を支える基盤として役立っています。

物理学コースでは、実験と数学を通して、重力場や電場・磁場による力や、熱や光のはたらきを知り、自然界のしくみを論理的に説明する方法を習得します。さらに量子論や相対論など、現代物理学の基礎となる考え方を学びます。

物理学コースでの学習や研究活動からは、知識とともに、高い考察力と豊かな発想力を身につけることができます。考える力は理工系全般に有効であり、就職後の活動を下支えしてくれるものになります。

教員紹介 [物理学部門]

船久保 公一 教授 宇宙論	河野 宏明 教授 素粒子・原子核	鄭 旭光 教授 物性物理学	青木 一 教授 素粒子・原子核
真木 一 教授 物性物理学	橋 基 教授 天体核理論	高橋 智 教授 宇宙論	石渡 洋一 准教授 物性物理学
房安 貴弘 准教授 素粒子・原子核	山内 一宏 准教授 物性物理学	菊地 真史子 准教授 素粒子・原子核	

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

インターネットイニシアティブ、極東産機株式会社、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、佐賀電算センター、IT関連企業、電機メーカーなど、中学校・高等学校教諭、公務員、大学院進学

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	学部共通	大学入門科目 共通基礎科目「英語」 共通基礎科目「情報リテラシー」 基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	専門教育科目	インターフェース科目			
専門教育科目	学部共通	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AIデータサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS、L	
	専門科目	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数学IaまたはIb ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI/II ●微分積分学IIaまたはIIb	●物理数学A ●物理数学B ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII ●線形代数学II ●基礎物理学	●物理数学D ●計算機物理学 ●電磁気学II ●サイエンスリテラシー-I	●量子力学I ●基礎統計力学II ●宇宙物理学 ●固体物理学 ●回路理論 ●物理学実験B ●放射線物理学 ●量子力学II ●統計力学 ●電磁気学III

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

宇宙物理学



ビッグバン宇宙論の観測的根拠が何か、また、最新の観測から密度パラメータが決定される過程や元素合成の理論の概要などについて理解します。

物理学実験A



力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、固体物理学の中の基礎的で重要な実験を行い、種々の物理量の測定方法とそこにあるアイデアを学びます。

電磁気学II



導体と静電場、定常電流および静磁場について学びます。講義の中で演習問題にも取り組み、電磁気学について理解を深めていきます。



詳細情報はこちら



産業分野の開発・設計・生産 (ものづくり)の基盤となる機械工学

機械工学コースでは、さまざまな産業分野での開発、設計、生産とそれらのシステムにおいて必要となる機械工学分野の専門的素養を持ち、ものづくりに強い機械工学技術者として幅広い分野で活躍できる人材を養成します。

そのために、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学をはじめとした機械工学の専門知識はもとより、幅広い教養と関連領域における専門的な基礎知識、さらにはものづくりに関連した応用力や課題解決能力を身に着的教育を体系的に行います。

教員紹介 [機械工学部門]

池上 康之 教授 エネルギー学	カーン タウヒドウル イスラム 教授 知能機械学	村上 洋一 教授 流体力学	佐藤 和也 教授 制御・システム工学	住 隆博 教授 流体力学
武富 紳也 教授 機械材料・材料力学	只野 裕一 教授 機械材料・材料力学	秋原 世也 教授 機械材料・材料力学	長谷川 裕之 教授 複合材料・表面工学	光武 雄一 教授 熱工学
有馬 博史 准教授 熱工学	泉 清高 准教授 知能機械学	今井 康貴 准教授 船舶海洋工学	大島 史洋 准教授 設計工学	飯屋 圭史 准教授 熱工学
鶴 若菜 准教授 森林工学	橋本 時忠 准教授 生体医工学	畑田 和良 准教授 制御・システム工学	馬渡 俊文 准教授 設計工学	村上 天元 准教授 流体力学
森田 繁樹 准教授 構造・機械材料	石田 賢治 講師 熱工学	佐藤 善紀 助教 設計工学	椿 耕太郎 助教 熱工学	森田 智香子 助教 機械材料・材料力学
				林 喜章 助教 リハビリテーション科学

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

日本製鉄、三菱電機、東京エレクトロ、トヨタ自動車、川崎重工業、荏原製作所、京セラ、九州電力、公務員、大学院進学

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	学部共通	大学入門科目 共通基礎科目「英語」 共通基礎科目「情報リテラシー」	共通基礎科目「英語」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目	
	専門教育科目	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AI-データサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS, L		
専門教育科目	学部共通	●微分積分学IaまたはIb ●線形代数学IaまたはIb ●物理学概説 ●化学概説または生物学概説 ●データサイエンスI/II ●微分積分学IIaまたはIIb ●コンピュータプログラミング	●機械数学応用 ●ベクトル解析学 ●機械力学 ●流体工学 ●機械熱力学 ●材料力学 ●機械要素設計製図 ●実用英語基礎I ●実用英語基礎II ●機械工作実習I	●機械設計 ●機械材料 ●機械工作実習II ●機械工学設計製図 ●流体工学 ●機械システム制御 ●流体工学 ●エネルギー変換工学 ●機構学 ●システム動力学	●科学技術英語 ●機械エネルギー工学実験 ●数値計算法 ●CAD-プログラミング演習 ●流体エネルギー工学 ●伝熱工学 ●固体力学 ●トイボロジー概論 ●材料強度学 ●材料力学 ●計測工学	●ロボット工学 ●工学者の倫理 ●機械システム工学実験 ●創造工学演習 ●圧縮性流体力学 ●資源エネルギー概論 ●応用熱力学 ●材料強度学 ●材料力学 ●製造工学実習II ●現代制御
	専門科目	●創造工学入門 ●工業力学 ●機械工作 ●機械数学基礎 ●機械製図基礎	●機械実学PBL ●機械工学インターンシップ	●卒業研究		

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

数値計算法

解析的解法に並ぶ主要な計算方法である電子計算機を用いた数値解法(数値計算)など、各種数学的解法の数値的な計算法について講義します。

固体力学

さまざまな機械の設計や性能評価において不可欠な、固体材料の変形挙動を理解するための力学を修得すると共に、その具体的な活用方法も学びます。

現代制御

ロボットなどに代表される現代のより複雑な機械システムの制御に用いる現代制御理論において重要な、状態空間表現による制御法について学びます。



詳細情報はこちら



超スマート社会に向けて限りなく広がる 電気電子工学のフィールド

電気電子工学コースでは、電気電子工学に関する高度な専門知識と技術に加え、広い視野と的確な判断力を備え、他者と協力しながら地域社会、国際社会、産業界などで活躍できる人材の育成を目指します。

そのため、電磁気学、電気回路、電子回路といった基礎科目に加え、半導体、プログラミング、システム制御、パワーエレクトロニクスなどの応用分野についても幅広く学修します。

さらに、電気電子工学分野のプロフェッショナルとして求められる、課題を発見・解決する力に加えて、協調性やリーダーシップも養成します。演習や実験を通じて、チームでの作業や問題解決型学習に取り組み、主体的な行動力や他者との円滑なコミュニケーション能力を身につけます。

教員紹介 [電気電子工学部門]

伊藤 秀昭 教授 人工知能	大津 康徳 教授 プラズマエレクトロニクス	郭 其新 教授 電子・電気材料工学	木本 晃 教授 計測工学	後藤 聡 教授 制御・システム工学	杉 剛直 教授 生体医工学
田中 徹 教授 電子・電気材料工学	豊田 一彦 教授 通信工学	村松 和弘 教授 電力工学	猪原 哲 准教授 電力工学	江口 正徳 准教授 半導体デバイス	齋藤 勝彦 准教授 電子・電気材料工学
田中 高行 准教授 電子デバイス	西山 英輔 准教授 通信・ネットワーク工学	福本 尚生 准教授 電力工学	松田 吉隆 准教授 制御・システム工学	三沢 達也 准教授 プラズマエレクトロニクス	今村 真幸 助教 表面界面ダイナミクス
王 瑞敏 助教 生体医工学	サハ・ニロイ・チャンドラ 助教 半導体工学		後藤 貴晃 助教 制御・システム工学		

主な進路 (大学院課程修了生を含む)

九州電力、東京電力、三菱重工業、NTT西日本、戸上電機製作所、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、東京エレクトロ、日本電気、SUMCO、Cygames、エネルギー関連企業、情報通信関連企業、電気電子関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	学部共通	大学入門科目 共通基礎科目「英語」 共通基礎科目「情報リテラシー」	共通基礎科目「英語」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目
	専門教育科目	●理工特別セミナー(半導体概論)	●AI-データサイエンス総合A/B ●理工学サブフィールド	●理工キャリア教育プログラムS, L	
専門教育科目	学部共通	●微分積分学Ia ●線形代数学Ia ●物理学概説 ●化学概説 ●データサイエンスI/II ●微分積分学IIaまたはIIb ●コンピュータプログラミング	●微分積分学Ib ●線形代数学Ib ●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI/II	●微分積分学IIb ●コンピュータプログラミング	
	専門科目	●電気回路I ●電気系基礎数学 ●電気系基礎物理学 ●コンピュータ情報通信工学	●電気回路II ●工学系電磁気学I ●電子回路I ●微分方程式 ●電気電子工学実験I ●電気回路III ●工学系電磁気学II	●電子回路II ●工学系電磁気学II ●複素関数論 ●電子物性論 ●論理回路 ●電子計測	●工学系電磁気学III ●システム制御学 ●半導体デバイス工学 ●電気電子工学実験III ●プラズマエレクトロニクス ●電気機器学 ●制御工学 ●エネルギーシステム工学 ●信号解析論

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

オプトエレクトロニクス

光デバイスで使用される半導体の光物性の基礎を学んだ後、半導体の基本原理、各種光デバイスの構造、物性について学びます。

システム制御学

生活や産業などで使われる様々な機器・システムを自動制御するための設計法、また基礎となる数学や具体的な社会実装例について学びます。

電気電子工学実験 I~IV

講義で学んだ理論や原理を実験して確認します。基礎的な実験や測定器の使用法、マイコンを用いた応用的な実験などチーム作業を中心に行います。



詳細情報はこちら



これからの安全・安心で快適な都市の基盤づくりを学びませんか？

都市基盤工学コースでは、安全・安心で豊かな地域社会の構築に貢献できる技術者の養成を目指します。そのために必要な数理的能力やコミュニケーション能力のほか、建設構造学、建設地盤工学、環境システム工学、および都市・社会システム学などの都市基盤工学分野の専門知識を体系的に学びます。また、人口減少・少子高齢化の状況下における持続社会の実現、気候変動等による災害外力の増大への対策、社会基盤施設の老朽化とその維持管理、環境に配慮した社会づくりなど、現代社会が直面する課題を都市基盤工学が有する専門技術によって解決できる能力を育成するための教育研究を行います。

主な進路(大学院課程修了生を含む)

三井住友建設(株)、前田建設工業(株)、松尾建設(株)、(株)建設技術研究所、西日本旅客鉄道(株)などのゼネコン(土木施工)・総合建設コンサルタント・土木工学関連企業、公務員、大学院進学など

教員紹介[都市工学部門]

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------|------------------------|------------------------------|
| 伊藤 幸広 教授
建設材料学 | 猪八重 拓郎 教授
土木計画学 | 大串 浩一郎 教授
水工学 | 押川 英夫 教授
水工学 |
| 帯屋 洋之 教授
構造工学 | 日野 剛徳 教授
地盤工学 | 山西 博幸 教授
土木環境システム | |
| ウインターストーン・ナルモン 准教授
土木環境システム | | 三島 悠一郎 准教授
土木環境システム | モハメド・ニザム・ビン・ザカリア 准教授
構造工学 |
| 山下 修平 准教授
維持管理工学 | 李 海峰 准教授
建築環境・設備 | 根上 武仁 講師
地盤工学 | |

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目		
専門教育科目	<ul style="list-style-type: none"> 理工特別セミナー(半導体概論) 微分積分学IaまたはIb 線形代数学IaまたはIb 物理学概論 化学概論または生物学概論 データサイエンスI/II 微分積分学IIaまたはIIb コンピュータプログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> AI-データサイエンス総合A/B 理工学サブフィールド 工業数学I 構造力学Iおよび演習 地盤工学I 水理学および演習 都市計画 鉄筋コンクリート工学 技術者倫理 建設技術総合演習(通年) 建築環境工学I 基礎設計製図演習 	<ul style="list-style-type: none"> 理工キャリア教育プログラムS, L 都市基盤工学実験 構造力学IIおよび演習 地盤工学II 水理学II 水環境システム工学 環境システム工学 環境衛生工学 建設技術総合演習(通年) 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 地域・建築保全再生学 	<ul style="list-style-type: none"> 建築環境デザインユニット演習 地盤環境学 構造力学II 工業数学II 流体力学 都市防災工学 建設プロジェクト演習 都市解析演習 都市工学インターンシップ 建築法制度とデザイン 構造解析学 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究
	<ul style="list-style-type: none"> 建設力学基礎 建設材料学 空間設計基礎 測量学および実習 現代建築とデザイン 建築環境デザイン学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎設計製図演習 建築環境工学I 居住環境計画 建築空間史A 都市計画 建築環境工学II 建築環境工学演習I 建設生産システム分析 環境衛生工学 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 鉄筋コンクリート工学 環境衛生工学 建築空間史A 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎設計製図演習 建築環境工学I 居住環境計画 建築空間史A 都市計画 建築環境工学II 建築環境工学演習I 建設生産システム分析 環境衛生工学 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 鉄筋コンクリート工学 環境衛生工学 建築空間史A 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎設計製図演習 建築環境工学I 居住環境計画 建築空間史A 都市計画 建築環境工学II 建築環境工学演習I 建設生産システム分析 環境衛生工学 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 鉄筋コンクリート工学 環境衛生工学 建築空間史A 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

建設プロジェクト演習



受講生が自ら課題を設定し、調査を通じて解決策を提案するプロジェクト型講義です。実践を通じて知識を深め、課題解決能力を養います。

都市基盤工学ユニット演習



都市基盤工学関連に必要な知識と分析能力を身に付けるため、構造系、地盤系、水環境系、都市・環境系より分野を選択し実際の調査・設計への適用を学びます。

構造力学Iおよび演習



土木・建築技術者にとって必要不可欠な構造力学の知識と運用能力を身に付けるため、講義と演習の反復によって基礎の基礎から徹底的に鍛え上げます。



詳細情報はこちら



地域の気候・風土・歴史・文化をふまえて、建築と都市の環境をデザインする

建築環境デザインコースでは、建築およびその周辺環境のあり方を創造的に提示することで社会の広い分野で活躍できる人材の養成を目指します。そのための基礎学力の向上とコミュニケーション能力、美的感性を養うと同時に、建築デザイン学・建築環境工学などの建築環境デザイン分野の専門知識について体系的に学びます。また、超人口減少社会などに伴って需要が増えつつある空き家・空き地の利活用、都市空間の改善のほか、歴史的環境や自然環境の再生、気候変動に対する環境保全・防災などの現代社会の課題に対応した建築や都市のあり方について理解を深めるとともに、持続可能な地域再生につながる建築都市空間の計画設計に関する教育研究を行います。

主な進路(大学院課程修了生を含む)

(株)大林組、(株)竹中工務店、大和ハウス工業(株)、高砂熱学工業(株)などの建築設計事務所・ゼネコン(建築施工)・ハウスメーカー・建築設備関連企業、公務員、大学院進学など

教員紹介[都市工学部門]

- | | | | |
|----------------------|------------------------|------------------------------|-----------------------|
| 小島 昌一 教授
建築環境・設備 | 後藤 隆太郎 教授
建築計画、集落計画 | 三島 伸雄 教授
都市計画・建築計画 | 中大窪 千晶 准教授
建築環境・設備 |
| 洲上 貴由樹 准教授
建築史・意匠 | 萬玉 直子 准教授
建築デザイン | 宮原 真美子 准教授
建築計画 | 伊藤 幸広 教授
建設材料学 |
| 猪八重 拓郎 教授
土木計画学 | 帯屋 洋之 教授
構造工学 | モハメド・ニザム・ビン・ザカリア 准教授
構造工学 | |
| 山下 修平 准教授
維持管理工学 | 李 海峰 准教授
建築環境・設備 | | |

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)	インターフェース科目		
専門教育科目	<ul style="list-style-type: none"> 理工特別セミナー(半導体概論) 微分積分学IaまたはIb 線形代数学IaまたはIb 物理学概論 化学概論または生物学概論 データサイエンスI/II 微分積分学IIaまたはIIb コンピュータプログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> AI-データサイエンス総合A/B 理工学サブフィールド 工業数学I 構造力学Iおよび演習 地盤工学I 水理学および演習 都市計画 鉄筋コンクリート工学 技術者倫理 建設技術総合演習(通年) 建築環境工学I 基礎設計製図演習 	<ul style="list-style-type: none"> 理工キャリア教育プログラムS, L 都市基盤工学実験 構造力学IIおよび演習 地盤工学II 水理学II 水環境システム工学 環境システム工学 環境衛生工学 建設技術総合演習(通年) 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 地域・建築保全再生学 	<ul style="list-style-type: none"> 建築環境デザインユニット演習 地盤環境学 構造力学II 工業数学II 流体力学 都市防災工学 建設プロジェクト演習 都市解析演習 都市工学インターンシップ 建築法制度とデザイン 構造解析学 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究
	<ul style="list-style-type: none"> 建設力学基礎 建設材料学 空間設計基礎 測量学および実習 現代建築とデザイン 建築環境デザイン学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎設計製図演習 建築環境工学I 居住環境計画 建築空間史A 都市計画 建築環境工学II 建築環境工学演習I 建設生産システム分析 環境衛生工学 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 鉄筋コンクリート工学 環境衛生工学 建築空間史A 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎設計製図演習 建築環境工学I 居住環境計画 建築空間史A 都市計画 建築環境工学II 建築環境工学演習I 建設生産システム分析 環境衛生工学 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 鉄筋コンクリート工学 環境衛生工学 建築空間史A 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎設計製図演習 建築環境工学I 居住環境計画 建築空間史A 都市計画 建築環境工学II 建築環境工学演習I 建設生産システム分析 環境衛生工学 廃棄物資源循環工学 都市工学インターンシップ 鉄筋コンクリート工学 環境衛生工学 建築空間史A 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究

※カリキュラム改定中のため、開講科目、配当年次等が変更になる場合があります。

授業紹介

建築環境デザインユニット演習



建築都市空間の計画・デザイン能力を高めるために、実在する敷地を対象地とし、周辺環境も含めた建築設計を実践的に学びます。

都市解析演習



地理情報システム(GIS)の基本操作と各種地理情報の検索・収集について学び、総合課題でさまざまな都市解析を行って学びを深めます。

建築環境工学演習II



快適な空間を維持するために必要な空調設備を中心に、給排水衛生設備、建築電気設備等の建築設備設計の実務に関する基礎的事項を学びます。

暮らしを豊かにする

地域創生の

チカラを身につける。

Faculty of Agriculture

農学部

生物資源科学科

- ▶ 生物科学コース
- ▶ 食資源環境科学コース
- ▶ 生命機能科学コース
- ▶ 国際・地域マネジメントコース

生命機能科学コース
副島 加蓮 長崎県 佐世保北高等学校出身

〈学部の特徴〉

21世紀は、人類が大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会へと大転換する時代です。「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」等どれをとっても、今ほど人類がその重要性を強く意識した時代はないでしょう。そして、これらの課題こそ農学が得意とするところであり、時代は農学の発展を必要としています。農学は、理系から文系にわたる分野を含む、基礎から応用に及ぶ総合科学です。農学部には、「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」を対象とするさまざまな教育研究分野が揃っています。本学部だけでミニ総合大学といっても過言ではありません。入学すれば皆さんの希望する分野がきっと見つかるでしょう。

■ 教育目的

農学部では、農学および関連する学問領域において、多様な社会的要請に応える深い専門性と幅広い素養を身に付け、国内外での農業および関連産業の発展に貢献する人材を養成することを目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



農学部で学んだ知識や技術を 活かせる職業に就きたい。

農業をはじめとする幅広い分野を学ぶこと、また、入学後に自分が興味を持った分野に進めることから、佐賀大学の農学部に興味を持ちました。畜産学、食物育種学、病理学など幅広い分野を学びますが、特に好きな授業はフィールド科学基礎実習です。食肉加工や牛の世話など初めての経験も多く、仲間と協力して作業を行い有意義な時間を過ごしています。大学でも趣味でも野菜や果物を育てていますが、授業で学んだことを活かして植物を育てる楽しさを実感しているところです。友人や先輩との交流や実習での共同作業を通じ、入学前よりも周囲と協力して取り組む力が身についたと感じています。将来の夢はまだ明確ではありませんが、選択肢を増やすためにも、今は食品衛生管理者の資格取得を目指しています。

生物科学コース
小野 鈴葉 福岡県 春日高等学校出身

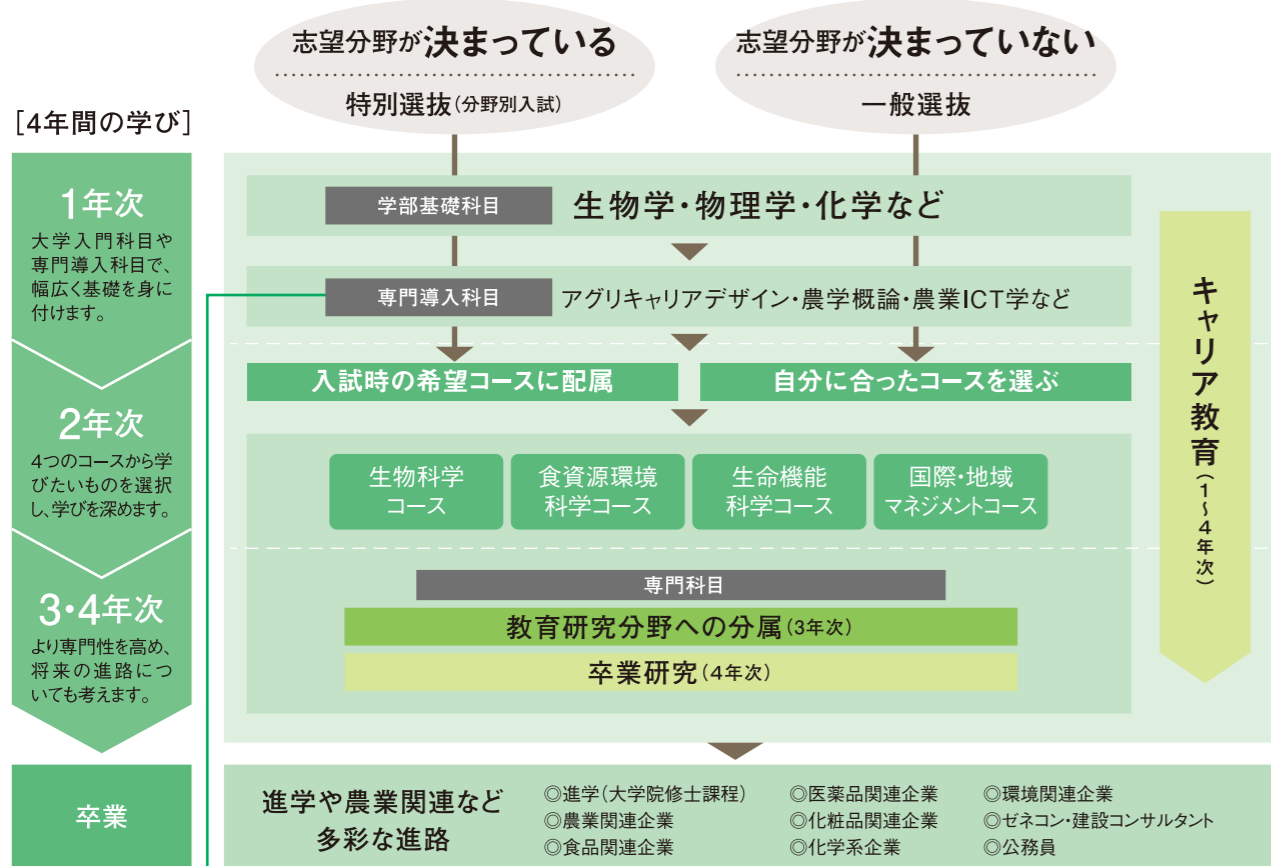
インタビュー動画も
ご覧いただけます



充実の設備で実践学習 体験し、学び、身につける

01 1年次に各専門科目の基礎を学びながら 自分の希望コースをじっくり選択

農学部には「食料」や「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」など、それぞれ特色が異なるさまざまな研究分野があります。そこで、まず1年次に農学の基礎科目である生物学、物理学、化学を必修とし、深い専門性を身に付ける素地を構築。専門導入科目で農学に関する基礎知識を幅広く十分に修得したうえで、2年次の専門コース選択へと進みます。



KEY POINT

1年次の後学期から始まるカリキュラム。前学期で基礎を十分に修得したうえで、各専門科目の導入部分に触れていきます。2年次から始まる専門コースの教育に必要な幅広い素養を身に付けるとともに、各コースでどのようなことが学べるのかをあらかじめ知ることによって、コース選択の際に確かなマッチングが行えるようになります。

02 佐賀県を代表する「ノリ」「大豆」や「米」を 研究する地域特化型農水産研究

佐賀県域の農水圏生物生産や利用技術等をより高度にしていこうとする試みが、地域特化型農水産研究開発です。さまざまな問題を抱える地域の農・水産業の課題解決・発展を図ることを目的としています。佐賀県の主力農産物のひとつである米や大豆についての研究を進め、佐賀大学発の農産物ブランド化戦略を行っているほか、水産学では水産物の高品質・安定生産を目指して、ノリや二枚貝等の遺伝子解析や代謝解析を実施。佐賀県のノリを中心とした水産業を振興するため、ノリ研究に特化した人材の育成・輩出も行っています。佐賀県が誇る農水産物をさまざまな角度から研究することで、地域の発展に寄与します。



03 「米」や「大豆」の品種改良の取り組み 自分たちでオリジナル品種の開発も

多様化する消費者ニーズに対応するために、米や大豆などのオリジナル品種の育成を目指して、学生自ら育種技術の開発や栽培技術の開発に取り組みます。生物資源教育研究センターで、実際にフィールド研究や遺伝子解析を応用した先端的な研究を行うことで、実践的な力も身に付けることができます。



農学部開発のオリジナル品種・商品

計画・実行・評価・改善を
繰り返して育てる「オリジナルダイズ」

遺伝資源を活用した画期的品種の育成を目指し、機能性ダイズ品種の開発に着手。栽培試験やデータ解析、植物工場におけるコストと生産物品質の検証、その後さらに改善を繰り返して、独自性が高い高付加価値なブランド品種育成に取り組んでいます。



佐賀大学ブランドとして
親しまれている清酒「悠々知酔」

毎年、地元の酒造会社と協力して行う佐賀大学ブランドの清酒。原料の米選びから酒造会社との打ち合わせまで農学部の生徒が主体となって行います。「The SAGA認定酒」として一般の方にも販売されており、毎年多くの人々から好評をいただいています。



04 広いフィールドから 最新鋭の植物工場まで完備

生物資源教育研究センター / アグリファシリティ部門



圃場を利用して作物や果樹の栽培研究を実践的に学習。広いフィールドを使つての農業学習のほか、食品加工などのプログラムにも取り組みます。

種々の天然資源に含まれる機能性成分を研究。唐津キャンパスでは、様々な天然資源から、人間の健康に資する成分の解析を進めています。

最新の施設生産技術を学ぶ植物工場。農業新時代に対応するために開設された太陽光型植物工場。先端農業に触れられる実習施設です。

■ 教員紹介

- 後藤 文之 教授 施設園芸学
- 福田 伸二 教授 アグリ資源開発学
- 上埜 喜八 准教授 作物生産学
- 江原 史雄 准教授 動物行動管理学
- 川添 嘉徳 准教授 ケミカルバイオロジー
- 松本 雄一 准教授 機能性植物資源学



長崎県北振興局 農林部 南部地域普及課(2025年度末時点)
伊藤 咲乃さん
農学部 生物資源科学科 国際・地域マネジメントコース 2024年3月卒業
[業務内容] 生産者の声を聞き、技術などの提供を行い、農業の普及に貢献する。

周囲の人と良好な関係を築きながら 自分らしさを大切にして仕事に取り組みたい。

私は現在、地元である長崎県の農業職員として、普及分野で働いています。生産者へ技術や病害虫の情報提供、資材検討の試験等を行っていますが、仕事の魅力は実際に現場に出向き、生産者の声を直接聞けることです。佐賀大学で学んだ経営学や植物生理学など、農業全般に関する知識がしっかりと役立っています。会議や研修会での内容理解、生産者からの問い合わせ対応もスムーズにでき、卒業論文執筆に取り組んだ事で、研修会などの資料作成や発表にも経験を活かしています。大学時代の一番の思い出は、スリランカでのフィールドワークです。友人や後輩とも仲を深め、初めての土地で食や人と交流できたことがとてもいい思い出です。仕事は一人では成り立ちません。周りの人と持ちつ持たれつ関係を大切にしなが、自分の役割を果たせる人でありたいです。





詳細情報はこちら



生物資源を活用し、
新たな農産物・品種を開発

地域の特色ある生物資源を活用した高付加価値の新規農産物や新品種の開発、効率的で収益性の高い農産物生産技術の開発、また多様な生物と環境との関わりや、新たな機能性を持つ生物素材の産業利用に関する教育研究を行っています。食用植物や園芸・薬用植物、植物病原菌、共生微生物、ウイルス、昆虫、線虫や哺乳類など多様な生物を取り扱い、生物資源の開発と応用に関する幅広い学問分野をカバーしています。フィールドワークや豊富な実験が組み込まれたカリキュラムで学ぶことにより、遺伝子や細胞レベルから、個体レベル、さらには生物間相互作用を基本とする生態系レベルまで、幅広い内容の専門知識と先端技術を修得することができます。

主な進路

〈就職先〉
公務員(福岡労働局、九州経済産業局、佐賀県庁、福岡県庁、熊本県庁、兵庫県庁、鹿児島市役所)、あじかん、(株)えひめ飲料、ジェイエイ北九州、日本香堂、いなば食品、九州シーア イーシー、(独)農研機構、第一三共ケルファーマ、新日本科学、久原本家、久光製薬 他
〈進学先〉
大学院進学(佐賀大学大学院、九州大学大学院、東京大学大学院など)



詳細情報はこちら



地球規模の課題に向き合い、
解決へと導く実践力を養う

環境保全・エネルギー・農業生産システムに関する先端技術の開発と利用は、地球規模に値する重大かつ重要な課題です。食資源環境科学コースは、これらの課題を解決するための教育、研究を行うことで、地域社会からの需要に応える農業の技術革新を先導し、地域の農業基盤を根底から支えることを目標としています。そのために農業機械・植物工場・コンピュータや通信等のICT技術や農業工学、また食品研究から土壌や環境水の分析化学等、さまざまな農業生産に関する先端技術を幅広く学ぶ機会を提供し、地域の農業現場をしっかりとリードする実践力を確実に養成していきます。なお、このコースは農学部における高等学校理科教員免許の主コースとなっています。

主な進路

〈就職先〉
公務員(九州農政局、佐賀県庁、長崎県庁、福岡県庁、山口県庁、鳥栖市役所、教諭(中学・高校)) / 民間((株)三拓コンサルタンツ、サンスイコンサルタント(株)、(株)竹中土木、(株)サタケ、(株)OPTIM)
〈進学先〉
大学院進学(佐賀大学大学院、九州大学大学院など)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
	専門導入科目	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
	専門科目	●生物学概論I-II ●応用動物昆虫学 ●植物生理学 ●遺伝学 ●園芸学 ●行動生態学 ●生物学実験 ●フィールド科学基礎実習I-II ●群集生態学 ●昆虫学 ●線虫学	●食用作物学 ●植物育種学 ●植物病理学 ●畜産学 ●行動生態学 ●植物栄養学 ●熱帯作物学 ●野菜花開園芸学 ●昆虫学 ●線虫学	●果樹園芸学実験I-II ●熱帯作物改良学実験I-II ●野菜花開園芸学実験I-II ●植物分子育種学実験I-II ●動物資源開発学実験I-II ●動物病理学実験I-II ●線虫学実験I-II ●昆虫学実験I-II ●生化学実験I-II ●作物学実験I-II	●遺伝資源フィールド科学実験I-II ●科学英語 ●食品化学 ●動物飼養管理学 ●農業気象学 ●農薬・ネオマネジメント学 ●分子遺伝学 ●有機化学 ●微生物学 など

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
	専門導入科目	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
	専門科目	●環境基礎解析学I-II ●応用力学 ●応用力学演習 ●生産情報処理学 ●農業水리학 ●農業気象学 ●フィールド科学基礎実習I-II ●栽培環境制御学 ●生化学 ●遺伝学	●土壌環境科学 ●地盤環境学I ●環境水理学I ●環境水理学演習I ●農業生産機械学 ●農産食品流通貯蔵学 ●食養化学 ●栽培環境制御学 ●植物栄養学	●英語講読 ●環境水理学II ●環境水理学演習II ●測地学I-II ●測地学演習I-II ●地盤環境学II ●農料環境計画学 ●食資源科学演習 ●実験水気環境学 ●生物有機化学	●昆虫学 ●園芸学 ●地球環境学 ●有機化学 ●分析化学 ●物理化学 ●植物生理学 ●食資源科学演習 ●海洋環境学 ●インターンシップ S-L など

授業紹介

応用動物昆虫学



昆虫、線虫、ダニなどの発育と個体数を制御して被害を軽減する方法を理解するための基礎として、これらの動物の生理・生態について学びます。

果樹園芸学

果樹を含む園芸作物全般の生理現象について講義し、果樹の品種、分類、遺伝・育種、栽培生理、健康機能性成分について理解を深めます。

動物繁殖生理学

生命の連続性を理解するために哺乳動物における生殖現象の基礎を学び、当該分野において開発された技術の社会での活用について理解します。

教員紹介

- 一色 司郎 教授 草場 基章 教授 古藤田 信博 教授 後藤 文之 教授
野菜花開園芸学 植物病理学 果樹園芸学 施設園芸学
- 鈴木 章弘 教授 辻田 有紀 教授 鄭 紹輝 教授 徳田 誠 教授
作物生態生理学 野菜花開園芸学 熱帯作物改良学 システム生態学
- 藤田 大輔 教授 山中 賢一 教授 吉賀 豊司 教授 渡邊 啓史 教授
熱帯作物改良学 動物資源開発学 線虫学 植物遺伝育種学
- 福田 伸二 教授 上埜 喜八 准教授 江原 史雄 准教授 西田 翔 准教授
アプリ資源開発学 作物生産学 動物行動管理学 植物栄養学
- 松本 雄一 准教授 秋沢 宏紀 助教 カミズル サイド アイマン 助教
機能性植物学 動物資源開発学 システム生態学
- 千葉 悠斗 助教 下村 彩 助教
ウイルス生態学 作物生態生理学

授業紹介

農産食品流通貯蔵学



青果物に含まれる栄養成分の種類と性質を知り、その品質維持を図るために必要な選別、洗浄、包装、貯蔵、輸送技術などについて学びます。

土壌環境科学

農業生産の場である土壌の構造、水分保持特性および物質移動を学び、土壌劣化や土壌汚染などの問題に直面している農地環境の保全について理解を深めます。

水環境学

地球上のあらゆる生物に必要な不可欠な「水」をとりまく現状や課題について学び、農業分野における水環境保全や水害に強い農村のあり方に関する専門的知識を身に付けます。

教員紹介

- 阿南 光政 教授 近藤 文義 教授 田中 宗浩 教授
水環境保全学 生産地盤環境学 施設農業生産学
- 宮本 英揮 教授 弓削 こずえ 教授 稲葉 繁樹 准教授
生産地盤環境学 灌漑科学 農業生産機械学
- 上野 大介 准教授 郡山 益実 准教授 出村 幹英 准教授
生産地盤環境学 浅海干潟環境学 微細藻類バイオマス利用学
- 徳本 家康 准教授 速水 祐一 准教授 原口 智和 准教授
環境土壌科学 海洋環境学 地域環境学



詳細情報はこちら



生命科学を理解し、科学的に思考できる人材を育成

生化学や分子生物学を基礎として、微生物からヒトにわたる幅広い生物の生命現象のしくみや機能の解明を行うとともに、それらを活用した食品機能の追求と開発、食品の安全性、バイオマスの利用について教育と研究を行うコースです。多様な生物の生命現象を分子レベルで解明するとともに、生物資源が持つユニークな機能を開発・利用することを目的に教育と研究を行います。生体における遺伝子発現や物質代謝とそれらの調節機構、食品の生体調節機能・栄養機能・物性や安全性について、基礎から専門に至る積み上げ方式で教育を行います。また、多様な生物の生命現象の解明、バイオテクノロジーを駆使した生物機能の改良と有用物質生産システムの開発、生物資源の生理機能や特性の化学的・栄養生理学的解析に基づく機能性食品の開発、食品の品質評価に関する研究を行っています。これらを通して生命科学、食糧科学について基本的な理解を深め、社会で活躍できる思考力と実践力を有する人材の育成を目指しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員(県庁、農業試験研究センター、市町村役場、教諭(中学・高校)) / 民間(山崎製パン(株)、東洋水産(株)、(株)不二家、(株)久原本家、キッセイ薬品工業(株)、積水メディカル(株)、アステラスファーマテック(株)など) / 教員(大学) / 法人団体(JA、化学物質評価機構など)

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)		
専門教育科目	インターフェース科目			
	学部基礎 ●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
	専門導入 ●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
専門科目など	●物理化学 ●有機化学 ●分析化学 ●生物有機化学 ●生化学 ●酵素化学 ●微生物学 ●食品衛生学 ●栄養化学 ●食品化学	●分子生物学 ●化学実験I・II	●食糧安全学 ●食品工学 ●食品機能化学 ●応用微生物学 ●食糧流通貯蔵学 ●水圏生物学 ●分子細胞生物学 ●生物資源化学 ●遺伝子工学 ●基礎放射線科学	●藻類学 ●生命機能科学概説 ●生化学実験 ●微生物学実験 ●インターンシップS-L ●基礎演習 ●生命機能科学演習I ●専門外書講読

授業紹介

応用微生物学



微生物は人間の生存に大きく貢献しています。その微生物を利用した物質生産から環境浄化までの実例を詳しく説明します。

化学実験II

食品に含まれる各種成分の分離、分析、定量化を行う実験手法、器具の操作方法について学び、科学的な思考を行う能力および観察力を身に付けます。

栄養化学

食品成分の栄養機能性から最近の分子栄養学まで講義し、栄養素がどのように代謝され、どのような役割を果たしているのかの基礎知識を修得します。

教員紹介

- | | | |
|--------------------|-------------------------|--------------------|
| 木村 圭 教授
水圏生産科学 | 小林 元太 教授
応用微生物学 | 後藤 正利 教授
応用微生物学 |
| 宗 伸明 教授
分析化学 | 辻田 忠志 教授
生化学 | 永尾 晃治 教授
食品科学 |
| 永野 幸生 教授
応用生物化学 | 野間 誠司 教授
食品科学 | 濱 洋一郎 教授
水圏生命科学 |
| 堀谷 正樹 教授
生体関連化学 | 光武 進 教授
応用生物化学 | 井上 奈穂 准教授
食品科学 |
| 折田 亮 准教授
水圏生産科学 | 川添 嘉徳 准教授
ケミカルバイオロジー | 龍田 勝輔 准教授
昆虫科学 |
| 関 清彦 講師
応用生物化学 | 眞榮田 麻友美 助教
応用微生物学 | 吉田 和広 助教
水圏生産科学 |



詳細情報はこちら



地域を知り、体験し、人々と出会い成長する

国際・地域マネジメントコースは、地域の農業と環境に関わるグローバルな知識と確かな理解に基づいて、農林漁業やその関連産業の持続的な成長に貢献できる人材の育成を目指しています。「地域」は、ごく身近な近所付き合いから市町、県、全国…に至るまで、様々な範囲で捉えることができます。そして、「地域」にはそれぞれ個性があります。そのため、「地域」の問題を考えるには、まずその「地域」のことをよく知ることが大切です。そこで、私たちは実際に「地域」を訪れ、自分の目でよく見て学びます。学ぶ内容は、自然環境・社会・経済・文化など幅広く、そこで暮らす人々との交流を通じて学ぶことを特に大事にしています。このような考えから、本コースでは、国内外でのフィールドワークを重視した特徴ある教育プログラムを用意しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員(農林水産省、佐賀県庁、長崎県庁、熊本県庁、山口県庁)、団体職員(JAなど)、教諭(中学・高校) / 民間(アグリビジネス関連企業、金融機関(銀行など)、報道機関(新聞・放送)、農業(農業法人・自営))、NPO・NGO団体

〈進学先〉

大学院進学(佐賀大学大学院、九州大学大学院など)

カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)		
専門教育科目	インターフェース科目			
	学部基礎 ●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
	専門導入 ●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
専門科目	●国際・地域マネジメント入門 ●アジア地誌 ●農村地理学 ●農業市場流通学 ●群衆生態学 ●地域再生論 ●地域マネジメント論 ●園芸学 ●農業水利用学 ●人間開発論	●社会調査実習I・II ●フィールド科学基礎実習I・II ●環境社会学 ●国際地域調査法 ●国際関係学要説 ●栽培環境制御学 ●経済法I ●昆虫学 ●経営管理論 ●農業生産機械学 など	●生態人類学 ●農業ビジネスマネジメント学 ●比較農政学 ●開発経済論 ●農村環境計画学 ●農村と産業演習I・II ●環境と生活演習I・II ●実践語学 ●アジア・フィールドワーク ●民法IV-II	●インターンシップ S-L ●経営史 ●農村社会学 ●人口学 ●地域資源論 ●アグリビジネス論 ●協同組合論 ●環境法 ●干潟環境学 ●科学英語

授業紹介

国際地域調査法



農業や農村が抱える諸問題に取り組むために必要な調査技法や理論を学び、後期からの授業や卒業論で実際のフィールドワークに応用していきます。

農村社会学

地域社会の基礎構造について学び、フィールドワークの際に、その背景となる地域コミュニティの情報を多面的に捉える視点と方法を修得します。

農村と産業演習

農業経営の管理や成長に関わる多岐にわたる課題の中から具体的な問題を設定し、その解決に向け、グループワークによって情報の収集と分析、考察を行います。

教員紹介

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 辻 一成 教授
食農ビジネス開発学 | 藤村 美穂 教授
地域社会開発学 |
| 中井 信介 准教授
文化生態学 | 李 錦東 准教授
食農ビジネス開発学(国際交流推進センター兼任) |
| 稲井 啓之 講師
地域社会開発学 | チャン ティウトウイ 助教
食農ビジネス開発学 |
| 皆木 香渚子 助教
地域社会開発学 | |

コスメ分野を 学問として学び 未来につなげる。

School of Cosmetic Science

コスメティック サイエンス学環

先進健康科学研究科 先進健康科学専攻 健康機能分子科学コース

天野 由惟 佐賀県 三養基高等学校出身

本田 愛華 福岡県 城南高等学校出身

〈学環の特色〉

コスメティックサイエンスを専門に学べる国公立大学初の学環として、化学・生物学・皮膚科学・薬学・工学などを融合した学際的教育を展開します。理工学部や農学部など学部横断型の履修により、基礎から応用まで体系的に学び、幅広い知識と実践力を養成します。さらに、佐賀県のコスメティック構想を背景に、自治体・企業と連携した共同研究やインターンシップを実施。地域資源や未利用資源を活用した原料開発、製品化を見据えた実践的なプロジェクトにも取り組みます。経済的視点やデザイン発想も取り入れながら、多角的な視野と創造力を育み、化粧品業界をはじめ多様な分野で活躍できる人材を育成します。

■ 教育目的

コスメティックサイエンスの専門性を備え、開発・製造に貢献できる技術者を育成します。あわせて化学物質の安全管理を担う力と、産学官連携を通じてイノベーションを創出する学際的素養を養います。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 合格者インタビュー



化粧品に関する科学的根拠を専門的に学び、 人の外見だけでなく心にも寄り添う製品開発を目指して

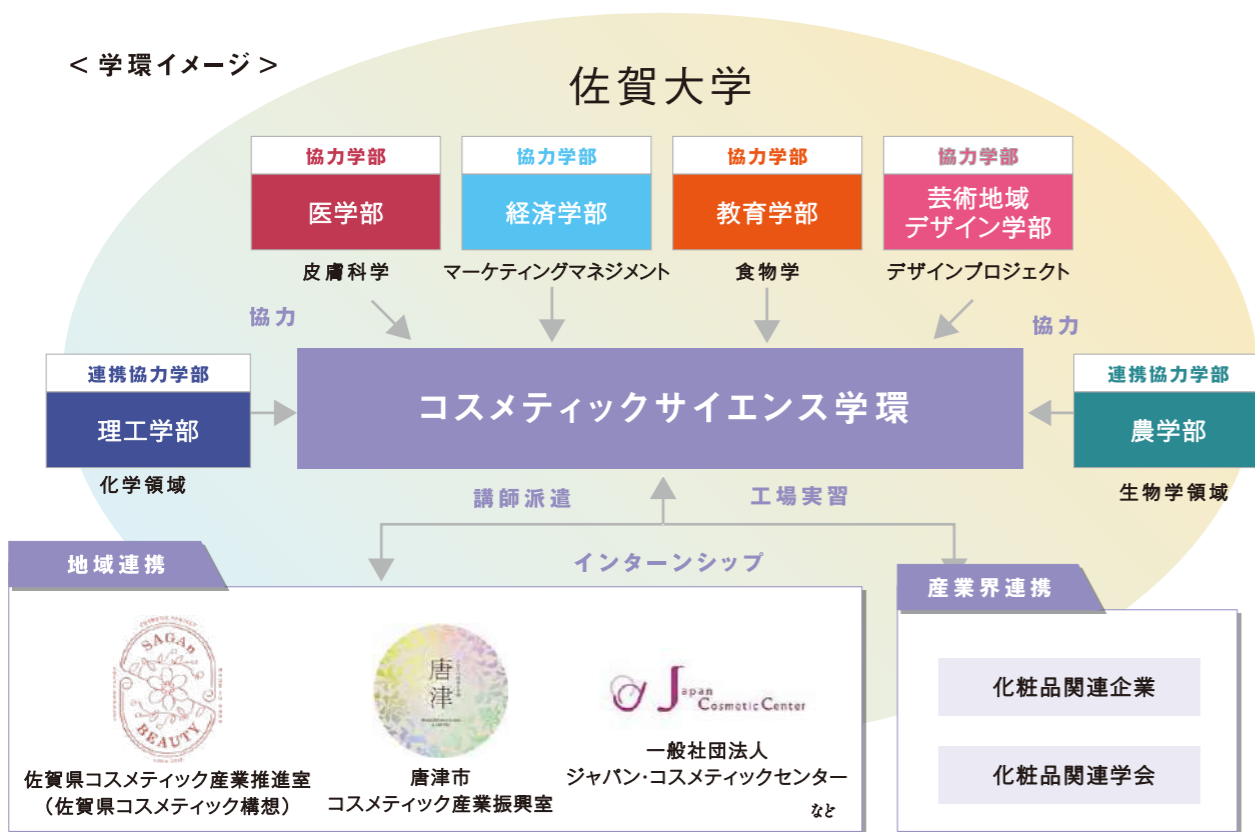
私は、白斑を経験したことで、化粧品には見た目を整えるだけでなく人の気持ちを前向きにする力があると実感し、化粧品開発に興味を持つようになりました。そこで、成分についてや皮膚・生体への影響など、化粧品に関する科学的根拠を専門的に学びたいと考えようになりました。化学や生物学、皮膚科学などを幅広く学びながら、地域の産業とも連携出来るコスメティックサイエンス学環は、自分の目標を実現するために最適な環境だと感じ、本学を志望しました。将来は、人の心にも良い影響を与えられる化粧品づくりに携わりたいです。

コスメティックサイエンス学環
井田 絢音 東京都 西高等学校出身

専門知識と技術を多方面から身につけ 業界にも地域にも貢献できる人材に

01 専門知識を6学部から学ぶ 佐賀大学ならではの学環

本学環は、日本の国立大学では日本初となる「コスメティックサイエンス」を本格的に学べる学環です。化学や生物などの基礎知識、皮膚科学や薬学の専門知識、研究・開発に必要な専門技術などを、佐賀大学の6学部から横断的に学びます。佐賀県や地域企業とも連携し、実践力や開発力を身につけていけるのも特徴です。



学際的人材を育成

理工学部と農学部が連携し、文系と理系の垣根を超え、両方の知見を併せ持つ人材育成を目指します。デザインやマーケティングを、同時に学べるのも大きなポイントです。文系×理系、専門性×社会性、理論×実践をバランスよく身につけ、多様化していく社会で活躍できる人材を育成します。



安心の指導・支援体制

皮膚科学・コスメの専門教授をはじめ、理工学部・農学部から選ばれた経験豊富な教授陣が一人ひとりと向き合い、指導にあたります。新設された学環ですが、学生の所属・身分は他学部と変わりません。必要に応じた学びとサポート体制を十分に整え、将来につながる専門的な学びと安心して送れる学生生活の両方を全力で支援します。



02 実習や体験型学習などの実践的な教育で 学生の成長を加速度的に促す

講義で知識を学ぶだけでなく、自分で考え、手を動かす実習や体験型の学びを重視しています。低学年のうちから実験やプロジェクト学習に参加し、「知っている」だけでなく「使いこなせる」力を育みます。失敗や成功を繰り返しながら、成長できる環境が整っています。



PBL授業 学生が主体的に取り組み、課題を発見・解決していくプロジェクト型の授業です。

香りの物語をデザインせよ

精油を調合し、「ひとつの物語を表現する香水」を完成させます。正解のない課題へのアプローチを考え、科学的な知識とともに、論理的思考力や表現力を養います。



水と油が織りなす不思議な世界を実感せよ

一見混ざり合わない水と油も、科学の力でなめらかに仕上がる=乳化します。その仕組みを実験的に探求し、境界を越えて新たな「かたち」を生み出す力を育てます。



03 専門知識を基盤に、学生のうちから 地域や企業と連携する貴重な体験を

佐賀県コスメティック産業推進室をはじめ、唐津市などの市町、一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター(JCC)などの企業と連携しながら、研究・製造に取り組んでいます。学生の研究力・開発力の向上を図るとともに、地元とのつながりを一層強くし、業界でも地元でも活躍できる人材育成を目指します。



産学連携・研究紹介

コスメティック原料開発に関する共同研究

唐津キャンパス内に開発室を設置。化粧品原料素材として有用な地産天然素材の探索を行い、試験的な原料製造に取り組んでいます。



化粧品科学共同研究講座

佐賀県が佐賀県産の化粧品有効成分や新しい技術開発をするために佐賀大学内に設置。新規化粧品有効成分の探索、研究に取り組んでいます。



研究機器紹介



皮膚機能測定装置(粘弾性、水分量など)

皮膚の弾力性や油分・水分量、pHを測定する装置です。主に皮膚科学・化粧品研究・医療・美容分野などで使用されます。



アミノ酸分析装置

角質細胞内のアミノ酸の測定は、保湿状態やバリア機能の指標となり、肌の健康評価に重要です。本機器はアミノ酸を一括測定が可能です。



示差走査熱量計(DSC)

化粧品中の油脂や乳化構造、角層脂質の相転移を解析し、安定性・塗布感・機能性を科学的に評価するために用いられます。

コスメティックサイエンス学環



詳細情報はこちら

生化学の知識と研究経験を
活かして人を幸せにする
製品を作りたい



生化学に興味があったので当時の理工学科生命化学コースに進学しましたが、もともと関心があった化粧品の研究室が設立されたことで、大学4年生から化粧品につながる研究に取り組むようになりました。皮膚科学に関する専門知識を深めると同時に、実験手法や分析機器の操作、データ解析の手法などを習得し、科学的根拠に基づいた化粧品の研究を行っています。佐賀大学は、研究室や学環の新設など新たな可能性がどんどん広がっており、どの分野でも将来の目標を広げられる環境が整っています。私も進学時は教員志望でしたが、研究室での学びを通して化粧品の奥深さを知り、化学・化粧品メーカーの研究開発職を目指すようになりました。新たな将来の目標が定まったことが、私の大きな成長だと感じています。

先進健康科学研究科 先進健康科学専攻
健康機能分子科学コース
本田 愛華 福岡県 城南高等学校出身

| コスメ業界からの期待の高まり |

佐賀市や唐津市では国内外のコスメ関連企業の進出が相次ぎ、雇用が拡大しています。佐賀県の「コスメティック構想」により企業は増加傾向にあり、将来はアジアの化粧品産業拠点化も期待されています。本学にも即戦力人材への期待が高まり、進路の充実が見込まれています。

| 大学によるキャリア支援の充実 |

佐賀大学では「ウェルビーイング創造センター」による就職ガイダンスや求人情報提供など、手厚い支援体制を整えています。本学環の学生も利用でき、コスメ関連企業への就職を見据えた支援も計画中です。インターンシップの単位認定や産学官連携による就職支援などを想定しています。

| 資格取得や進学の可能性 |

本学環では、将来の化粧品開発に役立つ資格(毒物劇物取扱責任者、化粧品総括製造販売者責任者申請資格)の取得が可能です。卒業後は就職に加え大学院進学への道もあり、先進健康科学、理工学、農学の各研究科で専門性を高め、化粧品関連の研究職を目指せます。

過去の実績

〈就職先〉

- 資生堂 ●コーセー ●ファンケル ●アルビオン ●マンダム ●クラシエホールディングス ●シャボン玉石けん ●三省製薬 ●キューサイ ●ブルーム ●東洋ビューティ ●岩瀬コスファ ●日油 ●阪本薬品工業 ●再春館製薬所 ●ミリオナ化粧品 ●タカラバイオ
- ※化粧品関連企業のみ

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院 ●九州大学大学院 ●東北大学大学院 ●筑波大学大学院 ●宮崎大学大学院 など
- ※関連学部(理工学部化学系及び農学部生命機能科学系分野)の進学実績

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目I					
	英語					
	基本教養科目					
	情報基礎概論					
専門教育科目	基礎科目	●物理学概説 ●化学概説 ●生物学概説 ●微積分学 ●線形代数学	●情報・統計学	●学術英語 ●化学物質演習 ●化学情報処理		
	理学系	●無機化学 ●物理化学 ●分析化学I	●分析化学II	●量子化学 ●溶液化学	●生物無機化学 ●有機機器分析化学 ●化学熱力学	
	コア科目	●コスメティックサイエンス概論	●有機化学I ●コスメティックサイエンスPBL ●生化学I	●有機化学II ●コスメティックサイエンス実験I ●コスメティックサイエンス実験I ●生化学II	●コスメティックサイエンス実験II ●天然物化学 ●皮膚科学	●機器分析学 ●コスメティックサイエンス実験III ●微生物学 ●コロイド・界面化学 ●コスメティックサイエンス実験IV ●生理学
	農学系		●植物資源学 ●植物生理学	●分子生物学 ●栄養化学 ●食品衛生学	●酵素化学 ●遺伝学 ●植物育種学	●卒業研究
	学環周辺科目	●コスメ文化論	●食物学	●分子薬理学 ●科学技術者倫理	●体内動態論 ●知的財産法 ●企業インターンシップS ●企業インターンシップL	●毒性学 ●マーケティングマネジメント ●デザインプロジェクト演習

授業紹介

コスメティックサイエンス概論

化学・生物学を基礎にコスメ科学を幅広く学び、QOLや安全性、肌トラブル予防や最新研究も理解する入門科目です。

コスメティックサイエンスPBL

成分調査や限られた素材での化粧品づくりにも挑む体験型授業。協働で課題解決に取り組み、創造力や問題解決力を養います。

コロイド・界面化学

クリームや乳液の使いやすさを科学的に解説。コロイドや界面、界面活性剤の働きを学び、化粧品や食品・医薬品に応用される仕組みを理解します。

分野紹介

天然資源化学分野

川口 真一 教授

植物などの天然から得られる成分を原料に使用し、有機化学的変換を経たのち、化粧品材料に利用可能な研究を行います。資源循環を目指した研究を行います。

化粧品科学分野

徳留 嘉寛 教授

皮膚科学の視点から、皮膚の構造や化粧品が皮膚の中に届く仕組みを深く学び、成分の機能性を確かめます。科学の力で未来のコスメを考え、創る力を育てます。

ナノ構造科学

櫻木 美菜 准教授

ナノサイズの分子の構造、材料の成分や働きを科学的に学び、皮膚から効率よく吸収される材料についての研究に繋がります。この知見をもとに、化粧品や医薬分野への応用を養います。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- 化粧品原料となる新規油剤の皮膚浸透性の評価と浸透機構の解明
- ナノ粒子化コラーゲンの皮膚浸透性とそのメカニズム
- 未利用植物素材を原料とした化粧品材料の開発
- 抗炎症作用を持つ新規分子の開発
- 化粧品に含まれるナイアシナミドの定量系の検討
- 化粧品の皮膚常在菌短鎖脂肪酸産生特性を使ったクラスターリング
- オルニチン含有人工抗菌ペプチドの酵素耐性評価
- アシル化リジンの非加水分解性アナログの合成
- 疎水性深共晶溶媒の分子間相互作用に対する単環式モノテルペノイドの構造効果
- コスモトロピック性水和深共晶溶媒の開発とタンパク質安定化メカニズムの解明

教員紹介

- 鯉川 雅之 教授 鋳体化学
- 北垣 浩志 教授 国際化粧品分析学
- 川口 真一 教授 グリーンサステイナブルケミストリー
- 櫻木 美菜 准教授 ナノ構造科学
- 辻田 忠志 教授 生化学
- 堀谷 正樹 教授 分光学
- 兒玉 宏樹 准教授 分析化学
- 松本 雄一 准教授 薬用植物学
- 長田 聡史 教授 生物有機化学
- 徳留 嘉寛 教授 化粧品科学
- 梅木 辰也 教授 溶液化学
- 古藤田 信博 教授 生物有機化学
- 成田 貴行 教授 機能物性化学
- 荒木 薫 准教授 小児科学
- 藤澤 知績 准教授 物理化学



大学院

- 学校教育学研究科
- 地域デザイン研究科
- 先進健康科学研究科
- 医学系研究科
- 理工学研究科
- 農学研究科
- 鹿児島大学大学院連合農学研究科



もっと深く、さらに専門的に。 自らの可能性と未来につながる学びを大学院で。

大学院は専門領域でのスペシャリストを養成する課程で、学生が自ら積極的に学び探究する姿勢が求められます。佐賀大学では、学部での学びを深め、さらに発展させるために、設備や専門的な教員を充実させ、しっかりと研究に集中できる環境づくりを行っています。専門領域が好きな学生や学びたい学生には絶好のチャンスであり、また、大学院で培った高度な研究能力や論理的思考力や研究成果は、学生が目指す将来の職業や進路に役立ちます。

「学士」「修士」「博士」の違い

博士 Doctor	3年間	大学院
修士 Master	2年間	
学士 Bachelor	4年間	

POINT

専門性の高い 職業に就きやすくなる

特に理系の技術職や研究職には、修士以上の学位が求められる場合があります。文系でも専門性を活かす仕事に就くことが可能です。

整った環境で 活動研究に没頭できる

文系理系に関わらず、整った環境や専門性の高い教員のもとで研究に没頭できます。同じ分野に専念する人と交流することで、より専門的な視点や思考を持つきっかけにもなります。

初任給が学部卒より 高い傾向がある

大学院での学びを通して培った専門性や論理的思考力や分析能力などが評価され、職種や業種によっては、学部卒業者より初任給が高く設定されている傾向があります。

理工学研究科と 農学研究科の高い進学率

佐賀大学でも、知識・技術を深めたいと考える学生が毎年大学院に進学しています。特に理工学部で約5割、農学部で約3割の学生が進学し、積極的に研究に取り組んでいます。

学校教育学研究科 [専門職学位課程]

学校教育学研究科は、教育委員会・学校と大学の連携・協働により「学び続ける教師」を育成するため、教員養成教育の改善・充実を図るべく、高度専門職業人養成として教員養成に特化した教職大学院(専門職学位課程)です。「教育実践探究専攻」の中に、授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コースの3つのコースがあります。それぞれのコースは、学力問題、多様な教育ニーズ、地域社会の変貌に応じた新たな学校づくりに対応したものです。現職教員、新規大学卒業者、社会人を対象に、教員としての資質・能力を総合的に高いレベルで育成し、各コースに応じて、特定の資質・能力を高め、地域の学校教育が抱えている課題を解決し、学校変革に貢献できる教員を育成することを目的としています。

先進健康科学研究科 [修士課程]

先進健康科学研究科は、健康科学分野における新時代の産業需要に対応する技術革新と、医療および看護を含む臨床現場での先端技術の総合的応用を目指しています。本研究科は、「先進健康科学専攻」を置いています。「先進健康科学専攻」は、生体医工学コース、健康機能分子科学コース、医科学コースおよび総合看護科学コースの4コースで構成され、他に例を見ない理工医農が有機的に連携する教育研究組織です。そこでは、健康科学領域における実践的な異分野融合体制により、最先端の専門知識と医療技術が幅広く提供され、従来踏み込めなかった未開拓領域における教育研究が可能になっています。その結果、専門分野に特化したプロフェッショナルな研究者に加えて、「橋渡し」機能も担える健康科学系の研究開発マネジメント人材や、幅広い専門知識と先端技術に対応できる新しいタイプの高度医療・看護人材を養成する「先進」性が期待されます。

理工学研究科 [博士前期課程]

「数学コース」「物理学コース」「データサイエンスコース」「知能情報工学コース」「機能材料化学コース」「機械工学コース」「電気電子工学コース」「都市基盤工学コース」「建築環境デザインコース」の9コースで構成され、創造性豊かな高度な人材を養成することをめざしています。専門分野ごとのコース制を採用することで、教育実施体制を柔軟に構築し、教育や研究指導において専門分野間の連携を容易に図ることができる環境を作り、専門分野の枠を超えた内容を自らのキャリアデザインに基づき自主的に学ぶことができます。

農学研究科 [修士課程]

農学研究科は、農学の専門分野における知識と技術を修得し、分野の枠を超えた知識及び考え方を取り入れた、創造性豊かな優れた研究者や技術者等の高度な人材を養成することを目的とします。本研究科は、「生物資源科学専攻」を置いています。「生物資源科学専攻」は、生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコースの4コースがあります。

地域デザイン研究科 [修士課程]

地域デザイン研究科は、芸術、フィールドデザイン、経済・経営の三方向からのアプローチにより、地域創生をリードできる高度な知識と実践的リサーチ能力を持つ職業人の養成を目的としています。「地域デザイン専攻」の中に、芸術デザインコースと地域マネジメントコースの2つのコースを置いています。フィールドデザインは、芸術と経済・経営という異分野を媒介し両者を総合する分野であるため、いずれのコースにも不可欠なものです。なお、本研究科において「フィールドデザイン」とは、従来の自然環境的、あるいは工学的なフィールドデザインではなく、芸術、文化財保護、都市地理学、都市デザインなどの知識とスキルを使って地域にあるさまざまな資源に芸術文化と経済・経営の光をあて、新たな資源の活用方法を見だし、地域の間(フィールド)をデザインしていくものです。

医学系研究科 [博士課程]

社会に応える研究者および高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療の向上に寄与することを目指しています。「博士課程医科学専攻」は、独創的研究活動を遂行できる研究能力と、その基礎となる豊かな学識と豊かな技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

理工学研究科 [博士後期課程]

理学および工学を主体とした融合領域を含む学問領域において、高度な専門的知識と論理的思考力を持ち、社会のグローバル化に対応でき、実践力に富む優れた人材を育成します。博士後期課程には「理工学専攻」があり、数理・情報サイエンスコース、機械・電気エネルギー工学コース、社会基盤・建築デザインコース、バイオ・マテリアルエンジニアリングコースの4コースに分かれます。

鹿児島大学大学院連合農学研究科 [博士課程]

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、佐賀大学の農学研究科、鹿児島大学の農林水産学研究所、琉球大学の農学研究科の3つの研究科の修士課程を母体として編成され、これらの研究科の綿密な連携のもとに運営されている新しいスタイルの博士課程大学院です。学生の研究指導は、学生1名について複数の大学から指導教員3名が担当することになっており、この点が連合大学院の大きな特徴と言えます。



ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門の取り組み



ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門では、『学生一人ひとりの希望に沿った就職・進路』に対してさまざまなサポートを行っています。満足いく就職活動を送るためにも、低学年時からさまざまなことにチャレンジし、社会で「働く」ことの意味を認識し、在学中に学んだ知識、抱いた関心から自分のキャリアデザインを明確化することが大切です。就職ガイダンス、合同企業・業界研究セミナー、キャリア・アクセラレーションプログラムなど、全学生が参加可能なプログラムを多く揃えています。また、さまざまな資格を持つ就職相談員を配置し、エントリーシートの添削や模擬面接、進路相談なども行っています。

就職相談

キャリアコンサルタント・社会保険労務士など、専門の相談員による就職相談・就職試験対策講座を実施しております。また、本庄キャンパス学生センター1階にキャリア支援部門窓口を設置しており、状況

に応じて適切な支援をおこなっております。どちらも所属・学年にかかわらずご利用いただけます。

豊富な情報提供

キャリアタスUC

キャリアタスUCは就職活動を強力にサポートするシステムです。企業から大学に寄せられる求人やインターンシップ情報を検索することができます。

さまざまな資料の閲覧

キャリア支援部門では、説明会やインターンシップ、就活イベント情報のチラシを掲示しております。また、日経新聞や就職統計の閲覧、就職活動関連書籍(教員・公務員試験対策図書を含む)の貸し出しも可能です。



Teams

キャリア支援部門公式Teamsでは、各業種や学部などに絞ったチャンネルで、お得な情報を発信しております。

就職支援プログラム

学生の志望に応じたさまざまな支援プログラムが実施されています。

合同企業・業界研究セミナー

学内最大級の説明会で、佐賀大学生に会いたい企業が集結し、企業の人事担当者から、企業情報や業界情報の説明を直接聞くことができます。

個別説明会

3月頃に、公務系(官公庁・独立行政法人等)の個別説明会を学内で実施しています。

就職ガイダンス

様々な目的に応じた幅広いジャンルのセミナーや講座・相談会などを各週水曜日に行っています。(職業適性診断・就活マナー講座・インターンシップガイダンスなど)

キャリア教育

年間スケジュール

1年生	2年生	3年生					4年生					
4~3月	4~3月	4~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3月	4~5月	6~7月	8月	9月	10~12月	1~3月
大学入門科目												
キャリアデザイン科目												
		インターンシップ										
		就職ガイダンスに参加する										
				自己解析を行う								
			業界研究(職種研究)・企業研究を行う									
							エントリーシート提出					
							会社説明会に参加する					
								採用試験(筆記試験・面接など)を受ける				
								内内定		内定		

大学入門科目

新入生に必要な学習及び生活に関するガイダンスに加えて、卒業生による講演などキャリアデザイン、就職意識の啓発、将来の仕事について考える機会として、正課の必修科目にキャリア教育が組み込まれています。

インターンシップ

インターンシップとは、学生が企業等で5日間以上、実際の仕事を体験しながら学びを深める機会です。学部によっては、要件を満たすインターンシップへの参加が、単位として認められることもあります。キャリア支援部門では、官公庁などが行うインターンシップの取りまとめを行っています。

SUPPORT

キャリア・アクセラレーションプログラム 実践的プログラムで社会人基礎力を高める

佐賀大学ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門が2021年度から取り組んでいる、正課外のキャリア教育プログラムです。参加企業から提供された実践的なプログラムに参加し、「語り合う」「一緒に創る」「経験する」といった体験を通して大学生らしいキャンパスライフの機会を提供するとともに、キャリアデザインを加速・促進します。5年間で累計152社9団体により183コースが提供され、のべ604名の学生が参加しました。



キャリアデザイン(基本教養科目)

佐賀県内外の企業等で実際に働く社会人のゲスト講師による講演や、グループワークなどを通して、キャリアデザインの必要性やキャリアオーナーシップを涵養するための授業です。

ライフデザインとセルフ・リーダーシップ(基本教養科目)

「夢」「恋愛」「友情」などのライフイベントについて、講義形式で学びながら自分自身で考え、自分の意見をほかの人に共有しながら、自身の将来を考えることを目標としている授業です。

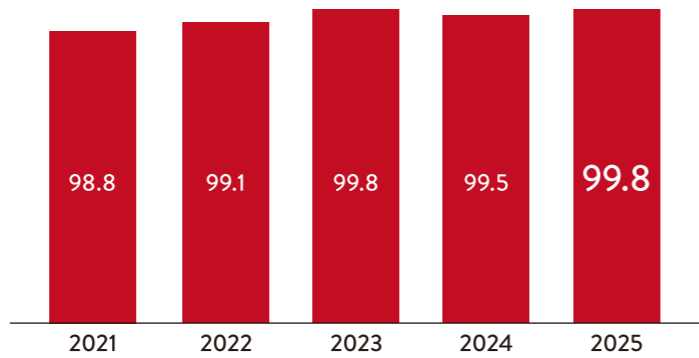




佐賀から全国へ、たくさんの学生たちが
さまざまな分野で活躍しています！

2025年度
学部生就職率

99.8%



大学(学部)卒業後の進路選択には、企業の就職、公務員や教員の採用試験、大学院への進学、海外留学などがあります。学生の多くが就職を希望する学部や、大学院進学を目指す学生が多い学部など、学部によって様々です。就職に関して言えば毎年、就職希望者のほとんどが就職を決めて全国各地で活躍しています。

■ 近年の学部別就職率

学部	2021	2022	2023	2024	2025
教育学部	100.0	100.0	100.0	99.1	98.2
芸術地域デザイン学部	95.7	92.9	100.0	100.0	100.0
経済学部	97.9	99.6	100.0	98.3	100.0
医学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
理工学部	100.0	100.0	99.6	100.0	100.0
農学部	98.1	100.0	98.8	100.0	100.0

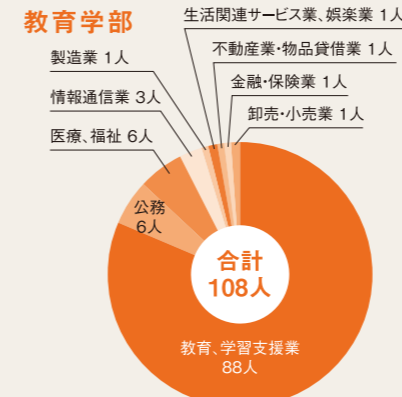
■ 卒業・修了者の進路 (2025年度) 学科・課程ごとの卒業・修了者の進路・就職先は、各学科・課程の紹介ページをご覧ください。

学部	卒業者	就職希望者		進学者	その他
		就職者	未就職者		
教育学部	124	108	2	8	6
芸術地域デザイン学部	117	94	0	13	10
経済学部	246	227	0	2	17
医学部	151	136	0	2	13
理工学部	470	224	0	230	16
農学部	145	87	0	54	4
合計	1253	876	2	309	66

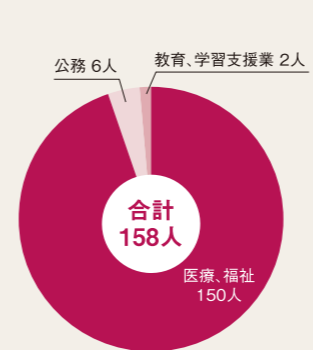
大学院	修了者	就職希望者		進学者	その他
		就職者	未就職者		
学校教育学研究科	19	8	0	0	11
地域デザイン研究科	20	12	0	1	7
医学系研究科(博士)	10	5	0	0	5
理工学研究科(博士前期)	188	165	0	15	8
理工学研究科(博士後期)	17	9	0	1	7
先進健康科学研究科	53	39	0	7	7
工学系研究科(博士後期)	1	-	-	-	-
農学研究科	38	30	0	5	3
合計	346	268	0	29	48

※「その他」は社会人、帰国した留学生、公務員・教員の再受験希望者、進学準備中の者、専門学校等への入学者、科目等履修生・研究生、家事手伝い・主婦、就職意思がない者(一時的な仕事に就いた者を含む)を計上。
※改組に伴い、修了者数が逓減している研究科については、個人が特定される恐れがあることから就職状況の内訳は公表しておりません。

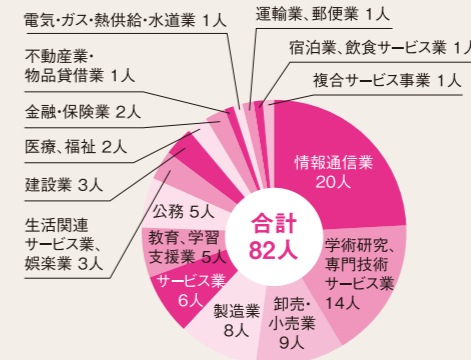
産業別就職状況 (2024年度)



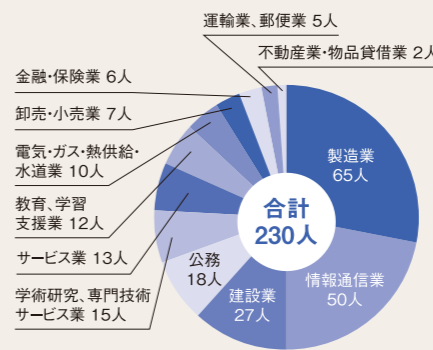
医学部



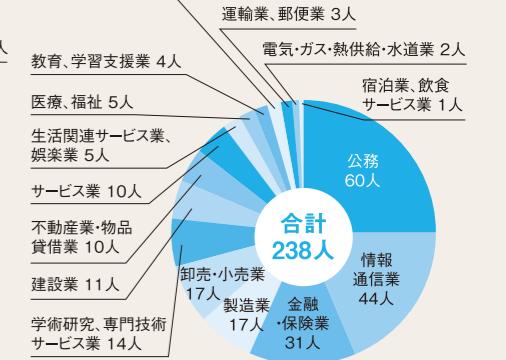
芸術地域デザイン学部



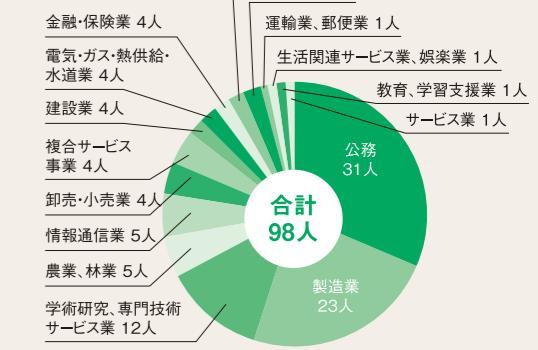
理工学部



経済学部

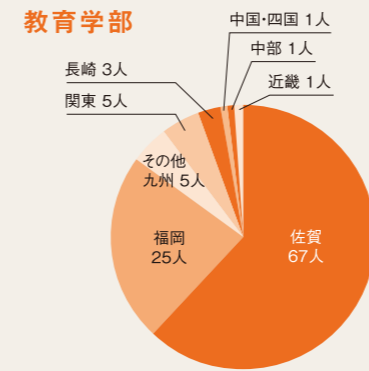


農学部

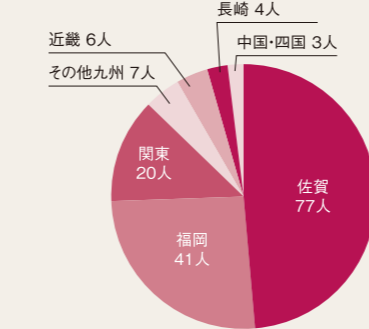


※2025年5月現在の集計結果

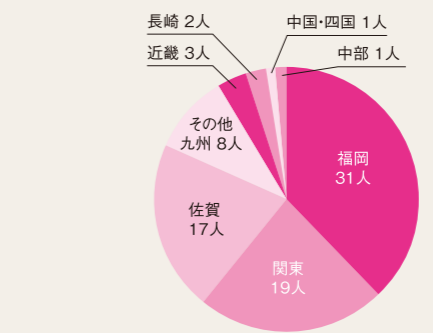
地域別就職状況 (2024年度)



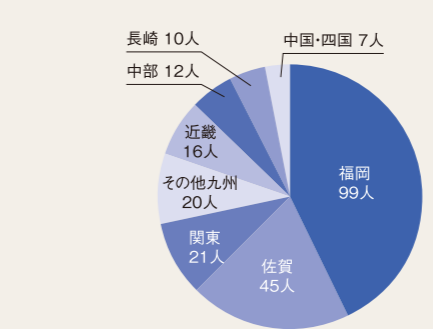
医学部



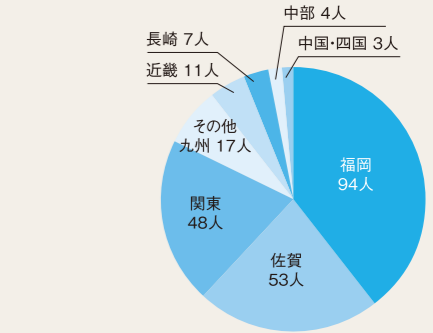
芸術地域デザイン学部



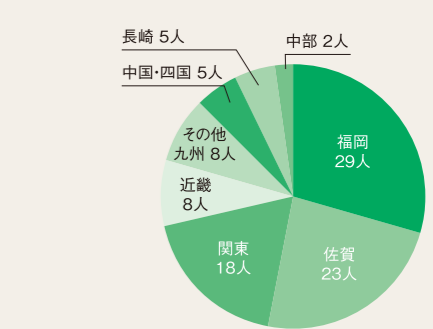
理工学部



経済学部



農学部



※「理工学部」は、学部・学科改組前のデータを含む。

大学生活をより充実させるために、まずはお金のことを知りましょう。

大学に通ううえで、とても大切なお金のこと。授業料免除制度や奨学金制度についてや自宅通学と一人暮らしの違いについてなど、事前に調べておくことは、これからの大学生活をより充実させるためにとても重要です。

● 学費と奨学金制度

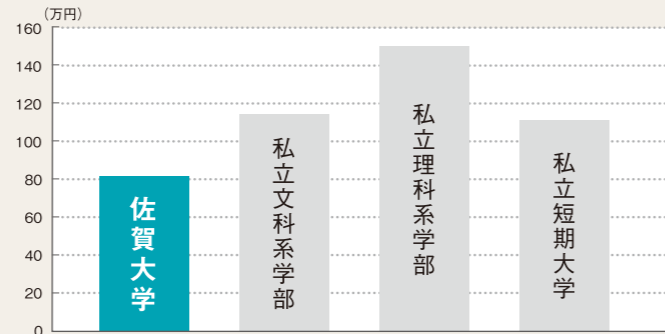
学費の初年度納付金はこれだけ違う

佐賀大学の初年度納付金

817,800円

(入学金:282,000円、授業料:535,800円)

国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文科系で約37万円、理科系で約75万円(医歯系は、約407万円)の開きがあります。



(資料)「2021年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額 (定員1人あたりの調査結果)より作成

● 入学料・授業料免除制度 本学では、入学料・授業料の免除について、2つの制度があります。

(1) 高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除制度

日本人学部生で、日本学生支援機構の給付奨学生として認定を受けている学生は、入学料・授業料について、支援区分毎に支援を受けることができます。
 ・全額免除～第1区分、第1区分(多子世帯)、第2区分(多子世帯)、第3区分(多子世帯)、多子世帯区分
 ・2/3免除～第2区分
 ・1/3免除～第3区分

高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除者数 2025年度実績

区分	入学料免除	授業料免除	
		前期	後期
全額免除	421	1,337	1,322
2/3免除	36	129	129
1/3免除	30	92	85
計	487	1,558	1,536

(2) 佐賀大学独自の入学料免除／徴収猶予・授業料免除制度

佐賀大学独自の入学料・授業料免除は、原則大学院生を対象とした制度です。入学料徴収猶予に関しては、学部生を含む全学生を対象としています。本制度の申請資格に該当する者を対象として、本人の申請に基づき選考を行い、入学料免除・授業料免除(全額免除、半額免除)又は入学料徴収猶予を行います。

● 奨学金制度

新しい修学支援制度

住民税非課税世帯・準ずる世帯・多子世帯の学生に対して、(1)+(2)の支援

- (1) 授業料減額又は免除 54万円(上限額)
- (2) 返済不要の給付型奨学金を支給 約80万円(自宅外通学の場合の上限額)

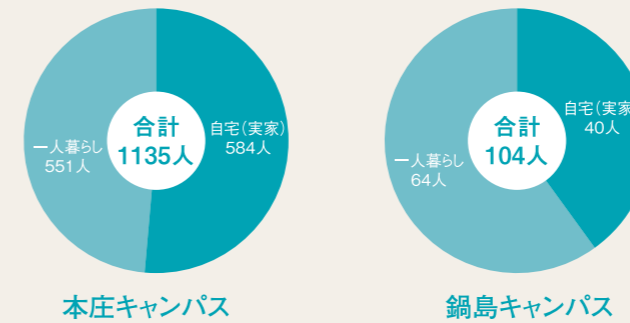
詳しくは、文部科学省ホームページ
 「高等教育の修学支援新制度」をご確認ください。
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

奨学金受給者数 2025年度実績

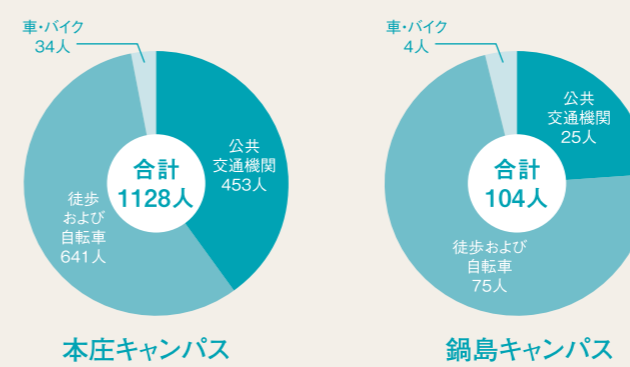
区分	日本学生支援機構			
	第一種	第二種	給付	合計
教育学部	114	102	159	375
芸術地域デザイン学部	94	88	138	320
経済学部	257	207	333	797
医学部	129	119	199	447
理工学部	493	352	632	1,477
農学部	134	104	209	447
合計	1,221	972	1,670	3,863

● 佐賀大生の生活 (2020年度新入生アンケート調査より)

住まいについて



通学について



通学に必要な費用および各駅の始発と終電

※2025年4月調べ

経路	手段	料金(1か月)	時間	始発[平日]	最終[平日] 佐賀駅発
博多～佐賀	JR(普通)	15,950円	1時間20分	5:13	22:59
	JR(特急)	36,190円	約35分	6:00	23:03
天神～佐賀	バス	26,640円	1時間20分	6:30	21:20
鳥栖～佐賀	JR(普通)	10,630円	27分	6:06	22:59
	JR(特急)	20,240円	16分	6:22	23:03
二日市～佐賀	JR(普通)	12,370円	53分	5:38	22:59
久留米～佐賀	JR(普通)	11,260円	38分	5:53	22:59

※料金は、学割適用価格です。特急はエクセルバスを使用した場合の金額です。
 ※上記データは、あくまでも参考データであるため、正確な情報を知りたい場合は、JR等にご確認ください。

一人暮らしについて

アパート等の紹介

佐賀市にはアパート等の斡旋業者がたくさんありますが、佐賀大生生活協同組合でも学生向けアパートの紹介および斡旋を行っています。

実際に決めた部屋代と管理費合計の平均金額

アパート	37,700円
マンション	49,200円

部屋を決めるときに気をつけたことや希望条件

大学に近い	92.1%
部屋代	73.7%
生活に便利	65.8%
間取り	57.9%
ネット回線	55.3%
日当たりや風通し	55.3%

※2020年度保護者に聞く新入生調査(大学生協連実施)より

● 生活費

自宅生

収入		支出	
小遣い	7,730円	食費	8,070円
奨学金	16,700円	住居費	960円
アルバイト	32,740円	交通費	6,680円
定職	490円	教養娯楽費	8,910円
その他	1,530円	書籍費	2,080円
		勉学費	2,700円
		日常費	5,180円
		電話代	2,340円
		その他	1,890円
		貯金・繰越	19,730円
収入合計	59,190円	支出合計	58,540円

一人暮らし

収入		支出	
仕送り	50,690円	食費	22,500円
奨学金	25,100円	住居費	47,140円
アルバイト	29,680円	交通費	1,750円
定職	360円	教養娯楽費	10,290円
その他	4,870円	書籍費	1,290円
		勉学費	2,470円
		日常費	7,570円
		電話代	3,350円
		その他	2,310円
		貯金・繰越	11,460円
収入合計	110,700円	支出合計	110,130円

※2020年学生生活実態調査(大学生協連実施)より

JR佐賀駅から自転車を利用する場合

JRを利用する学生の多くが、JR佐賀駅周辺の市営の駐輪場(有料:1か月1,040円)に自転車を置いて通学に利用しています。自転車は、キャンパス内の移動にも便利です。

JR佐賀駅からバスを利用する場合

佐賀駅から各キャンパスまではバスも利用できます。本庄キャンパスまでは約15分(200円)、鍋島キャンパスまでは約26分(320円)かかります。ただし、渋滞で遅れたり、雨の日には利用者が多くなる場合があります。



学生寮[楠葉寮]について

詳しくはこちら

項目	概要
収容定員	男子100名 女子50名(空き部屋に応じて入寮者を募集)
費用	月額5,300円(共益費込)。光熱水料で7,000円程度(変動)を自己負担
部屋の形態	洋式個室(約6畳)。各部屋には、ベッド、整理箱、机、椅子、本棚が設置 風呂およびトイレは共同。各階に、補食室、洗面所、洗濯室、トイレあり
入寮期間	原則として2年間
入寮条件	健康かつ自宅からの片道通学時間が公共交通機関で90分以上かかる人 上記該当者で家庭状況および経済状況を勘案して入寮者を決定
場所	本庄キャンパス内

※記載の費用等は、今後見直しを行う可能性があります。

悩みや不安があるときは、まずは相談。さまざまな窓口をご用意しています。

大学生活は、自分の勉強したいこと、やりたいことを自由に行うことができます。その反面、自分の居場所が見つからなかったり、自分のやりたいことと現実のギャップに悩んだりすることがあるかもしれません。そんなときは、一人で悩まずに相談窓口にご相談ください。

主な相談内容

■ 学生生活について

授業がわからない、ゼミで浮いている、サークルになじめない、ハラスメントを受けている、相談するところがない。

■ 人間関係について

友人との関係がうまくいかない、恋愛のことで悩んでいる、コミュニケーションができない。

■ 生活環境について

アルバイトがうまくいかない、経済的に困っている、家族との関係がうまくいかない。

■ その他

詐欺にあった、交通事故にあった、不審者に付きまとわれている。性別違和のことについて。

■ 進路について

就職活動をどうすればよいかわからない、自分の進路を決めきれない、社会に出るのが不安。

相談項目

■ 学生なんでも相談窓口

キャンパスライフにおけるあらゆる疑問や悩み、困っていることの内容に応じて、より適切な解決法や相談員(学内外の関係者)を紹介しします。

■ チューター(担任)制度

修学、進路選択、心身の健康などの問題について相談役となり、学生が充実したキャンパスライフを送るための支援を目的とした、各学部教員によるチューター(担任)制度があります。アドバイスが必要な場合は、気軽に相談してみてください。

■ 学生カウンセラー相談窓口

学生の皆さんの心や身体の相談や悩み、困っていることなどを直接、カウンセラー(臨床心理士)に相談できます。

■ ウェルビーイング創造センター 学修支援部門

悩みを抱えている、障害や病気を持つ等の修学に困難を抱えた学生の大学生活を専門のスタッフが集中的にサポートしています。安心して充実した大学生活を送れるように、悩みや問題を解決していくために一緒に考えます。

■ 身体・精神面の健康上の相談

保健管理センターの学生相談室は「学生の身体・精神面の健康上の問題」について個人的に相談できます。

■ キャンパス・ソーシャルワーカー制度

何らかの理由で大学の講義等に出席できない学生及び特別な支援が必要な学生を支援するために様々な悩みを聞き、チューターやゼミの先生に橋渡しています。その後も担当の先生と連携しながら一緒に問題解決できるようサポートします。

PEER SUPPORT

学生アドバイザー

■ 新入生アドバイザー

新入生が入学して感じる疑問について、新入生アドバイザーが相談に応じます。「履修の仕方がわからない」「おもしろい授業を教えてほしい」「建物がわからない」など気軽に相談することができます。

■ 学習アドバイザー

授業でわからなかった点、自学自習のポイント、学習方法に関する悩みや疑問など学習上のさまざまな悩みや疑問について学習アドバイザー(大学院生)が相談に応じます。

■ ノートテイク

支援を希望する聴覚障害学生等に対し、ノートテイク等のサポートを準備します。



大学内で福利厚生面でサポートする佐賀大学生生活協同組合

佐賀大学には、大学生協があります。1963年に当時の佐賀大学の学生と教職員が学内の福利厚生の充実のため設立しました。大学生協は、食堂・購買・書籍等の取り扱いのほか、アパートの斡旋や管理、受託共済業務を行っています。近年は、TOEIC®などの学びや公務員試験対策、教員採用試験対策の就職支援の事業にも力を入れています。合格者によるサポーター制度などにより合格者も増加しています。食事面では、栄養バランスが偏りがちな大学生にきちんと食べて学んでいただきたい目的で「ミールカード」システムを導入して好評をいただいています。自動車学校の組合員割引などのサービスも充実しています。佐賀大学のIC学生証生協電子マネーで食事や買い物ができます。

学びのサポート

学内でTOEIC®学習スタート講座を実施するなど英語に関するサポートをしています。就職支援事業として、大学公認の公務員試験対策講座や教員採用試験対策講座などを実施しています。合格を決めた先輩たちが後輩へアドバイスをするサポーター制度が確立し継続しています。



公務員試験対策講座



先輩サポーターとの勉強会の様子



専門書・就活書の品揃え(大学会館店)



TOEIC®学習スタート講座



経済学部 経済法学科
豊田 直大
内定先: 法務省(国家総合職)

入学時のお部屋探しから、日々の食事、公務員試験対策講座まで生協にお世話になりました!

入学前の住まい探しや共済加入から、日々の食事まで大学生協には大学生活のすべての場面で世話になりました。住まいや共済、学内講座等はすべての窓口が学内にあるため、不安な事や困りごとをすぐに解決してくれました。特にお世話になった公務員試験対策講座では合格された先輩が窓口で常駐しており、わからない問題や不安な事の相談にすぐに乗ってくれたことで充実した学びにつながりました。また、書籍も10%ポイント還元されるため教科書購入の際にはとても助かりました。組合員に特化しているからこそ、すべての学生生活シーンにおいて必要なサービスが受けられます。皆さんも生協を活用して、学生生活を楽しんでください!

食のサポート

佐賀大生の「食」は大学生協食堂とミールカードにおまかせください。

大学生協では、バランスが取れて安全で安心な食事を3食ご利用いただけます。ミールカードは、大学生協オリジナル「食堂年間利用定期券」です。

ミールカード6つのポイント

- 食費を1年分確保できるから 手持ちがなくても大丈夫!
- 豊富なメニューで 健康的な食事をサポート!
- ライフスタイルに合わせて 3つのプランをご用意!
- ご利用履歴がアプリで確認できる!
- お会計はキャッシュレス! 大学生協アプリや学生証でお会計が可能!
- お急ぎの方向けに テイクアウトメニューも充実!



サバの味噌煮 253円
さっぱり揚げ出し茄子 99円
冷奴 77円
ライス小 143円
豚汁 110円



坦々麺 550円



ネギトロ丼 583円

※上記価格は、2026年4月時点での価格です。※上記価格は、消費税10%を含みます。



CAMPUS LIFE

さあ、一緒に楽しもう! 「だからこそ」がいろいろの
佐賀大キャンパスライフ

大学生活ってどんな感じ?先輩たちはどんな毎日を送ってるの?
あなたの毎日がもっと楽しくなる、佐賀大学でのキャンパスライフをご紹介します。

Sadai PHOTO GALLERY

Webサイトでも
ご覧いただけます

CAMPUS CALENDAR 年間を通して、楽しいイベントが盛り沢山!

<p>4 April</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学式 新入学生健康診断 学部オリエンテーション 学友会紹介 サークル紹介 前学期開講 在学生定期健康診断 <p>5 May</p> <p>6 June</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜要項発表[下旬] <p>7 July</p> <ul style="list-style-type: none"> 前学期定期試験 	<p>8 August</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合型選抜I 教育学部/芸術地域デザイン学部 学生募集要項 発表[上旬] 夏季休業 <p>9 September</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校推薦型選抜・帰国生徒選抜 学生募集要項 発表[中旬] 総合型選抜I 学生募集要項 発表[中旬] 総合型選抜II 学生募集要項 発表[中旬] <p>10 October</p> <ul style="list-style-type: none"> 後学期開講 解剖体慰霊式<医学部> 大学祭<本庄キャンパス> <p>11 November</p>	<p>12 December</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般選抜 学生募集要項 発表[上旬] 冬季休業 <p>1 January</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学入学共通テスト <p>2 February</p> <ul style="list-style-type: none"> 後学期定期試験 一般選抜<前期日程> <p>3 March</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般選抜<後期日程> 学位記授与式
---	---	--

佐賀大生の生活

STUDENTS LIFE



勉強に、アルバイトに、趣味に
毎日が充実しています。

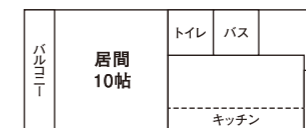
理工学部 理工学科 都市基盤工学コース
石井 大誠 大分県 佐伯鶴城高等学校出身

佐賀大学には学科一括入試制度があったこと、立地に恵まれ利便性もいことから志望しました。一人暮らしの中で、生活続ける生命力や日々の家事力が向上したと思います。アルバイト、野球、釣りなども楽しんでいます。佐賀は都会の喧騒とは異なる静かな環境で、道が平坦で徒歩でも自転車でも動きやすいのが魅力です。将来は、社会の基盤となるインフラを支える仕事に就きたいと考えています。

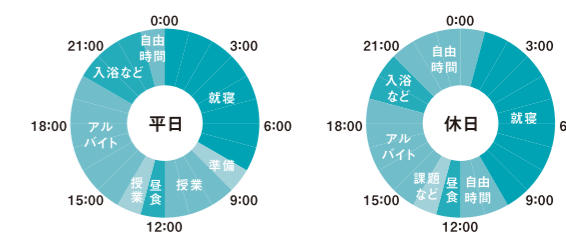
Q. 1か月の生活費は平均いくらぐらい?

[収入]		[支出]	
アルバイト	70,000円	家賃	40,000円
仕送り	40,000円	食費	30,000円
		交際費	20,000円
		貯金	20,000円
合計	約110,000円	合計	約110,000円

Q. お部屋の間取りはどんな感じ?



Q. 平日と休日の過ごし方は?



大学まで徒歩圏内。近くに
佐賀城跡もあり、いい環境です。

農学部 生物資源科学科 食資源環境科学コース
近藤 希美 福岡県 東筑高等学校出身

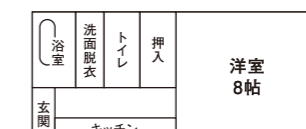
佐賀大学は、先生方が就職や学生生活の悩みにも親身になってくださるのがいいところです。周辺環境にも恵まれ、佐賀城跡のお堀では気持ちよく散歩ができます。一人暮らしは自由に過ごせる反面、授業やアルバイトと家事の両立は大変ですが、そんな中で、スケジュール管理力は身についたと思います。将来は農業の土台を支える国家公務員になり、大学生生活をサポートしてくれた親に恩返しをしたいです。



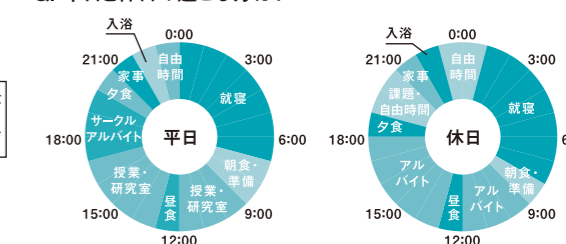
Q. 1か月の生活費は平均いくらぐらい?

[収入]		[支出]	
アルバイト	50,000円	家賃	41,000円
仕送り	70,000円	光熱費	12,000円
		食費	15,000円
		日用品	7,000円
		交際費	15,000円
合計	約120,000円	貯金	30,000円
		合計	約120,000円

Q. お部屋の間取りはどんな感じ?



Q. 平日と休日の過ごし方は?



SADAI CIRCLE & CLUB

佐賀大学のクラブ&サークル

“好き”から始まる、もうひとつの大学生活。

佐賀大学には、スポーツや文化、ボランティア、専門分野の研究会など、さまざまなクラブ・サークルがあり、学生が主体となって運営しています。

そこは新しい友だちに出会い、新しい自分を見つける場所。

仲間と目標に向かって過ごす時間は、あなたにとって大学生活がかけがえのないものになるはずです。



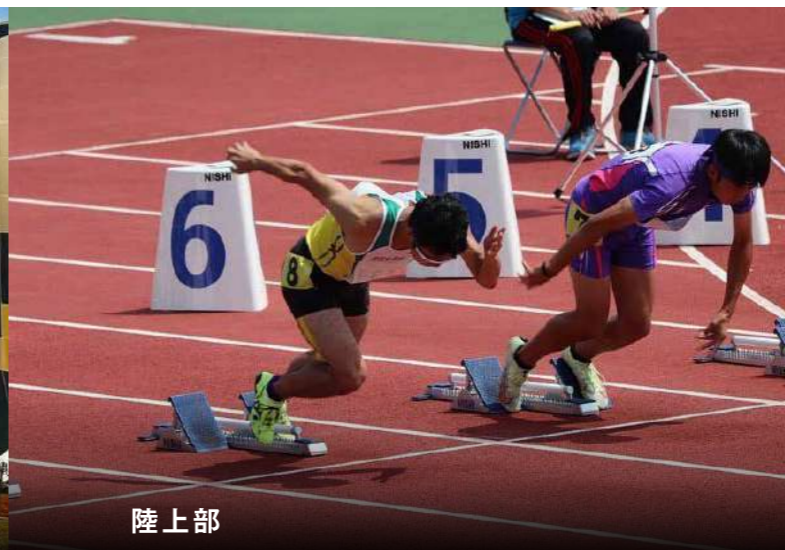
男子サッカー部



アメリカンフットボール部



熱気球部



陸上部



弓道部



硬式野球部



女子バレーボール部



嵐舞



演劇部



軽音楽部

▶本庄キャンパス

■統括団体(2団体)

学友会(文化協議会・体育協議会・ボランティア協議会)／大学祭中央実行委員会

■文化系団体(22団体)

アカベラサークルScore!!
アニメーション研究会
囲碁・将棋部
演劇サークルdrama!!
FMメディア研究会
管弦楽団
クラシックギターハーモニー
Green-Nexus
K-net
軽音楽サークルCLOVER
混声合唱団コーロカンフォーラ
コンピュータ研究会
茶道部

写真部

佐賀大学JAZZ研究会
吹奏楽団
フォークソング研究会
文芸部
ボイ撮り
漫画研究会
航空研究会
ロボット研究会Ro.T.U.S.

■体育系団体(34団体)

合気道部／アイスホッケー部
アメリカンフットボール部
エアライフル射撃部

空手道部／S.U.Dfamily

弓道部／剣道部
硬式野球部／サイクリング部
硬式庭球部／男子サッカー部
女子サッカー部／自動車部
柔道部／準硬式野球部／少林寺拳法部
水泳部／スキー部／ソフトテニス部
卓球部／探検部／トライアスロン部
熱気球部／男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
バドミントン部／男子バレーボール部
女子バレーボール部
男子ハンドボール部
Fantasista(フットサル部)

ラグビー部／嵐舞／陸上競技部

■ボランティア団体(8団体)

有明会
ぞうさんのwa
佐賀県学生献血推進協議会(ちっち)
Sharearth
ルート佐大
佐賀学生スーパーネット
佐賀環境フォーラム環境教育班えこい
るびなす

▶鍋島キャンパス

■学生自治団体等(4団体)

学生自治会／学生団体統括委員会／医学科国試対策委員会／看護学科国試対策委員会

■文化系団体(20団体)

混声合唱部
現代音楽倶楽部
音楽鑑賞部
美術部
軽音楽部
茶道部
天文学部
室内楽部
漢方研究会
SILS(ACLSサークル)

写真部

IFMSA-Saga(国際医学生連盟佐賀支部)
USGOS(ウスゴス)
Happiness
ほびろほびろ
勉部
演劇部
SCS(学生地域交流の会)
佐賀大学医学部学生広報シナプス
臨床推論サークル

■体育系団体(21団体)

硬式テニス部
漕艇部
卓球部
準硬式野球部
空手部
バスケットボール部
剣道部
サッカー部
ラグビー部
バドミントン部
水泳部

バレーボール部

ヨット部
弓道部
陸上競技部
ビリヤード部
チアリーディング部
フットサル部
ソフトボール部
ダンスサークル On fleek
ビックルボール部

活動実績

▶本庄キャンパス PICK UP

女子バレーボール部



佐賀大学女子バレー部は現在10名で、九州一部リーグ中位を目標に週5日練習中。少人数でも仲の良さは抜群!選手もマネージャーも大歓迎です。一緒に充実した大学生活を送りませんか?

〈主な活動実績〉
九州1部リーグ所属、2024年天皇后杯 準優勝

男子サッカー部



明るく活気ある雰囲気の中、仲間と支え合い本気でサッカーに打ち込めます。競技力だけでなく人としても成長できる環境です。サッカー好き大歓迎!大学生活を充実させましょう。

〈主な活動実績〉
2025年九州大学サッカーリーグ2部3位、2023年天皇杯全日本サッカー選手権大会県予選決勝進出、サガン鳥栖(Jリーグ)との練習試合あり

トライアスロン部



練習は自由参加で、トライアスロン大会のほかマラソンなどにも出場!楽しく活動しています。部員の多くが大学からのスタートなので、ぜひ一緒に挑戦しましょう!

〈主な活動実績〉
天草トライアスロン2025九州九州ブロック選手権10位・男子8位、西日本インカレ2025九州・沖縄選手権 男子2位・4位 女子3位、インカレ2025 女子20位、国スポ2025 女子27位、日本選手権2025 女子34位、その他多数入賞

硬式野球部



リーグ戦では全力で熱くなれます。活動は週3回で、勉強やアルバイトとも両立可能。先輩や他学部との交流で視野も広がります。佐賀大学硬式野球部と一緒に野球を楽しみましょう!

〈主な活動実績〉
九州地区大学野球連盟 2部リーグ、2025年秋リーグ戦 第3位

熱気球部



操縦や整備、運営まで学生主体で行い、達成感と責任感を味わえます。佐賀の魅力である熱気球で、バルーンフェスタにも参加!一緒にフライトしましょう。

〈主な活動実績〉
2025佐賀国際バルーンフェスタ出場、第29回全日本学生選手権総合3位

よさこいサークル嵐舞



鮮やかな衣装で鳴子を手に踊ると最高に楽しい!受験で大変な皆さんを嵐舞一同応援しています。佐賀大学に入学したら一緒に踊り、最高の大学生活を送りましょう!

〈主な活動実績〉
かごしま春祭大ハンヤ祭り(YEG決勝進出)、黒崎よさこい祭り、栄の国祭り(2025年準大賞)、その他多数出演

佐賀大学管弦楽団



演奏会前は音楽と真剣に向き合い、普段は学年を超えて和気あいあいと活動中。初心者から始めた団員も多数!大勢で一つの音楽を創る感動を一緒に体験しませんか?

〈主な活動実績〉
第43回サマーコンサート開催、第67回定期演奏会開催、佐賀市内公民館・教育機関での訪問演奏

佐賀県学生 献血推進協議会〜ちっち〜



毎週の集まりでは、お菓子を食べながら和気あいあいと活動しています!楽しくボランティア活動ができてとても充実しています!

〈主な活動実績〉
日本赤十字社全色有功章受賞、学内献血、九州ブロック合同研修合宿、全国学推、九州命のルーキャンペーン、クリスマスキャンペーン(基山ふれあいフェスタ・ゆめタウン佐賀・プレスボ鳥栖)、宣伝のためのさがテレビ出演

ぞうさんのWa



全員が教員志望のサークルです。子どもと遊び、イベントの企画運営にも参加しながら、楽しんで子ども理解や支援力を高め、教職への力を身につけています。

〈主な活動実績〉
SAGA2024国スポ・全障スポ「学校訪問2024」、玄海町教育委員会「玄海町通学合宿」支援スタッフ、サガン鳥栖「佐賀大学親子ふれあい運動遊び教室」企画運営、佐賀大学ぞうさんのWa「子ども遊び教室WaZキッズ」企画運営

▶鍋島キャンパス PICK UP

陸上部



プレイヤー・マネージャーともに経験に関わらず募集しています!自分のペースでできる居心地の良さが売りです

〈主な活動実績〉
西日本医科学生大会女子総合優勝

準硬式野球部



雰囲気も明るく、活気のある部活です。マネージャーさん達も多く、プレイヤーだけではなくマネージャーも大歓迎致しますので、たくさんの入部お待ちしております!

〈主な活動実績〉
第76.77回西日本医科学生総合体育大会準硬式野球部部門 優勝、第59回全日本医科学生体育大会王座決定戦出場、第64回九州・山口医科学生体育大会 優勝

弓道部



現役部員の殆どが大学から弓道を始めている初心者に優しい部活です。皆さんと弓を引ける日を心待ちにしております!

〈主な活動実績〉
西医体男子女子総合9位

チアリーディング部



部員はみんな初心者なので、自信がなくても大丈夫!練習も週2回でバイトとの両立が可能で、他の部活と兼部もOK!可愛いチア服を着て、私たちと一緒に楽しい思い出を作りませんか?みなさんにお会い出来るのを楽しみにしています!

〈主な活動実績〉
医大祭、佐賀大学同窓会フェス、引退ステージでの演技

軽音楽部



部活に打ち込みたい人はたくさん活動でき、勉強やバイトと両立したい人は部活をセーブすることもでき、自分に合ったペースで活動できます!音楽が好きな仲間と、自分が好きな音楽に打ち込める楽しい部活です!

〈主な活動実績〉
定期演奏会、特別支援学校への訪問演奏など

佐賀大学医学部 演劇部 劇団C.B.B



未経験者大歓迎!ステージに立って普段の自分と異なる人物になる喜び、観客を楽しませる喜びは誰もが味わえます!

〈主な活動実績〉
佐賀県医療センター好生館主催 県民公開講座「正しく知ろう糖尿病～健やかな未来への第一歩～」にて寸劇の上演、アバンセホールにて令和7年度本公演「海を眺めて」上演



文武両道で挑み、仲間とともに成長する最高の4年間へ

教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース
前田稜太 内定先:ギラヴァンツ北九州(Jリーグ所属)

私が4年間所属していた男子サッカー部は、勉強とサッカーを両立しながら、高い目標に向かって切磋琢磨できる環境でした。また、佐賀大学にはサッカー部以外にも主体的に高い目標に向かって活動するサークルが多くあります。みなさんも、サークル活動を通して、スポーツの技量はもちろん、人として大きく成長してみませんか?



2027年度 学校推薦型選抜I・II/佐賀県推薦入学 出願資格・選抜方法

2027年度入学者選抜概要

出願資格 出願要件 (全学部)	学部・学科・コース等				方式	募集人員	共テ	出願要件	提出書類	段階	試験				その他要件等
	試験方法	出願期間	試験日	合格発表日											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2027年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2027年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2027年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長(※)が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)~(3)の学校長を示す	共同教員養成課程	教育学部	小中連携教育コース 小学校教育主専攻	学校推薦型選抜I [佐賀県枠]	10	×	(1) 佐賀県内の高等学校を2027年3月に卒業見込みの者 (2) 将来、佐賀県下の小学校教員として活躍を期待するに十分な意欲、資質、適性等を有する者 (3) 高等学校の調査書における学習成績の状況が4.3以上の者	調査書、推薦書、 志望理由書	1次	佐賀県教育委員会による書類審査	11/1 ~11/6	11/28	12/7	・外国語は英コミュI, 英コミュII, 英コミュIII, 論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III ・数学は数学I, 数学II, 数学Aの全範囲、数学Bは数列、数学Cはベクトルから出題	
	教育学部	教育支援探究コース 特別支援教育専攻	学校推薦型選抜I	5	×	(1) 将来、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員になることを強く志望する者 (2) 高等学校の調査書における学習成績の状況が3.8以上の者	調査書、推薦書	基礎学力試験(外国語)、 小論文、面接	11/28	12/7	・外国語は英コミュI, 英コミュII, 英コミュIII, 論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III				
芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野	学校推薦型選抜I	3	×	学業成績、人物ともに特に優れ、芸術表現や当該分野に関して興味関心がある者、又は優れた経験・知識・技術・実績及び熱意がある者	調査書、推薦書、 ポートフォリオ	面接(口頭試問を含む)、 実技検査	11/1 ~11/6	11/28	12/7	・実技検査 静物着彩・粘土による造形表現(試験時に手びねり又は口クロ成形を選択)から1 ・入学志願者が募集人員の約4倍を超えた場合は、書類(調査書、推薦書及びポートフォリオ)による第1次選考を行う場合がある					
経済学部	経済学科	学校推薦型選抜I [商業系]	35	×	(1) 全体の学習成績の状況が4.3以上の者で、人物、学力について優れる者 (2) 2026年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、 志望理由書、 活動実績報告書 (加点式)(任意)	基礎学力・学習力テスト(英語) 小論文、面接(口頭試問を含む)	11/1 ~11/6	11/27	12/7	・商業系(商業高等学校の全科を含む)・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・活動実績報告書(加点式)について「簿記」「情報」「英語」「商業経済」の4分野に関する資格・検定について、その難易度に応じて評価します。 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。 ・普通科又はこれに準ずると本学部が認める科 出願要件の②については証明する資料を添付 ・活動実績報告書(加点式)について校内外を問わず、高等学校在学中に主体的に取り組んだ活動や実績について申請してください。校内活動としては、体育系・文化系の部活動、生徒会活動、課題研究(探究型学習)など、校外活動としては、社会活動(ボランティア、地域活動)、海外留学、スポーツ活動、文化・芸術活動、検定・資格取得、課題研究(探究型学習)などが該当します。なお、「課題研究(探究型学習)」に関する活動とは、校内外を問わず、高等学校在学中に取り組んだ課題研究(探究型学習)に関する活動です。高等学校の総合的な探究の時間等での課題研究(探究型学習)といった校内活動、大学(本学または他大学)による高校生対象の課題研究(探究型学習)や、国・地方公共団体・企業・大学等が実施する課題研究型コンテストへの出場(ビジネスプランコンテスト、まちづくりプランコンテスト、社会科学系の論文コンテスト等)といった校外活動が該当します。申請がなければ当初配点を合否判定を行います。 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。				
	経済学科	学校推薦型選抜I [普通系]	35		(1) 社会科学にとりわけ関心があり、かつ、人物について優れ全体の学習成績の状況が4.0以上の者 ただし、次のうちいずれかの要件を満たす者 ①成績優秀な者(外国語については学習成績の状況4.3以上) ②社会事象についての分析や、社会的活動等において優れた実績があり、それを裏付ける資料のある者 ③個性的で積極性に富み、高等学校長が、大学生活において、その能力を充分に発揮できると評価し、推薦に値すると思われる者 (2) 2026年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、 志望理由書、 活動実績報告書 (加点式)(任意)	基礎学力・学習力テスト(数学) 小論文、面接(口頭試問を含む)	11/1 ~11/6	11/27	12/7	・商業系(商業高等学校の全科を含む)・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・活動実績報告書(加点式)について校内外を問わず、高等学校在学中に主体的に取り組んだ活動や実績について申請してください。校内活動としては、体育系・文化系の部活動、生徒会活動、課題研究(探究型学習)など、校外活動としては、社会活動(ボランティア、地域活動)、海外留学、スポーツ活動、文化・芸術活動、検定・資格取得、課題研究(探究型学習)などが該当します。なお、「課題研究(探究型学習)」に関する活動とは、校内外を問わず、高等学校在学中に取り組んだ課題研究(探究型学習)に関する活動です。高等学校の総合的な探究の時間等での課題研究(探究型学習)といった校内活動、大学(本学または他大学)による高校生対象の課題研究(探究型学習)や、国・地方公共団体・企業・大学等が実施する課題研究型コンテストへの出場(ビジネスプランコンテスト、まちづくりプランコンテスト、社会科学系の論文コンテスト等)といった校外活動が該当します。申請がなければ当初配点を合否判定を行います。 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。				
医学部	医学科	学校推薦型選抜II [一般枠]	18 (注)	6-8	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ち理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2025年4月以降に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、 自己推薦書	大学入学共通テスト、 小論文、面接	11/1 ~11/6	11/28	2/9	・推薦人数は各高校2人以内				
		学校推薦型選抜II [佐賀県枠]	22		(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内の医療活動に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を2027年3月に卒業見込みの者又は2025年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①佐賀県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 ②佐賀県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの者のうち、佐賀県内の小学校、中学校のいずれかを卒業し、保護者が佐賀県内に2026年10月1日現在で3年以上継続して在住している者(出願手続時に住民票あるいは戸籍の附票で確認) (4) 大学卒業後は、佐賀県内において3年間の勤務(原則として2年の初期臨床研修を含む連続した3年間)に従事することを確約できる者	調査書、推薦書、 自己推薦書、 志願理由書、 確約書					・保護者とは、子に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは、未成年者後見人をいう。 (本学における保護者の定義<学校教育法から引用>)				
	看護学科	学校推薦型選抜I	20	×	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2026年4月以降に高等学校卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、 自己推薦書	小論文、面接	11/1 ~11/6	11/28	12/7	・推薦人数は各高校2人以内				
理工学部 理工学科	情報分野	データサイエンスコース 知能情報システムコース	2	×	専門系の科及び総合学科を卒業見込みの者で学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者	調査書、推薦書、 活動実績報告書	基礎学力・学習力テスト(数学、 小論文、面接(口頭試問を含む))	11/1 ~11/6	11/27	12/7	・専門系の科、総合学科の情報分野に関する専門教育に関する科目の単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト：タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。				
	化学分野	化学コース	2								基礎学力・学習力テスト(数学・化学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・工業系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト：タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。			
	機械工学分野	機械工学コース	4								基礎学力・学習力テスト(数学・物理)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・機械系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト：タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。			
	電気電子工学分野	電気電子工学コース	4								基礎学力・学習力テスト(数学・物理)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・電気・電子・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト：タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。			
	都市工学分野	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	3								基礎学力・学習力テスト(数学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・土木・建築系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト：タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。			
	情報分野	データサイエンスコース 知能情報システムコース	3								普通科、理数科又はこれに準ずると本学部が認める科を卒業見込みの者で学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 ※女子は、学校推薦型選抜I[普通系女子枠]との併願可	基礎学力・学習力テスト(数学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・基礎学力・学習力テスト：タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。		
	情報分野	データサイエンスコース 知能情報システムコース	3								普通科、理数科又はこれに準ずると本学部が認める科を卒業見込みの女子で学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者 ※学校推薦型選抜I[普通系一般枠]との併願可	基礎学力・学習力テスト(数学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・基礎学力・学習力テスト：タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。		
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	3	×	(1) 専門系の科及び総合学科を卒業見込みの者で学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 全体の学習成績の状況が4.3以上の者	調査書、推薦書、 活動実績報告書	基礎学力・学習力テスト(化学・生物)、 小論文、面接	11/1 ~11/6	11/27	12/7	・農業系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・推薦人数は各高校の各課程から2人以内				
		食資源環境科学コース	2								基礎学力・学習力テスト(数学・英語)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・農業系の科、工業系の科及び総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・推薦人数は各高校の各課程から2人以内			
		生命機能科学コース	1								基礎学力・学習力テスト(化学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・農業系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・推薦人数は各高校の各課程から1人			

出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件(全学部)に記載した学校及び施設を示す。「共テ」とは大学入学共通テストを、6-8とは6教科8科目を示す。

(注)地域の医師確保のための臨時定員増において増員数(3人)が削減あるいは廃止となった場合、学校推薦型選抜II[一般枠]の入学定員数(18人)を削減し、他の選抜の入学定員数を確保する場合があります。

医学部	医学科	佐賀県推薦入学	10	6-8	(1) 佐賀県が責任をもって推薦できる者(佐賀県による第1次選考合格者) (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内での医療活動に従事し、県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者 (3) 高等学校を2027年3月に卒業見込みの者若しくは2024年4月以降に卒業を認められた者、又は、高等専門学校第3学年を2027年3月修了見込みの者若しくは2024年4月以降に修了した者で、いずれも高等学校等における調査書の学習成績概評がA段階に属する者(高等学校には、中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む) (4) 最終合格者は、必ず佐賀大学医学部に入学し、入学後は、「佐賀県医師修学資金」の貸与を6年間受けること及びキャリア形成プログラム(佐賀県が策定した医療法(昭和23年法律第205号)第30条の23第2項第1号に規定する計画)に同意することを確約できる者 (5) 大学卒業後は、キャリア形成事前支援プラン及びキャリア形成プログラムに基づき、①高度急性期機能の需要増加に対処するための医師(内科、小児科、外科、産婦人科、脳神経外科、麻酔科及び救急科)、②総合的な診療能力を有する医師(総合内科及び総合診療科)等として佐賀県が指定する佐賀県内の医療機関で診療に従事することを確約できる者	調査書、所信書、 課題論文、 確約書	1次	佐賀県による選考	10/13 ~10/23	11/7・8	11/10	・佐賀県在住者だけでなく、日本国内の居住者を対象とする ・第1次選考については佐賀県健康福祉部医務課医療人材政策室に問い合わせ
						佐賀県からの 推薦書	2次	大学入学共通テスト、 小論文、面接	11/11 ~11/16	11/28	2/9	・佐賀県が行う第1次選考を経て、佐賀県の推薦により佐賀大学医学部による第2次選考を受験する資格を得た者

学部・学科・コース等	方式	募集人員	共テ	出願資格および出願要件	提出書類	試験				その他要件等							
						試験方法	出願期間	試験日	合格発表日								
教育学部 共同教員養成課程	小中連携教育コース 小学校教育主専攻	総合型選抜I	10	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025年4月以降に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年4月以降に修了した者及び2027年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、音楽、体育、家庭のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識・技能が特に優れている者 (3) 英語分野については実用英語技能検定(2級以上)(2050～)注1、TEAP(220～)、GTEC(4技能)(900～)、TOEFL IBT(45～)注2のいずれかの取得を出願要件とする。有効となる検定試験は、2025年4月1日以降に受験した検定試験に限る。 (4) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校等の教員になることを強く志望する者 (5) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 活動実績報告書	小論文、 面接(口頭試問を含む)、 志望分野に関する適性検査	9/10 ～9/17	10/9 音楽分野 体育分野は 10/9-10	11/2	・適性検査内容 英語分野:タブレット端末を用いた試験により、スピーキングを含む英語コミュニケーション能力を総合的に評価します。 音楽分野:専攻楽器(または声楽)の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 体育分野:器械運動(マット運動)、ダンス、ゴール型球技(バスケットボール)、ネット型球技(バレーボール)、 ベースボール型球技(ソフトボール)、武道(柔道か剣道より選択)の6種目における技能 家庭分野:与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書)により、第1次選考を行う						
	小中連携教育コース 中学校教育主専攻	総合型選抜I	8	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025年4月以降に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年4月以降に修了した者及び2027年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、音楽、保健体育、家庭、技術のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識・技能が特に優れている者 (3) 英語分野については実用英語技能検定(2級以上)(2050～)注1、TEAP(220～)、GTEC(4技能)(900～)、TOEFL IBT(45～)注2のいずれかの取得を出願要件とする。有効となる検定試験は、2025年4月1日以降に受験した検定試験に限る。 (4) 入学後、中等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、中学校等の教員になることを強く志望する者 (5) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/18 ～1/28	—	2/9	・適性検査内容 英語分野:タブレット端末を用いた試験により、スピーキングを含む英語コミュニケーション能力を総合的に評価します。 保健体育分野:器械運動(マット運動)、ダンス、ゴール型球技(バスケットボール)、ネット型球技(バレーボール)、 ベースボール型球技(ソフトボール)、武道(柔道か剣道より選択)の6種目における技能 家庭分野:与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 技術分野:与えられたテーマについてのレゴブロックを用いて作品をつくり、プレゼンテーション及び質疑応答 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書)により、第1次選考を行う						
	小中連携教育コース 小学校教育主専攻 理数分野	総合型選抜II	2	6-8	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025年4月以降に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年4月以降に修了した者及び2027年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 理数分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識・技能が特に優れている者 (3) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校(理科、数学の専科)等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/18 ～1/28	—	2/9	・適性検査内容 活動実績報告書(加点式)について 申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。 地域デザインコースの学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。 申請内容を補完する模範となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力」、「主体的にもものごとに取り組み、研究活動(高大連携活動(SSH、SGH等を含む)、総合的な探究の時間等での活動実績)、資格・検定試験など外部試験等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書(加点式)(申請者のみ)による第1次選考を行う場合があります。 申請がなければ当初配点で合否判定を行います。						
	小中連携教育コース 中学校教育主専攻 理数分野	総合型選抜II	2	6-8	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025年4月以降に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年4月以降に修了した者及び2027年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 理数分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識・技能が特に優れている者 (3) 入学後、中等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、中学校(理科、数学)等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/18 ～1/28	—	2/9	・適性検査内容 活動実績報告書(加点式)について 申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。 地域デザインコースの学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。 申請内容を補完する模範となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力」、「主体的にもものごとに取り組み、研究活動(高大連携活動(SSH、SGH等を含む)、総合的な探究の時間等での活動実績)、資格・検定試験など外部試験等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書(加点式)(申請者のみ)による第1次選考を行う場合があります。 申請がなければ当初配点で合否判定を行います。						
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 美術・工芸分野	総合型選抜I	10	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2027年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 ポートフォリオ	志望分野に関する 適性検査、面接	—	10/10	—	・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及びポートフォリオ)による第1次選考を行う場合がある						
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野	総合型選抜I	7	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2027年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 ポートフォリオ	志望分野に関する 適性検査、面接	—	10/9	—	・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及びポートフォリオ)による第1次選考を行う場合がある						
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース	総合型選抜I	15	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年3月修了見込の者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 活動実績報告書 (加点式)(任意)	小論文、適性検査、 面接	9/10 ～9/17	10/10	11/2	・適性検査内容 活動実績報告書(加点式)について 申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。 地域デザインコースの学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。 申請内容を補完する模範となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力」、「主体的にもものごとに取り組み、研究活動(高大連携活動(SSH、SGH等を含む)、総合的な探究の時間等での活動実績)、資格・検定試験など外部試験等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書(加点式)(申請者のみ)による第1次選考を行う場合があります。 申請がなければ当初配点で合否判定を行います。						
経済学部	経済学科	総合型選抜II	25	4-5	(1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025年4月以降に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年4月以降に修了した者及び2027年3月修了見込の者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学部での勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/18 ～1/28	—	2/9	・適性検査内容 模範論文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムに関する論理的思考力を評価します。 また、数学の知識を活用した問題を出題することにより、数学に対する適性を評価し、資料等を正しく読み解き、論理的に説明する能力も併せて評価します。出題範囲は、情報I、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C(「ペーパー」[平面上の曲線と複素数平面])とします(出題する内容に応じて、ペーパーテスト又は口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。						
理工学部 理工学科	数理分野 数理サイエンスコース	総合型選抜I	2	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025年4月以降に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年4月以降に修了した者及び2027年3月修了見込の者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野、情報分野……数学Ⅲ/化学分野……数学Ⅲ、化学/その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	適性検査、面接 (口頭試問を含む)	11/1 ～11/6	11/28	12/7	・適性検査内容 数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した数学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。出題範囲は、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学Cとします。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。 ・適性検査内容 問題文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムに関する論理的思考力を評価します。また、数学の知識を活用した問題を出題することにより、数学に対する適性を評価し、資料等を正しく読み解き、論理的に説明する能力も併せて評価します。出題範囲は、情報I、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C(「ペーパー」[平面上の曲線と複素数平面])とします(出題する内容に応じて、ペーパーテスト又は口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。 ・適性検査内容 化学実験などに関する資料(動画や写真、図表などを題材に、知識のみならず論理プロセスも重視した化学や科学的思考力に対する適性を評価します(タブレット端末で問題を提示し、解答用紙に解答)。 ・適性検査内容 物理や数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した物理に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。 ・適性検査内容 機械工学に関連した事項を題材とした問題を出題することにより、高等学校で学ぶ知識のみならず問題解決能力や論理的思考力を重視した機械工学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。 ・適性検査内容 電気及び力学に関する物理の問題を出題することにより、知識のみならず論理的思考力も重視した上で、電気電子工学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。 ・適性検査内容 数学(数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C)と物理(力学・熱力学・エネルギー・波動)に関する融合問題により、知識のみならず論理的思考も重視した数学と物理の素養を評価します(ペーパーテストで実施)。						
	情報分野 データサイエンスコース 知能情報システムコース	総合型選抜I	11														
	化学分野 化学コース	総合型選抜II	5														
	物理学分野 物理学コース	総合型選抜II	7														
	機械工学分野 機械工学コース	総合型選抜II	5														
	電気電子工学分野 電気電子工学コース	総合型選抜II	4														
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	総合型選抜II	4														
	数理分野 数理サイエンスコース	総合型選抜II	2														
	情報分野 データサイエンスコース 知能情報システムコース	総合型選抜II	9														
	化学分野 化学コース	総合型選抜II	13														
	物理学分野 物理学コース	総合型選抜II	3														
	機械工学分野 機械工学コース	総合型選抜II	10														
	電気電子工学分野 電気電子工学コース	総合型選抜II	12														
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	総合型選抜II	6														
農学部	生物科学コース	総合型選抜II	11	6-8	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025年4月以降に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年4月以降に修了した者及び2027年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年4月以降にこれに該当する者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 情報分野……数学Ⅲ/化学分野……数学Ⅲ、化学/その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者 ※同分野に限り、総合型選抜II[一般枠]との併願可	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書、 学修計画書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/18 ～1/28	—	2/9	・適性検査内容 模範論文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムに関する論理的思考力を評価します。また、数学の知識を活用した問題を出題することにより、数学に対する適性を評価し、資料等を正しく読み解き、論理的に説明する能力も併せて評価します。出題範囲は、情報I、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C(「ペーパー」[平面上の曲線と複素数平面])とします(出題する内容に応じて、ペーパーテスト又は口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。						
	食資源環境科学コース	総合型選抜II	5														
	生命機能科学コース	総合型選抜II	10														
	国際・地域マネジメントコース	総合型選抜II	5														
	総合型選抜II	7	6-8									調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/18 ～1/28	—	2/9	・適性検査内容 模範論文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムに関する論理的思考力を評価します。また、数学の知識を活用した問題を出題することにより、数学に対する適性を評価し、資料等を正しく読み解き、論理的に説明する能力も併せて評価します。出題範囲は、情報I、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C(「ペーパー」[平面上の曲線と複素数平面])とします(出題する内容に応じて、ペーパーテスト又は口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。
	総合型選抜II	7	6-8									調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/18 ～1/28	—	2/9	・適性検査内容 模範論文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムに関する論理的思考力を評価します。また、数学の知識を活用した問題を出題することにより、数学に対する適性を評価し、資料等を正しく読み解き、論理的に説明する能力も併せて評価します。出題範囲は、情報I、数学I、数学A、数学II、数学B、数学III、数学C(「ペーパー」[平面上の曲線と複素数平面])とします(出題する内容に応じて、ペーパーテスト又は口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合があります。

*「共テ」とは大学入学共通テストを、6-8とは6教科8科目を示す。
注1:実用英語技能検定は、1級・準1級・2級のうちいずれかの英検級の受験により発行されたCSEスコアのみ受け付け、受験した級が不合格の場合でもCSEスコアが2050点以上の得点があれば出願要件を満たすものとします。
注2:2026年1月21日以降に受験した場合においても、0～120スコアスケールで換算します。

入試情報

2026年度 入試実績

学部・学科・課程・コース・専攻	募集人員						志願者数						受験者数						合格者数						入学者数																
	総合	推薦	推薦	推薦	前期	後期	計	総合	推薦	推薦	推薦	前期	後期	計	総合	推薦	推薦	推薦	前期	後期	計	総合	推薦	推薦	推薦	前期	後期	計	総合	推薦	推薦	推薦	前期	後期	計						
共同教員養成課程 教育学部	小中連携	10	2	10	-	-	38	10	70	21	5	14	-	-	117	130	287	21	5	14	-	-	111	40	191	10	1	10	-	-	41	14	76	10	1	10	-	-	39	13	73
	小学校教育主専攻	8	2	-	-	-	10	5	25	26	1	-	-	-	35	75	137	26	1	-	-	-	33	19	79	9	0	-	-	-	12	7	28	9	-	-	-	-	12	7	28
	中学校教育主専攻	-	-	5	-	-	15	5	25	-	-	25	-	-	36	97	158	-	-	25	-	-	34	33	92	-	-	6	-	-	17	7	30	-	-	6	-	-	16	7	29
	教育支援探究コース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
小計	18	4	15	0	0	63	20	120	47	6	39	0	0	188	302	582	47	6	39	0	0	178	92	362	19	1	16	0	0	70	28	134	19	1	16	0	0	67	27	130	
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース	17	-	3	-	-	27	8	55	57	-	7	-	-	64	59	187	57	-	7	-	-	61	30	155	22	-	3	-	-	27	8	60	22	-	3	-	-	27	8	60
	地域デザインコース	15	-	-	-	-	25	15	55	57	-	-	-	-	92	90	239	57	-	-	-	90	47	194	15	-	-	-	-	25	17	57	15	-	-	-	-	25	15	55	
	小計	32	0	3	0	0	52	23	110	114	0	7	0	0	156	149	426	114	0	7	0	0	151	77	349	37	0	3	0	0	52	25	117	37	0	3	0	0	52	23	115
経済学部	経済学科	-	-	20	-	-	65	15	100	-	-	59	-	-	131	163	353	-	-	59	-	-	130	64	253	-	-	24	-	-	81	26	131	-	-	24	-	-	62	19	105
	経営学科	-	-	30	-	-	25	15	70	-	-	60	-	-	70	90	220	-	-	59	-	-	69	44	172	-	-	36	-	-	31	15	82	-	-	36	-	-	25	13	74
	経済法学科	-	-	10	-	-	30	20	60	-	-	18	-	-	79	122	219	-	-	18	-	-	79	31	128	-	-	12	-	-	37	27	76	-	-	12	-	-	31	17	60
	小計	0	0	60	0	0	120	50	230	0	0	137	0	0	280	375	792	0	0	136	0	0	278	139	553	0	0	72	0	0	149	68	289	0	0	72	0	0	118	49	239
医学部	医学科	-	-	40	10	51	-	101	-	-	-	122	33	278	-	433	-	-	122	33	220	-	375	-	-	40	10	55	-	105	-	-	40	10	54	-	-	40	10	54	
	看護学科	-	-	20	-	-	35	5	60	-	-	71	-	-	95	107	273	-	-	71	-	-	92	26	189	-	-	20	-	-	39	8	67	-	-	20	-	-	35	5	60
	小計	0	0	20	40	10	86	5	161	0	0	71	122	33	373	107	706	0	0	71	122	33	312	26	564	0	0	20	40	10	94	8	172	0	0	20	40	10	89	5	164
理工学部	数理分野	2	2	-	-	-	(15)	(5)	3	6	-	-	-	39	61	109	3	6	-	-	-	36	25	70	-	2	-	-	16	10	28	-	2	-	-	-	-	16	9	27	
	情報分野	11	11	8	-	-	(61)	(24)	12	32	23	-	-	184	243	494	12	32	23	-	-	162	107	336	5	16	10	-	-	65	34	130	5	16	10	-	-	63	23	117	
	化学分野	5	15	2	-	-	(35)	(16)	8	29	2	-	-	110	184	333	8	29	2	-	-	91	76	206	3	18	0	-	-	39	27	87	3	18	-	-	35	19	75		
	物理学分野	7	5	-	-	-	(13)	(4)	9	7	-	-	-	31	52	99	9	7	-	-	-	26	21	63	5	5	-	-	15	8	33	5	5	-	-	15	3	28			
	機械工学分野	5	12	4	-	-	(39)	(10)	500	13	25	4	-	-	81	109	232	13	25	4	-	-	70	46	158	5	11	2	-	-	39	22	79	5	11	2	-	-	38	16	72
	電気電子工学分野	4	14	4	-	-	(32)	(10)	9	14	7	-	-	92	103	225	9	14	7	-	-	85	44	159	4	5	4	-	-	43	15	71	4	5	4	-	-	43	11	67	
	都市工学分野	4	8	3	-	-	(42)	(18)	13	19	8	-	-	137	188	365	13	19	8	-	-	123	91	254	5	7	3	-	-	45	28	88	5	7	3	-	-	44	20	79	
	学科一括枠	-	-	-	-	-	(44)	(6)	-	-	-	-	-	211	176	387	-	-	-	-	-	200	91	291	-	-	-	-	-	47	12	59	-	-	-	-	42	7	49		
小計	38	67	21	0	0	281	93	500	67	132	44	0	0	885	1,116	2,244	67	132	44	0	0	793	501	1,537	27	64	19	0	0	309	156	575	27	64	19	0	0	296	108	514	
農学部	生物資源科学科	-	31	6	-	-	82	36	155	-	84	13	-	-	231	288	616	-	84	13	-	-	204	121	422	-	26	6	-	-	96	41	169	-	26	6	-	-	91	35	158
コスメティックサイエンス学環	-	7	-	-	-	-	18	5	30	-	120	-	-	132	128	380	-	120	-	-	-	120	64	304	-	7	-	-	-	19	6	32	-	7	-	-	-	18	5	30	
合計	88	109	125	40	10	702	232	1,306	228	342	311	122	33	2,245	2,465	5,746	228	342	310	122	33	2,036	1,020	4,091	83	98	136	40	10	789	332	1,488	83	98	136	40	10	731	252	1,350	

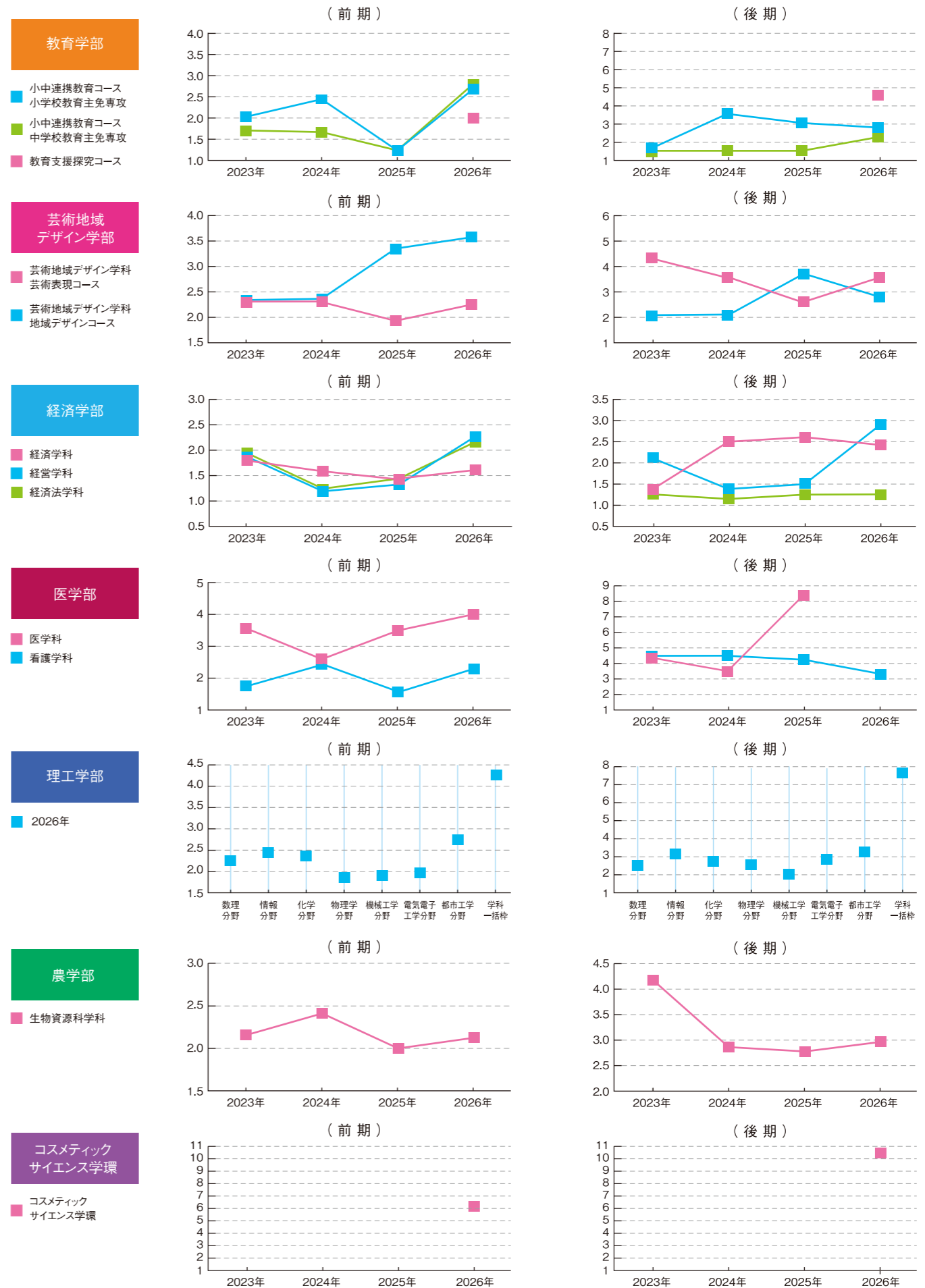
※私費外国人留学生入試、帰国生徒選抜、社会人選抜は除く。

2026年度 一般選抜における合格者のデータ

学部・学科・コース等	前期日程				後期日程					
	大学入学共通テスト 個別試験 配点比	大学入学共通テスト 平均点	個別試験平均点	合計最低点	大学入学共通テスト 個別試験 配点比	大学入学共通テスト 平均点	個別試験平均点	合計最低点		
共同教員養成課程 教育学部	小中連携 主専攻	930 : 400	地歴・公民2科目型	560.151	223.60	746.000	1030 : 400	697.171	242.43	893.400
	小学校教育 主専攻		理科2科目型	-	-	-				
	中学校教育 主専攻		地歴・公民2科目型	653.500	261.20	866.800		-	-	-
	教育支援探究コース		理科2科目型	-	-	-				
デザイン学部	芸術表現 コース	500 : 500	3科目型	303.154	385.58	595.000	500 : 300	-	-	-
地域デザインコース	4科目型		600 : 400	-	-	-				
経済学部	経済学科	730 : 100	490.860	254.60	714.000	600 : 300	438.735	195.82	600.000	
	経営学科		467.046	51.99	492.600	527.577	67.69	569.600		
	経済法学科		471.706	54.87	500.900	531.160	72.93	580.600		
医学部	医学科	640 : 300	536.088	220.88	740.500	-	-	-		
	看護学科	660 : 160	414.037	116.29	500.600	600 : 120	-	-	-	
理工学部	数理分野	930 : 600	536.719	369.64	815.300	436.340	319.60	706.425		
	情報分野		539.083	347.88	814.500	422.090	338.41	714.700		
	化学分野		539.282	356.51	809.300	428.440	348.67	718.175		
	物理学分野		521.113	366.00	799.800	-	-	-		
	機械工学分野		526.118	352.97	806.200	420.550	325.82	681.575		
	電気電子工学分野		542.581	338.80	804.800	416.010	322.13	682.850		
	都市工学分野		546.853	363.35	826.700	414.413	318.43	687.400		
学科一括枠	521.164	357.28	812.700	424.367	342.00	712.200				
農学部	生物資源科学科	630 : 400	377.473	231.94	567.250	580 : 200	418.811	137.32	530.800	
コスメティックサイエンス学環	575 : 200	379.684	184.16	555.250	470 : 200	-	-	-		

◎合格者が10人未満のデータについては公表しておりません。
 ◎医学部(後期日程)については、大学入学共通テスト及び個別試験の最高点・最低点・平均点を公表しておりません。
 ◎芸術地域デザイン学部芸術表現コース及び医学部以外の合計最低点には特色加点の得点が含まれます。

過去の一般選抜の実質倍率 (受験者数÷合格者数)



2027年度 入試スケジュール

2026年度 学校推薦型選抜入試実績

学部・学科・コース等			対象となる高等学校の科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
教育学部	共同教員養成課程	小中連携教育コース 小学校教育主専攻	佐賀県枠 全科	10	14	14	10
		教育支援探究コース 特別支援教育専攻	一般枠 全科	5	25	25	6
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	全科	3	7	7	3
経済学部	経済学科		商業系の科・情報系の科 および総合学科	10	18	18	10
	経営学科			20	33	32	24
	経済学科		普通科	10	41	41	14
	経営学科			10	27	27	12
経済法学科			10	18	18	12	
医学部	医学科	学校推薦型選抜II	一般枠 全科	18	79	79	18
			佐賀県枠 全科	22	43	43	22
	看護学科	学校推薦型選抜I	全科	20	71	71	20
理工学部	理工学科	情報分野	普通系の科・情報系の科・総合学科	8	23	23	10
		化学分野	工業系の科・総合学科	2	2	2	0
		機械工学分野	機械系の科・総合学科	4	4	4	2
		電気電子工学分野	電気・電子・情報系の科・総合学科	4	7	7	4
		都市工学分野	土木・建築系の科・総合学科	3	8	8	3
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	専門系の科・総合学科	3	9	9	3
		食資源環境科学コース		2	2	2	2
		生命機能科学コース		1	2	2	1

※情報分野の志願者数等には女子枠の人数を含みます。

2026年度 佐賀県推薦入学特別選抜入試実績

学部・学科	募集人員	第2次選考志願者数	受験者数	第2次選考合格者数
医学部 医学科	10	33	33	10

※第1次選考は、佐賀県が実施。第2次選考は、佐賀大学が実施。(参考)第1次選考志願者数は47人。

2026年度 総合型選抜入試実績

学部・学環	学科・課程・コース・専攻	募集人員		志願者数		受験者数		合格者数		
		総合型選抜I	総合型選抜II	総合型選抜I	総合型選抜II	総合型選抜I	総合型選抜II	総合型選抜I	総合型選抜II	
教育学部 共同教員養成課程	小中連携教育コース	小学校教育主専攻	10	2	21	5	21	5	10	1
		中学校教育主専攻	8	2	26	1	26	1	9	0
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	17	—	57	—	57	—	22	—
		地域デザインコース	15	—	57	—	57	—	15	—
理工学部	理工学科	数理分野	2	2	3	6	3	6	0	2
		情報分野	11	11	12	32	12	32	5	16
		化学分野	5	15	8	29	8	29	3	18
		物理学分野	7	5	9	7	9	7	5	5
		機械工学分野	5	12	13	25	13	25	5	11
		電気電子工学分野	4	14	9	14	9	14	4	5
農学部	生物資源科学科	都市工学分野	4	8	13	19	13	19	5	7
		生物科学コース	—	11	—	31	—	31	—	11
		食資源環境科学コース	—	5	—	8	—	8	—	5
		生命機能科学コース	—	10	—	45	—	45	—	10
国際・地域マネジメントコース	—	5	—	0	—	0	—	0		
コスメティックサイエンス学環		—	7	—	120	—	120	—	7	

※総合型選抜IIの情報分野・化学分野・物理学分野・機械工学分野・電気電子工学分野・都市工学分野の志願者数等には女子枠の人数を含みます。

	総合型選抜 I・II	学校推薦型選抜 I	学校推薦型選抜 II 佐賀県推薦入学	一般選抜(前期)	一般選抜(後期)
	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・理工学部・農学部 ・コスメティックサイエンス学環	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 看護学科 ・理工学部・農学部	・医学部 医学科	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 ・理工学部・農学部 ・コスメティックサイエンス学環	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 看護学科 ・理工学部・農学部 ・コスメティックサイエンス学環
9月	総合型選抜 I (出願期間) 教育学部・芸術地域デザイン学部 9/10(木)～17(木)				
10月	教育学部・芸術地域デザイン学部 (試験日) 10/9(金)・10(土)				
11月	(合格者発表)11/2(月) 総合型選抜 I (出願期間) 理工学部 11/1(日)～6(金) (理工学部 試験日) 11/28(土)	(出願期間) 11/1(日)～6(金) (経済学部・理工学部 ・農学部 試験日) 11/27(金) (教育学部・芸術地域デザイン学部・ 医学部 看護学科 試験日) 11/28(土)	学校推薦型選抜 II (出願期間) 11/1(日)～6(金) 佐賀県推薦入学 (出願期間) 11/11(水)～16(月)※ (試験日) 11/28(土)		
12月	(合格者発表)12/7(月)	(合格者発表)12/7(月)			
1/16(土)・17(日) 大学入学共通テスト					
1月	総合型選抜 II (出願期間) 教育学部・経済学部・理工学部・ 農学部・コスメティックサイエンス学環 1/18(月)～28(木)			(出願期間) 1/25(月)～2/3(水)	(出願期間) 1/25(月)～2/3(水)
2月	(合格者発表)2/9(火)		(合格者発表)2/9(火)	(試験日)2/25(木) (医学部 試験日) 2/25(木)・26(金)	
3月			(合格者発表)3/6(土)		(試験日)3/12(金) (合格者発表)3/20(土)

※あらかじめ行われる佐賀県の選抜を経た上での出願期間。

募集要項等の発表時期

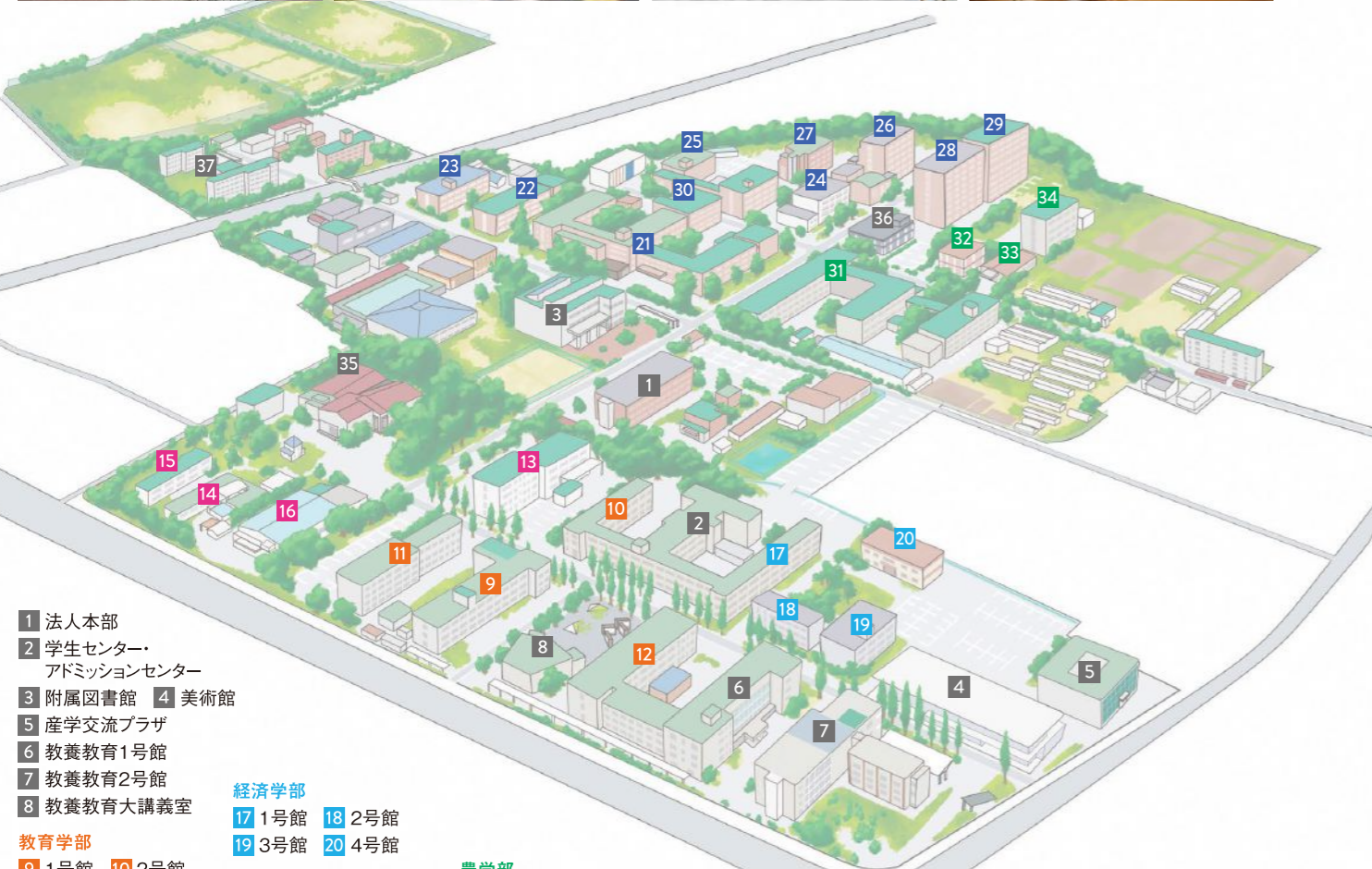
要項の種別	発表時期
入学者選抜要項	6月下旬
総合型選抜I 学生募集要項(教育学部・芸術地域デザイン学部)	8月上旬
総合型選抜I 学生募集要項(理工学部)	9月中旬
総合型選抜II 学生募集要項	
学校推薦型選抜I・II 学生募集要項	

要項の種別	発表時期
学校推薦型選抜I 教育学部 共同教員養成課程 佐賀県枠 学生募集要項	9月中旬
佐賀県推薦入学特別選抜 学生募集要項	
一般選抜 学生募集要項	12月上旬

CAMPUS MAP キャンスマップ

本庄キャンパス

国道208号線沿いに位置した暮らしに快適な環境。
佐賀県の歴史や文化にも触られます。



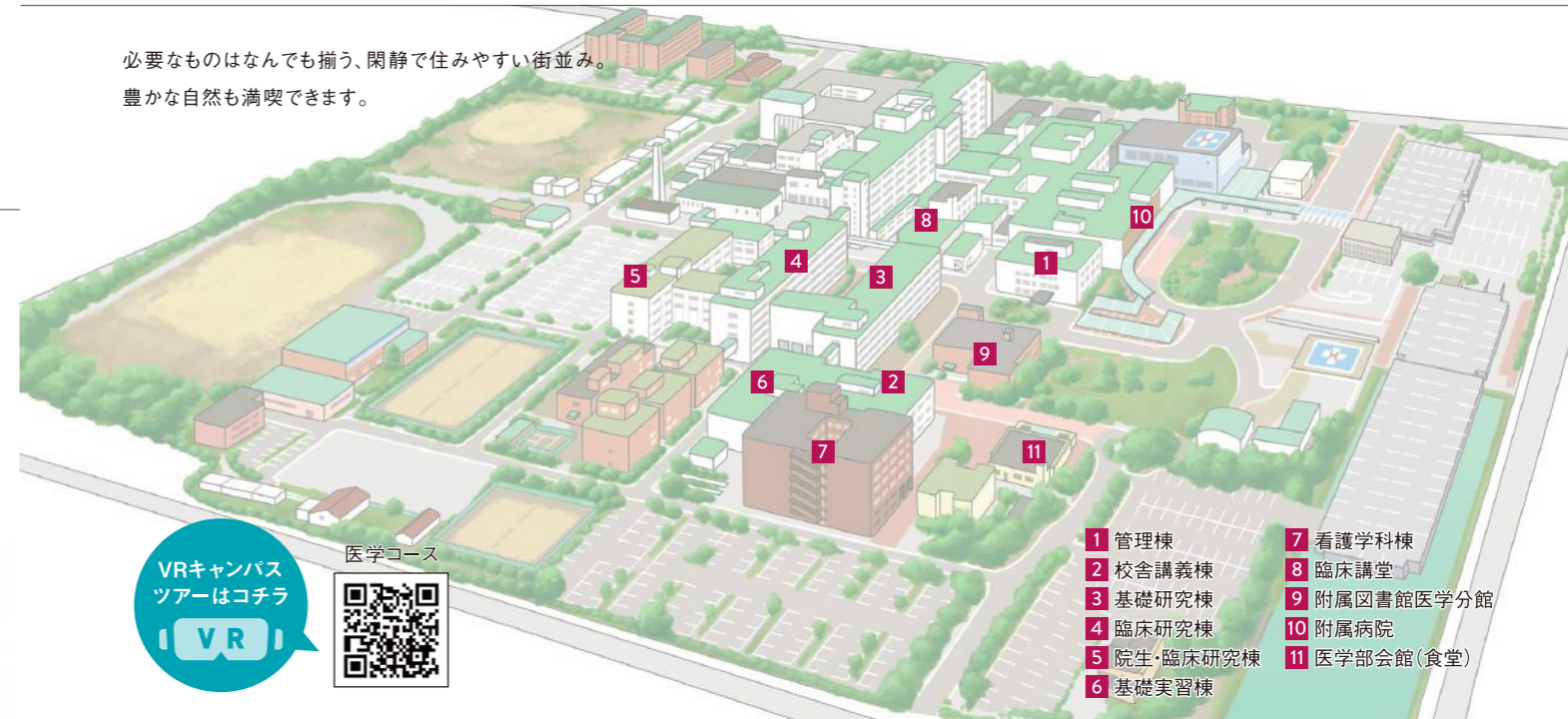
- 1 法人本部
- 2 学生センター・アドミッションセンター
- 3 附属図書館 4 美術館
- 5 産学交流プラザ
- 6 教養教育1号館
- 7 教養教育2号館
- 8 教養教育大講義室
- 教育学部**
- 9 1号館 10 2号館
- 11 3号館 12 5号館
- 芸術地域デザイン学部**
- 13 1号館 14 2号館
- 15 3号館
- 16 総合研究1号館
- 経済学部**
- 17 1号館 18 2号館
- 19 3号館 20 4号館
- 理工学部**
- 21 1号館 22 2号館
- 23 3号館 24 4号館
- 25 5号館 26 6号館
- 27 7号館 28 8号館
- 29 9号館 30 大学院棟
- 農学部**
- 31 1号館 32 2号館
- 33 3号館 34 4号館
- 35 大学会館・大学生協
- 36 かさざきホール (Mizota kitchen)
- 37 楠葉寮



鍋島キャンパス

■医学部

必要なものなんでも揃う、閑静で住みやすい街並み。
豊かな自然も満喫できます。



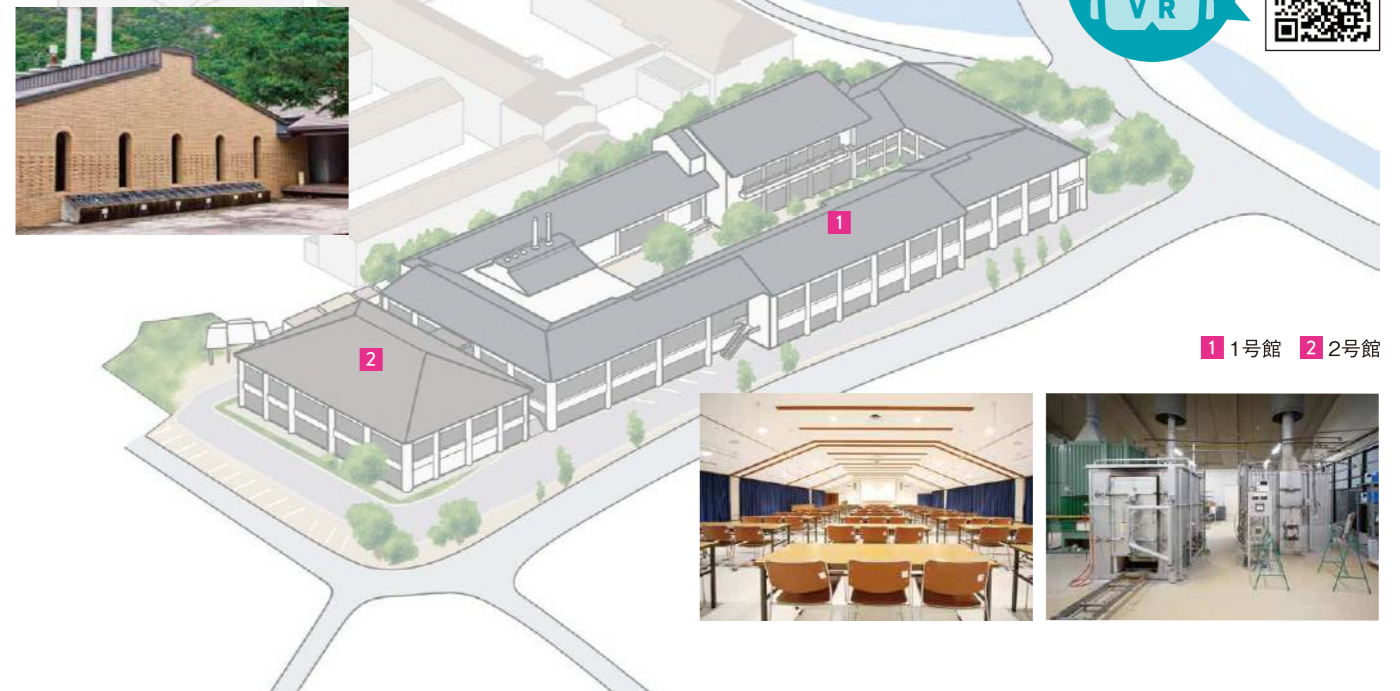
- 1 管理棟
- 2 校舎講義棟
- 3 基礎研究棟
- 4 臨床研究棟
- 5 院生・臨床研究棟
- 6 基礎実習棟
- 7 看護学科棟
- 8 臨床講堂
- 9 附属図書館医学分館
- 10 附属病院
- 11 医学部会館(食堂)



有田キャンパス

■芸術地域デザイン学部

400年の歴史を持つ日本磁器発祥の地で
本格的な学びを体験できます。



- 1 1号館
- 2 2号館



ロケーション/アクセス

LOCATION / ACCESS

佐賀県の魅力を余すところなく体験できるロケーション

佐賀大学は、歴史と文化と自然の漂う有明海に近い佐賀市内にキャンパスを構えています。アクセスも便利で生活しやすさは抜群。佐賀の魅力をご堪能ください。

本庄キャンパス・鍋島キャンパスMAP



有田キャンパスMAP



本庄キャンパス



鍋島キャンパス

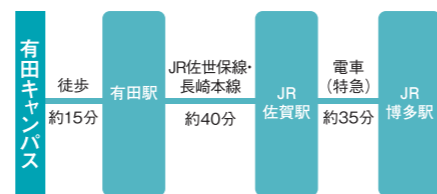


有田キャンパス

アクセス

本庄キャンパス	自転車	JR佐賀駅	電車(特急)	JR博多駅
	約15分		約35分	
	バス	佐賀駅 バスセンター	西鉄高速バス	天神
	約15分		約1時間20分	
自転車	JR佐賀駅	電車(普通)	JR久留米駅	
約15分		約1時間		
バス	佐賀駅 バスセンター	西鉄バス	西鉄久留米駅	
約15分		約1時間30分		

鍋島キャンパス	バス	JR佐賀駅	電車(特急)	JR博多駅
	約25分		約35分	
	バス	佐賀駅 バスセンター	西鉄高速バス	天神
	約25分		約1時間20分	
バス	JR佐賀駅	電車(普通)	JR久留米駅	
約25分		約1時間		
バス	佐賀駅 バスセンター	西鉄バス	西鉄久留米駅	
約25分		約1時間30分		



佐賀大学だけの入試POINT

入試3つのポイントについて詳しくはこちら



POINT 1

自分の強みをアピールして加点!
特色加点制度 一般選抜



「特色加点制度」とは、高校時代に取り組んできた活動や経験を大学入試後にどう活かせるのか、「学びに向かう態度」を評価する佐賀大学独自の制度です。大学入学共通テスト、個別学力検査などの合計点とは別に、これまでの主体的な活動や実績をアドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請が必要なので積極的に活用しましょう。

〈申請できる活動実績の例〉

- 研究活動 ● 課外活動 ● 学校行事 ● 社会活動 ● 資格・検定取得
- 海外留学経験 ● 大会・コンテスト ● その他主体的な活動

〈導入学部〉・教育学部・芸術地域デザイン学部(地域デザインコース)
・経済学部・理工学部・農学部・コスメティックサイエンス学環

POINT 2

検定試験のスコアを大学入学共通テストに換算!
英語外部検定試験の利用 一般選抜

英語外部検定試験の結果を一般選抜(前期日程及び後期日程)に利用できます。
(利用できる検定試験(大学入学共通テストの英語は受験必須))

● 実用英語技能検定

英検CSEスコア2.0、英検S-CBT、英検S-Interview、英検(従来型)全て含む1級・準1級・2級のうちのいずれかの英検級の受検により発行されたCSEスコアのみ受け付けます

- GTEC(4技能)
- TEAP(4技能)
- CBT, Advanced, Basicタイプのオフィシャルスコアに限り
- TOEFL iBT

〈利用方法〉

・検定試験の成績を換算表に基づき、大学入学共通テスト(英語)の得点に換算し、大学入学共通テスト(英語)の成績とみなして合否判定に利用します。
・検定試験の換算点が、大学入学共通テスト(英語)の得点より高い場合に、検定試験の換算点を採用します。
・大学入学共通テストの英語(リーディング及びリスニングの合計200点)が100点を下回る場合には、換算表の基準を満たしていても検定試験の換算は行いません。



POINT 3

タブレットを使って動画などの問題を解く!
CBT試験 特別選抜

「佐賀大学版CBT(Computer Based Testing)」とは、ペーパーテストでは評価することが難しい「能力・資質」について、デジタル技術を活用して評価します。

TYPE 1 基礎学力・学習力テスト

タブレット上で基礎的な問題を出題し解答します。すべての問題を解き終わった後、自動採点を行い、間違った問題については正答と解説文が提示されます。更に類題の「再チャレンジ問題」に進み正答すれば、「学習力」が備わっていると評価します。

〈入試制度〉基礎学力・学習力テスト
〈導入学部〉経済学部(学校推薦型選抜I)、理工学部(学校推薦型選抜I)、農学部(学校推薦型選抜I)

TYPE 2 思考力・判断力・表現力を問うテスト

動画を活用し、ペーパーテストでは評価できない思考力等を評価します。たとえば、化学(実験分野)では実験動画を用い、人文・社会科学分野では動画や資料等を利用します。

〈入試制度〉思考力・判断力・表現力を問うテスト
〈導入学部〉芸術地域デザイン学部(3年次編入学)、理工学部 化学分野(総合型選抜I)

TYPE 3 英語技能テスト

スピーキングを含む英語コミュニケーション能力を総合的に評価します。

〈入試制度〉英語技能テスト
〈導入学部〉教育学部 英語分野(総合型選抜I)

TOPICS 佐賀大学 入学前教育アドミッションセンター プログラムがスタートしました!

学校推薦型選抜Iや総合型選抜Iによる年内合格者が入学までの3ヶ月間を有意義に過ごせるよう入学前教育のプログラムを用意しました。学習意欲の意思向上や、大学生活への不安解消に役立つ内容になっています。

▶ 入学前学習テキストによる学習

先輩学生や教員の協力のもとに作成した特別なテキストです。「先輩の時間割」や「先輩のゼミ・研究室」などが紹介され、大学4年間をイメージするとともに、入学前の学習計画表や入学後の目標設定シートなどを作成します。



▶ 「科目等履修生制度」による 教養教育科目の先行履修(希望者のみ)

科目等履修生として受け入れることにより、基本教養科目を先行履修することができます。合格者は大学の単位として認定されます。



▶ 学習クラウドによるオンデマンド学習、提出課題

大学の授業でも使用することがある学習支援クラウドシステムを使用し、動画を視聴したり、自分の意見や考えをアウトプットします。様々なことに挑戦し、充実した学生生活を送る先輩たちの様子がよくわかる内容です。



▶ 対面・オンラインイベント(3回)

12月には入学前交流会で、先輩による学部学科の説明や合格者同士の交流会を開催。2月にはオンラインで入学前学習の中間成果報告会、3月には最終成果報告会を行い、グループディスカッションなどを行います。



SAGA UNIVERSITY GUIDEBOOK 2027

受験生
応援サイト



佐賀大学 学務部入試課

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 TEL.0952-28-8178

contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

<https://www.saga-u.ac.jp>

佐賀大

検索

AIが24時間365日いつでも回答!

佐賀大学
AIチャットボット

佐賀大学へ入学を希望する方々の
様々なご質問にAI(人工知能)が
24時間365日いつでもお答えします!!



佐賀大 AIチャットボット

検索